

医療法人誠和会 年報

令和3年度 倉敷記念病院



医療法人 誠和会

目 次

巻頭文	1
法人理念・病院理念・院是	3
患者さんの権利と守っていただく事項	4
倉敷記念病院臨床倫理の指針	5
概要	6
沿革	11
職員数	16
組織図	17
会議・委員会組織図	19
統計資料	
病院統計	23
介護部門統計	41
活動実績	
診療部	46
看護部	66
リハビリテーション部	71
介護部門	81
総務部	82
経理部	87
委員会活動	88

※報告内容(職員の役職含む)については、特に記載のない限り令和3(2021)年度のものです。

令和 3 年度 年次事業報告書の発刊にあたって

理事長

小出 尚志



医療法人誠和会倉敷記念病院の令和 3 年度年次事業報告書の発刊にあたって一言ご挨拶を申し上げます。

昨今の医療、とりわけ医療経営を取り巻く社会環境は厳しいものが多々あります。新型コロナウイルス感染症(コロナ)もその一つです。令和元年 12 月の発生から 3 年目に入ったコロナですが、未だ終息のめどが立っていません。令和 2 年度はコロナによる受療抑制が大きく経営を圧迫したこともあり、翌令和 3 年度のテーマは「with コロナ」の中で日常を取り戻す」としました。しかし、引き続きコロナの影響とともに、老朽化による病院建替え計画に伴う病床再編のキックオフが年度途中となることを織り込んで、目標とする医療指標ならびに財務数値を幾分低めに設定しました。それでも、新院長にお迎えした岡崎守宏先生を先頭に職員一同が掲げた事業計画の遂行に全員野球で頑張っていただき、人事計画の見直しによる生産性の向上もあり、病院をはじめとする多くの事業部門で目標を上回る成績を達成できたことは大きな自信につながっていると思っています。

さて、時の経つのは早いもので、年次報告書は平成 25 年の創刊から今年で 10 年を迎えました。法人内部の記録としてスタートした年次事業報告書でしたが、経過とともに外部への広報や連携推進のツールといった付加価値的な要素を兼ねるようになってきていると思います。毎年の報告書の編纂に係わる職員の負担は少なくないでしょうが、10 年間の記録の重みは誠和会の歴史の一部となりました。継続は力なり、その価値は普遍と言えるでしょう。関係者の尽力にあらためて感謝の意を表します。その内容は未だ外部の評価に耐えるに至らずと思いますが、次の 10 年に向けて歴史を繋いでいきたいと思っております。ご笑覧を賜れば幸いに存じます。

末筆ながら、私たち誠和会グループは、引き続き職員一丸となって地域の皆様の生活を支え、地域の皆様の多様な医療介護ニーズに応えられるよう精進していくことをお誓い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年度 年次事業報告書の発刊にあたって

院 長
岡崎 守宏



倉敷記念病院の令和 3 年度年次事業報告書の発刊にあたって一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の 2 年目にあたる令和 3 年度は、変異株流行の 1 年でした。アルファ株による第 4 波、デルタ株による第 5 波、そしてオミクロン株による第 6 波と続きました。現在もまだ完全には終息していませんが、前年度に経験した福寿荘でのクラスターを教訓として感染対策をしっかりと行ったため、関連施設を含めてクラスターを起こさずに 1 年間をすごすことができました。

日常診療を平常通り行うことができたため、前年度に比較して良い業績を残すことができたと思います。これらは一重に職員のみなさんご努力のおかげであると感謝しています。

令和 5 年の竣工を目指した新病院の建築計画 “プロジェクトさくら” は、設計会社を決定し、基本設計、実施設計とともに、岡山県への届け出、地域医療協議会での承認もいただいで順調に進行しています。

個人的には、4 月に新院長として採用していただきましたが、職員皆様のご協力が無事に 1 年間をすごすことができました。この場をお借りして感謝申し上げるとともに、また来年度も力を合わせてやっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

法人理念

- ・元気を育み、生活を支援し、命に寄り添う医療・介護を提供します。
- ・医療・介護を通して、職員の幸福と地域社会への貢献を目指します。

病院院是

1. 患者さんの安全と安心を第一に考えます。
2. 慈愛の心をもって優しい態度で接します。
3. 患者さまの尊厳と権限を尊重します。
4. チーム医療を推進します。
5. 医療の継続性を大切にします。
6. 地域の健康に奉仕します。

I 患者さんの権利

倉敷記念病院は患者さんの権利を確認し尊重します。

患者さんには

1. 十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」あるいは「受けない」という選択をする権利があります。
2. 自分の診療情報および個人情報を保護される権利があります。
3. いかなる状況においても人間の尊厳を尊重されて、その生を全うする権利があります。
4. いかなる差別もなく、平等な医療・看護を受ける権利があります。
5. 自ら受けている診療について、情報の提供を受ける権利があります。
6. 医療費の明細、医療費の公的援助について、その情報を受ける権利があります。

II 患者さんに守っていただく事項

患者さんと病院の双方が互いに尊重し、協力し合って初めて十分な医療サービスが可能となります。このために、患者さんには次の事項を守っていただきますようお願いします。

1. 身体的・精神的状態について必要と思われることは、できるだけ正確に、詳しくお教えてください。
2. ご自身が受けられる医療行為については、十分な説明を受けたあと納得の上、その医療行為を「受ける」あるいは「受けない」を選択してください。
3. 身体的不調を感じたときには即座にお知らせください。
4. 病院内では礼節を守り、他の患者さまに対する思いやりを忘れないでください。
5. 病院の器物は大切に扱ってください。
6. 病院では禁酒です。また、敷地内は禁煙です。

1. 知識と技術の習得に励み、温かな心をもって医療の質の向上に努める。

生命に関わる重大な業務に携わる者として、常に向上心を持ち、知識・技術の習得に努めて病院全職員による、チーム医療で円滑・敏速な活動を行う。

2. 患者の権利と自律性を尊重し、患者の視点に立った医療を行う。また権利には義務が伴うこと並びに医療の不確実性について患者に理解を求める。

全ての患者に平等の心で接し、治療・診断について誤りのない情報を伝える。しかし時には予測不可能で患者にとって受容できない結果を生む場合もあるので、医療の不確実性についても理解を求める。

3. 診療情報を適正に記録・管理し、開示請求には原則として応じる。

個人情報とは個人に帰属するものであり、本人の同意なしに他人に漏らすことはできない。

4. 地域の医療・保健・介護・福祉を包括的に推進するとともに、関係諸機関・施設等との連携・協力関係を構築する。

病院には、医療に加えて、保健・介護・福祉にも包括的な連携を推進する必要があり、その為にも地域の医療機関、介護施設ならびに行政機関等と緊密な連携を構築する。

5. 人の自然な死に思いをいたし、緩和医療を推進し、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

自ら身体を動かすことが出来なくなり、食事摂取もできなくなった高齢者に対して行われる延命処置に対して行われる延命処置として胃瘻造設等の妥当性が問われるようになってきた。我々は人の自然な死に思いをいたし患者および家族の意思を尊重して、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

概要

病院の概要（令和４年６月１日現在）

名称	医療法人誠和会 倉敷記念病院
所在地	〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831 番地
院長	岡崎 守宏
看護部長	中野 美智代
事務長	佐野 悦司
電話番号	(086)465-0011
FAX	(086)465-9199
事業者	名称:医療法人 誠和会 法人所在地:岡山県倉敷市中島 831 番地 法人種別:医療法人 代表者氏名:理事長 小出 尚志 電話番号:(086)465-0011
開設	昭和 43 年 7 月 8 日
病床数	194 床 一般病棟 50 床 回復期リハビリテーション病棟 50 床 医療療養病棟 46 床(うち、地域包括ケア入院医療管理料 1 19 床) 特殊疾患病棟 48 床
看護体制	10:1(一般病棟入院基本料)

届出リスト(令和４年６月１日現在)

届 出 内 容
機能強化加算
一般病棟入院基本料
療養病棟入院基本料
救急医療管理加算
診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 1
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算 1

栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算 2
感染対策向上加算 3
後発医薬品使用体制加算 3
病棟薬剤業務実施加算 1
データ提出加算
入退院支援加算
認知症ケア加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
排尿自立支援加算
回復期リハビリテーション病棟入院料 1
地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括ケア入院医療管理料 1
特殊疾患病棟入院料 1
入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養(Ⅰ)
がん性疼痛緩和指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
がん治療連携指導料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
地域連携診療計画加算
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の(1)に規定する在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
検体検査管理加算(Ⅰ)
検体検査管理加算(Ⅱ)
脳磁図(その他のもの)

神経学的検査
コンタクトレンズ検査料 1
CT 撮影及び MRI 撮影
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
がん患者リハビリテーション料
集団コミュニケーション療法料
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
酸素の購入単価

介護部門 施設・事業所の概要(令和 4 年 6 月 1 日現在)

名称	介護老人保健施設 福寿荘
所在地	岡山県倉敷市中島 831 番地
施設長	小出 尚志
電話番号	(086)466-0119
FAX 番号	(086)465-2537
介護保険指定番号	介護老人保健施設 (3350280024 号)
開設	平成 2 年 10 月 22 日

名称	有料老人ホーム せいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
施設長	白神 智亜紀
電話番号	(086)460-0070
FAX 番号	(086)466-6366
介護保険指定番号	特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護(3370205209 号)
開設	平成 20 年 1 月 1 日

名称	グループホーム コージー
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 6
施設長	安藤 大樹
電話番号	(086) 460-3818
FAX 番号	(086) 466-2099
介護保険指定番号	認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護 (3390200420 号)
開設	平成 21 年 10 月 1 日

名称	小規模多機能 和(なごみ)
所在地	岡山県倉敷市中島 848 番 3
施設長	岡 孝彦
電話番号	(086) 460-1919
FAX 番号	(086) 460-1920
介護保険指定番号	小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護(3390200743 号)
開設	平成 24 年 3 月 1 日

名称	倉敷記念病院 通所リハビリテーション
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0020
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(3310210418 号)

名称	デイサービスせいわ
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 460-0010
FAX 番号	(086) 465-1411
介護保険指定番号	通所介護、介護予防通所介護(3370205183 号)

名称	倉敷記念訪問看護ステーション
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 465-0121
FAX 番号	(086) 460-3255
介護保険指定番号	訪問看護(3360290062 号)

名称	せいわ介護サービスセンター
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-6355
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	指定居宅介護支援事業所 (3370200184 号)

名称	倉敷市倉敷西高齢者支援センター
所在地	岡山県倉敷市中島 770-1 番地
電話番号	(086) 466-3156
FAX 番号	(086) 466-6366
介護保険指定番号	地域包括支援センター (指定介護予防支援事業所) (3300200056 号)

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
昭和43	6	医療法人誠和会 設立（創立者 赤木和彦）	
	7	7/8 倉敷記念病院 開設（倉敷市中島831番地） 病床数 30床	
46	3	救急病院の指定を受ける	
	12	病床数 50床に増床	
		検診部開設 集団検診を開始	
48	5	産業医活動を開始	
52	10	病床数 57床に増床	
53	4	耳鼻咽喉科開設	
55	12	病床数 165床に増床	
60	12	病床数 200床に増床	
61	4	泌尿器科開設	
平成2	10		老人保健施設 福寿荘 開設（100床）
3	10	脳神経外科開設	
4	8		全身用コンピュータ断層撮影装置更新（横河CT-Vertex3000）
5	1		
6	1		老人保健施設 福寿荘 50床増床 福寿荘在宅介護支援センター 開設（倉敷市委託事業）
7	3		核磁気共鳴画像診断装置（MR）導入（横河MRVectra-Fast）
8	1	政府管掌健康保険成人病予防検診承認	
	4		骨密度測定装置導入 X線TV更新（東芝DBA-300A/50N）
9	1		X線室画像読取装置 富士FCR,AC-3システム導入 倉敷記念病院看護婦誠和寮（14室）完成
	3		薬局サンヨー自動錠剤包装機システム ATC-240F 導入
5			
6			検査部心エコー入替導入 検診部政府管掌検診システム完成
			腹部エコー入替導入
	11		ヘリカルCT（横河ImageSX/E）更新
10	3		
	9	病床数を200床から194床に変更	
11	10		
12	3	眼科開設	
		皮膚科開設	
	4	神経内科開設	
	8		外科用X線TV（イメージ）島津製導入
14	7	病院機能評価ver.3.1 認定	
	9	禁煙外来開始	
15	4	骨粗鬆症内科開設	
	11		レセプトコンピュータ（HOPE）導入
17	2	井水開始	
	10	回復期リハビリテーション病棟開設	
18	2		心電計（カーディオスター）導入
	3		マルチスライスCT（Light Speed Ultra 16 with Extream）導入
	4	一般病棟入院基本料（10対1）承認	
		運動器リハビリテーション科（1）承認	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
		呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)承認	
		脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)承認	
6		脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)承認	
9		X線TV(Winscope4000)導入	
19	2	ポータブル(X-p)(Mobile ArtⅡ)導入	
	2	脳波計(ニューロフアックス)導入	
	4	NST稼働施設認定(日本静脈経腸栄養学会)	
	9	病院機能評価ver.5.0認定	
20	1		誠和会在宅センター 開設
			有料老人ホーム(110室 120名) 介護付39室、住宅型71室
			デイサービスせいわ(定員20名)
			通所リハビリせいわ(定員40名)
			倉敷記念訪問看護ステーション[移設]
			せいわ介護サービスセンター[移設]
			倉敷市倉敷西高齢者支援センター[移設]
3		一般病棟入院基本料(7対1)承認	
7		回復期リハビリテーション病棟1承認	
		エコー診断装置(Aplio XG)導入	
8			訪問専門クリニックせいわ 開設
		血圧脈波検査装置(CAVI搭載 VasaraVS-1500N)導入	
9		亜急性期入院医学管理料1承認	
21	1	経口・経鼻対応 内視鏡(GIF-XP260)導入	
	2	メディネットシステム導入	
	3	医療用画像ネットワーク管理システムPACS導入	
		防水型ホルター心電図記録器導入	
	4		通所リハビリせいわ(定員60名に変更)
	7		デイサービスせいわ(定員30名に変更)
9			有料老人ホーム 住宅型39室を介護付へ変更
	9	協力型研修病院登録(岡山大学病院、倉敷中央病院)	
	10		グループホームコムジョー グリーン(9室)開設
	11		グループホームコムジョー オレンジ(9室)開設
22	2	レセプトコンピュータ(IBARSⅡ)導入	
	4	循環器専門医研修関連施設指定	
	8		
	9	全自動エンザイム/アッセイ装置(AIA-600Ⅱ)導入	
	10		訪問専門クリニックせいわ ニコチン依存症管理料 承認
	12	敷地内禁煙(完全)	
		診断用X線装置(RADspeed Pro)導入	
23	1	X線骨密度測定装置(Discovery QDR SERIES)導入	
	3	オーダリングシステム(MI・RA・Is/EX)導入	
	4	アマノ就業システム(Time Pro-XG Version 8.00)導入	
	4	血液ガス分析装置 更新	
	5	回リハ病床を3F(38床)から4F(50床)に変更	
		医療療養病床を4F(50床)から3F(38床)に変更	
	6		デイサービスせいわ(定員35名に変更)
	12	赤外線サーモグラフィ装置(インフラアイ3000 日本光電)導入	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
		日立自動分析装置(7180) 導入	
24	3		小規模多機能 和(なごみ) 開設
			介護部門 福祉業務支援システム「ほのぼのNEXT」導入
	6	1.5T 超伝導型 MRI (Brivo MR355 1.5T) 導入	
	9	睡眠解析ソフト (AliceSleepwere) 搭載 PSG システム (Alice 5) 導入	
	10	病院機能評価 ver.6.0 認定	通所リハビリせいわ (3単位合計定員75名に変更)
25	1		通所リハビリせいわ (3単位合計定員85名に変更)
	1	医療ネットワーク岡山(愛称:晴れやか・ネット) 運用開始 [閲覧施設]	
	4	医療ネットワーク岡山(愛称:晴れやか・ネット) 診療情報の公開を開始 [開示施設]	
	5	眼科オペ機材一式 導入	
	9	がん患者リハビリテーション料承認	
	11	心大血管疾患リハビリテーション (I) 承認	
26	1	電動ベッド (パラマウント) 64台導入	
	4	訪問診療部開設	
	10	地域包括ケア入院医療管理料 I 承認	
	12	電子カルテシステム (MI・RA・Is / PX) 導入	
		スペースセイビングチャート (SSC-370 TypeD) 導入	
		ビデオ鼻咽喉スコープ (VNL-90s) ビデオプロセッサ (EPK-S) 導入	
		iOS対応 (iPhone, iPad) ワイヤレス解析付心電計 smart ECG 導入	
27	1	難病の患者に対する医療等に関する法律による指定医療機関 指定	
	3		訪問専門クリニックせいわ 閉院 (訪問診療部開設による)
	4	人工呼吸器 (サーボベンチレータ Servo S) 導入	
	5	自動グリコヘモグロビン分析計 (HLC-723 G11) 導入	
	6		有料老人ホームせいわ 電動昇降式入浴ストレッチャー導入
	7		福寿荘・誠和会在宅センター 新電力会社と契約
	8	機能強化型 在宅療養支援病院承認	
	9		内視鏡システム (EVIS LUCERA ELITE) 導入
	9		福寿荘・誠和会在宅センター 照明器具のLED化
	10	外科開設	
	10	保育所型事業所内保育事業認可	
	11	電話交換機 更新	グループホームコモージュ 入浴用リフト導入
	11	一酸化窒素ガス分析装置 (NIOX VERO) 導入	
28	1	健診用レントゲン車 更新 (デジタル化)	
	2	血栓閉塞防止装置 (SCD700) 導入	
	3	読影支援システム (SYNAPSE) 導入	
	3	3次元眼底画像撮影装置 (3D OCT1 Maestro) 導入	
	3	心臓運動負荷モニタリングシステム (MLX-1000 Mulex) 導入	
	7		体力アップ健幸教室 (平成28年度倉敷市介護予防サービスマodel事業)
	8		デイサービスせいわ 改修工事
	9		
	10	一般病棟入院基本料 (7対1) から (10対1) へ変更	デイサービスせいわ (定員45名)

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
	10		せいわ介護サービスセンター 特定事業所加算Ⅱ承認
	12	外来 感染対応スペース 整備	
29	2		福寿荘 介護ロボット ケアロボ3台導入 (平成28年度倉敷市介護ロボット等導入支援事業)
	3	地域包括ケア病床8床(一般病床ベース)を療養病棟へ変更	
	4	療養病棟のうち8床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更	
	5		福寿荘 公用車 エブリイワゴン(福祉車両)導入
		鼻咽喉スコープ DICOM変換機(VT318D)導入	
		4K外科手術用内視鏡システム(VISERA 4K UHD)導入	
	6	健活企業認定	和 雨水タンク導入
	7	病院機能評価3rdG:Ver.1.1認定	火災通報装置連動工事
	8		磁気刺激装置(Pathleader)導入
	9	倉敷第一病院 事業統合	
		24時間保育スタート	
	10	倉敷第一病院事業統合記念式典	通所型短期集中予防サービス(健幸教室)開設
	11		
30	1	鼻咽喉スコープ 動画システム(VTブラウザ)導入	福寿荘 在宅強化型老健施設 承認
	2	倉敷記念病院・倉敷第一病院 拠点間接続開始(電子カルテ)	訪問看護ステーション 訪問看護支援サービス(iBow)導入
			介護保険インターネットネット請求開始
	3		
	5	デジタルX線画像診断システム(FDR CALNEO smart)導入	
	6	ロゴマーク デザイン制定	
	7	新ロゴマーク 看板設置工事	
		脳波データ 簡易ファイリングシステム導入	
		医療法人誠和会 社員章作成	
	7/6	倉敷市 西日本豪雨災害	
	7/8	創立50周年記念祝賀会 災害のため中止となる	
	8	倉敷市へ西日本豪雨義援金を贈る	福寿荘 在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ承認(超強化型老健)
			福寿荘 超・超低床フロアカーペット導入(5台)
	10		WEB会議導入
		HAL@腰タイプ自立支援用導入	
	11	午後の外来診療時間変更 15時～18時→14時～17時	
	12		福寿荘 キュービカル改修工事
31	1		
	2	療養病棟のうち7床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更 (合計15床)	福寿荘 非常照明更新工事
	3		誠和会在宅センター 非常照明バンデリー交換工事
	4	外来診療「院外処方」全面实施	
元	7		
	9	給食システム(メデイカロリー)連携	
	11	候診車 更新	誠和会在宅センター 電話交換機設備更新
	12	電子カルテ サーバ更新(仮想化)	

医療法人誠和会 沿革

年	月	法人・倉敷記念病院	介護部門
2	1	栄養指導システム(チャティex)導入	
	2	オゾン脱臭器導入	
	3	公用車・ベッドライフレコーダー取付(救急車以外の公用車全41台)	福寿荘 火災報知設備改修工事
		超音波診断装置(Aplio i800)更新	
		シャワーベットの導入	
	4	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(車いす・ストレッチャー用カバー)	
		新型コロナウイルス対策衛生備品購入(フェイスマスク)	
	5	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(防護服)	
	8	発熱外来 診療室整備	通所リハビリ 送迎車(軽四車いすスロープ車)購入
		多項目自動血球分析装置・全自動血液凝固測定装置更新	
	11	発熱外来開始	
		療養病棟のうち4床を地域包括ケア病床(療養病床ベース)に変更 (合計19床)	
		PCR検査機器・陰圧BOX導入	
	1	新型コロナウイルス対策衛生備品購入(防火用フィルムカーテン)	
3	2	健診部 エコー(Xario200G)更新	福寿荘 非常放送設備更新
	3	全身用X線CT診断装置システム(Revolution Maxima)更新	福寿荘 非常用発電機更新
	12	北駐車場整備	福寿荘 エレベーター(2基)改修工事
4	1	セントラルモニター(Accumul V2100)、ベッドサイドモニター(Accumul Nコンパクトシリーズ)5台 新規購入	有料老人ホームせいわ ミスト浴(2基)導入
	2	磁気刺激装置 Pathleader用磁下プローブ(PMSコイル UC-1)導入	
	3	経鼻内視鏡(GIF-1200N)更新	ケア記録アプリ「Care Palette」導入

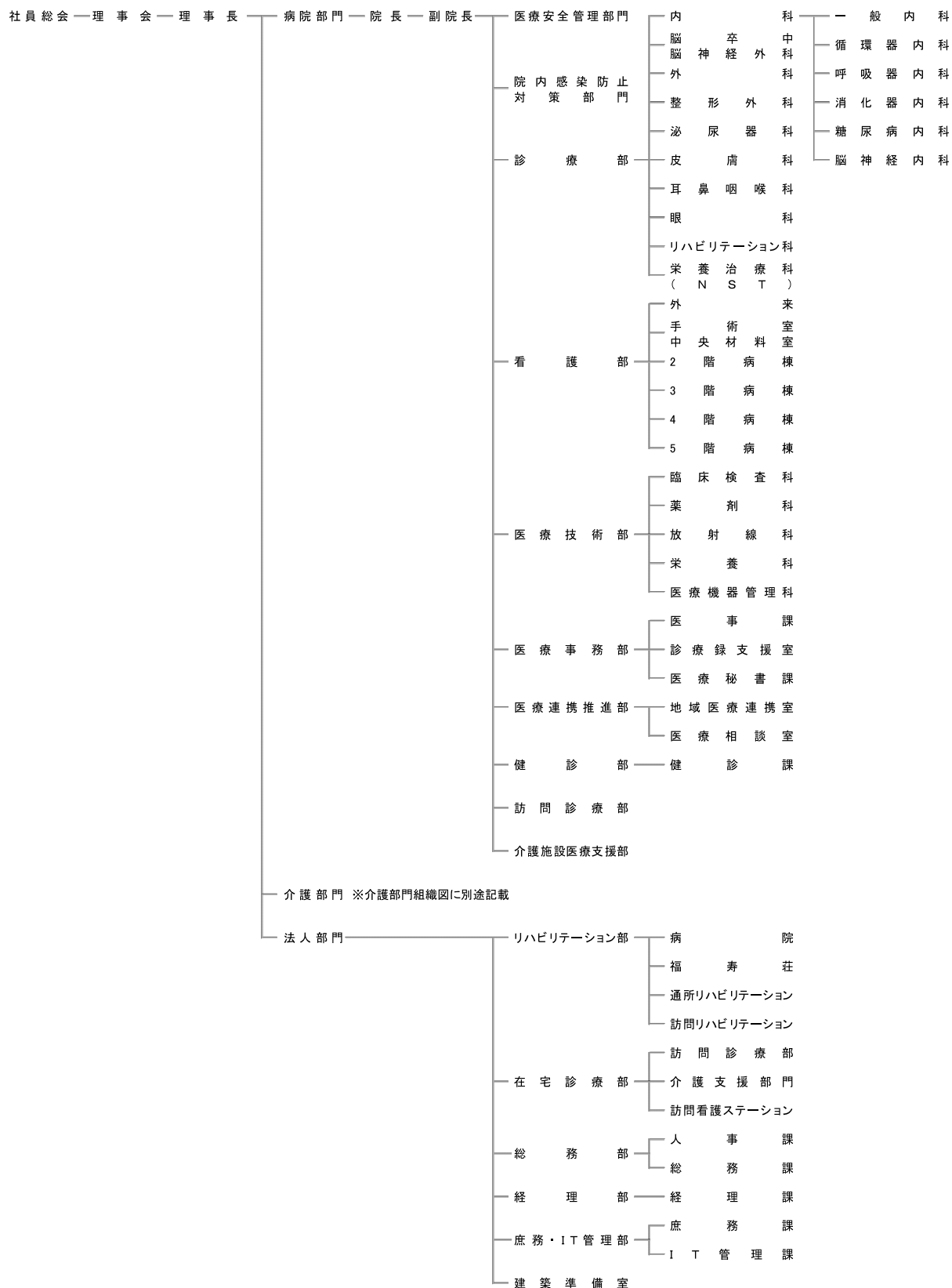
職員数

(令和4年3月31日現在)

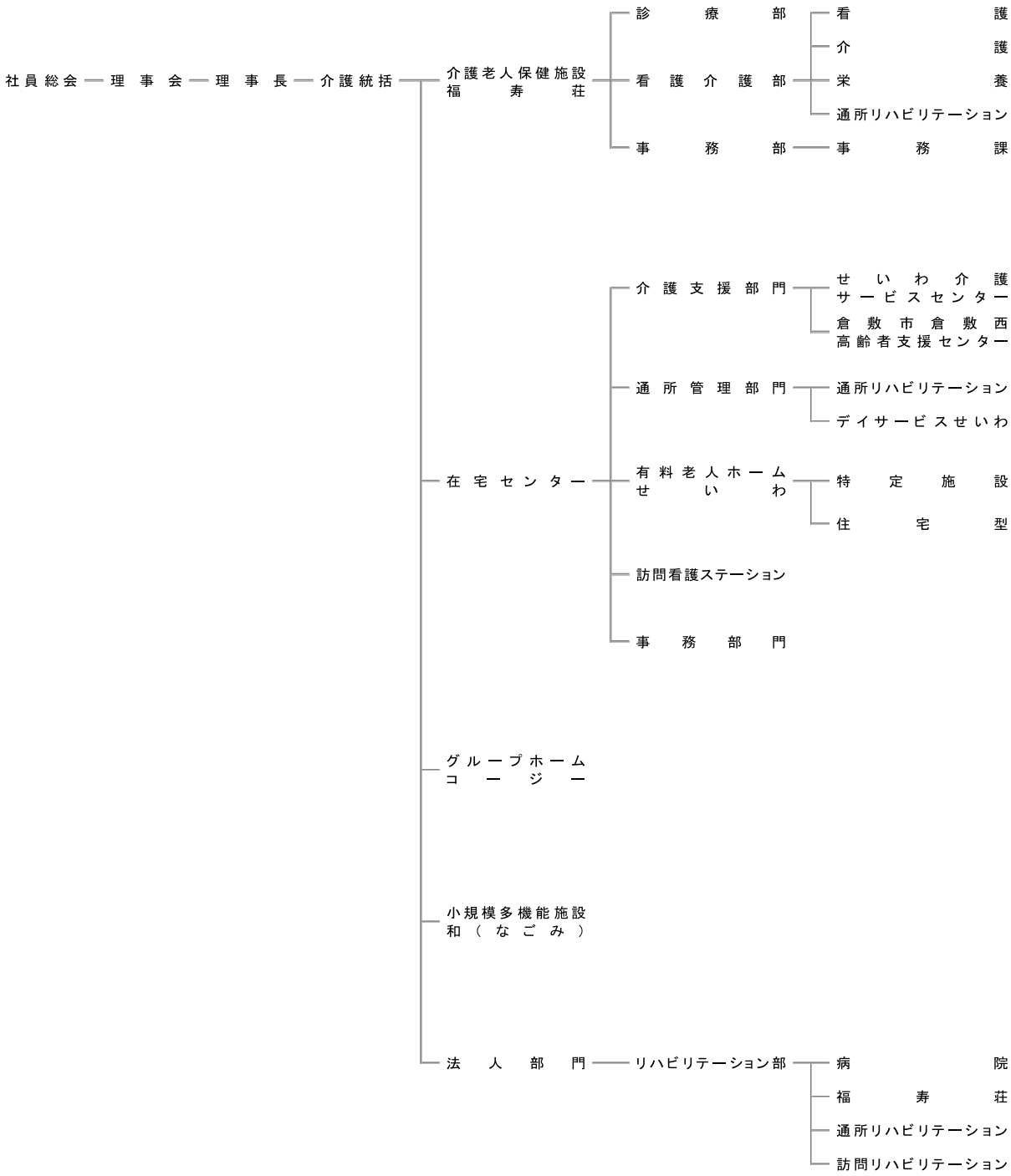
職 種 所 属	医	看	保	薬	管	放	臨	臨	理	作	言	歯	視	音	介	介	社	支	介	ク	事	薬	用	送	合 計
	師	護	健	劑	栄	射	床	床	学	業	語	科	能	楽	護	護	会	援	護	ラ	務	劑	務	迎	
診 療 部	16																								16
看 護 部		3																							3
外 来		14											1							2					17
2 病 棟		29													5	5				2					41
3 病 棟		20													6	2				1					29
4 病 棟		19													6	2				1					28
5 病 棟		17														4									21
栄 養 科					6																				6
検 査 科							7	1																	8
放 射 線 科						6																			6
薬 劑 科				8																		1			9
病 院 リ ハ ビ リ									15	12	8	2									3				40
健 診 部	1	1	2				1														6			1	12
医 療 事 務 部																					1				1
医 事 課																					14				14
医 療 秘 書 課																					2				2
医 療 連 携 推 進 部																	5								5
総 務 部																					3				3
庶 務 課																					1		2		3
人 事 課																					3				3
企 画 IT 課																					1				1
経 理 部																					4				4
福 寿 荘		18							6	2	1			1	46	14		3	1		2				94
通 所 リ ハ ビ リ		4							4	2					11	3					1			6	31
介護サービスセンター																			7		1				8
訪問看護ステーション		7							2	2															11
高齢者支援センター			1														2		6						9
有料老人ホームせいわ		8									1				27	3	1	1			1				42
デ イ サ ー ビ ス		3								1					9	1		2						5	21
コ ー ジ ー															12	4									16
和		1													6	5			1						13
合 計	17	144	3	8	6	6	8	1	27	19	10	2	1	1	128	43	8	6	15	6	43	1	2	12	517

※非常勤を含む

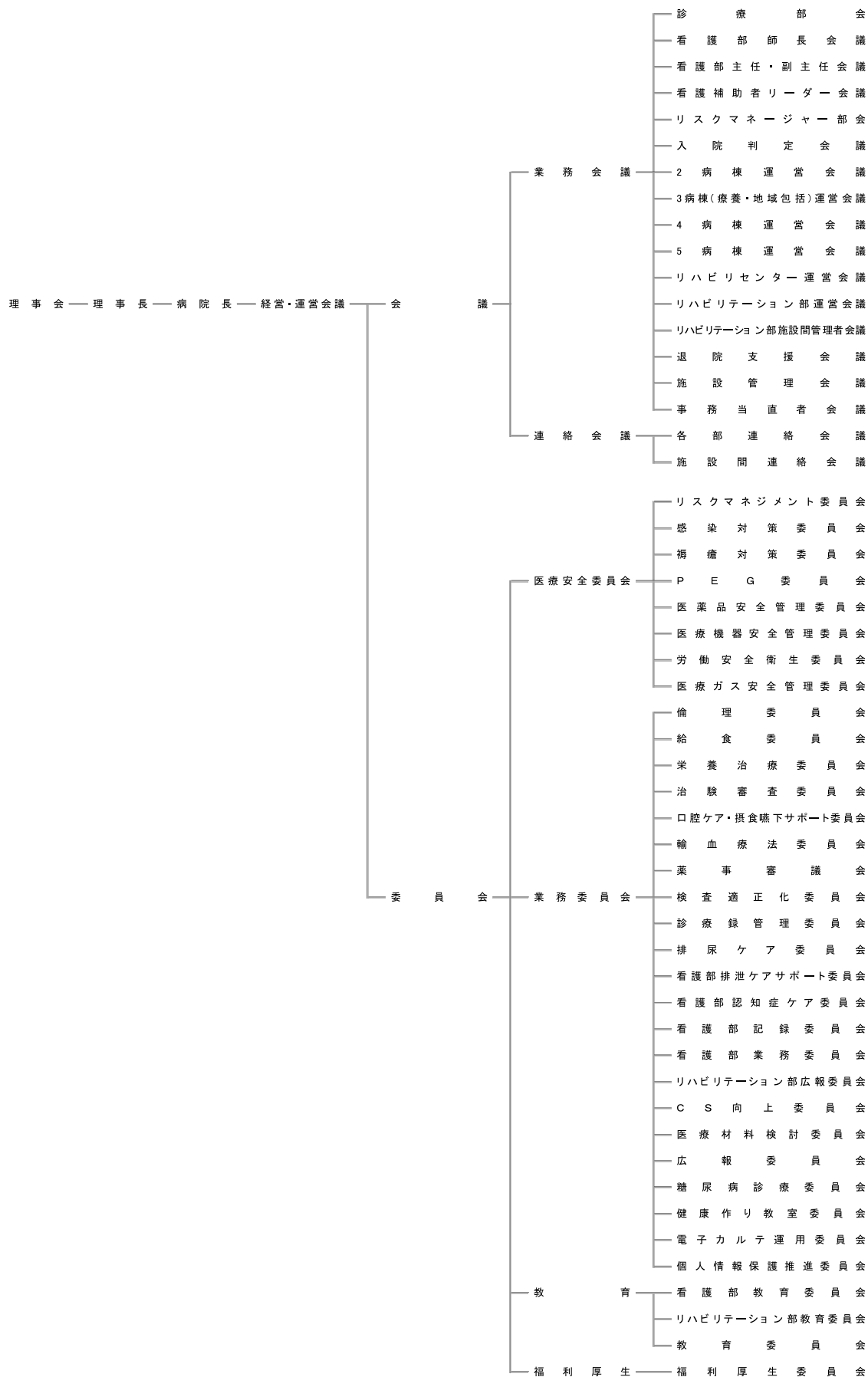
倉敷記念病院



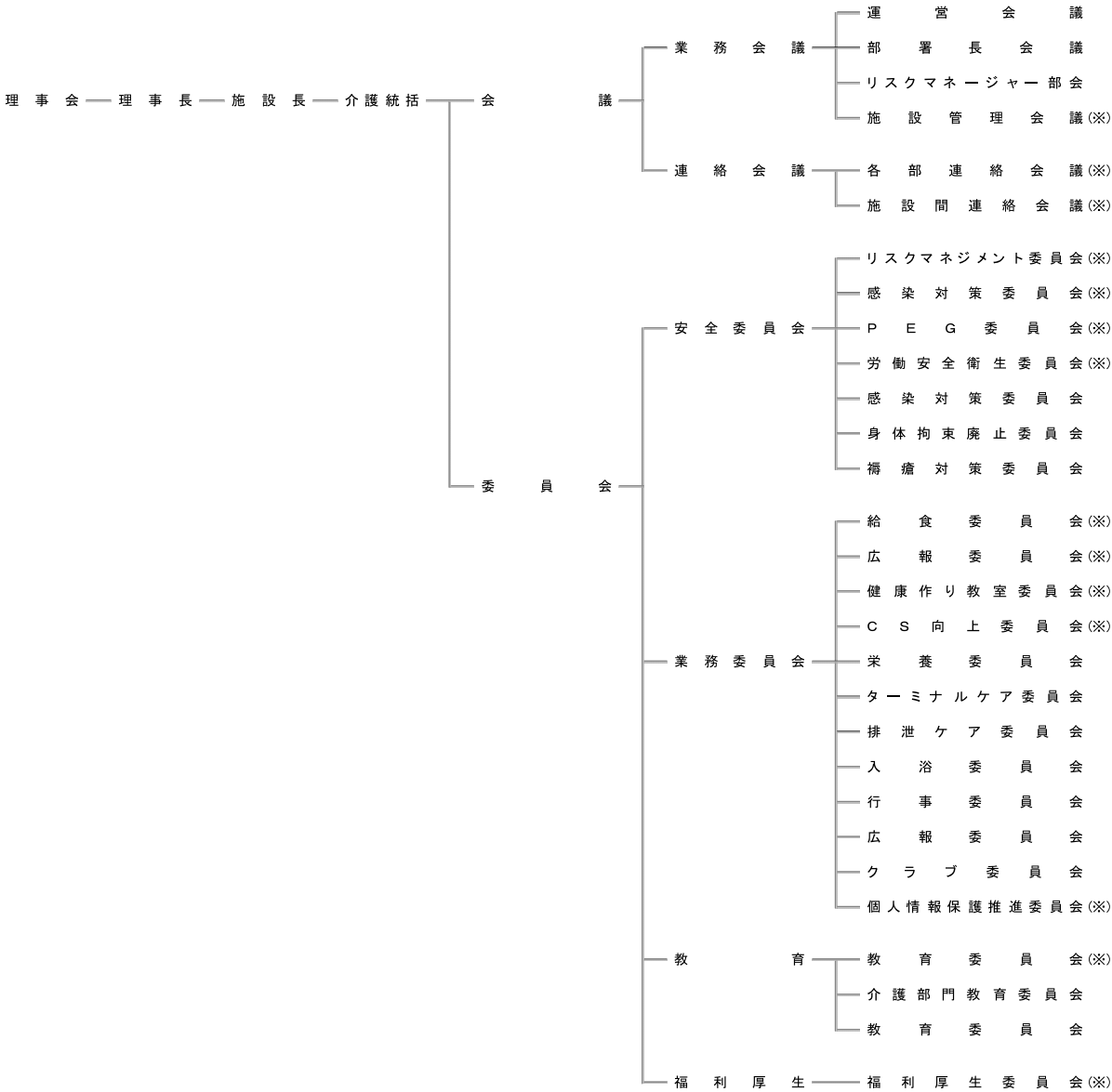
介護部門



倉敷記念病院 会議・委員会

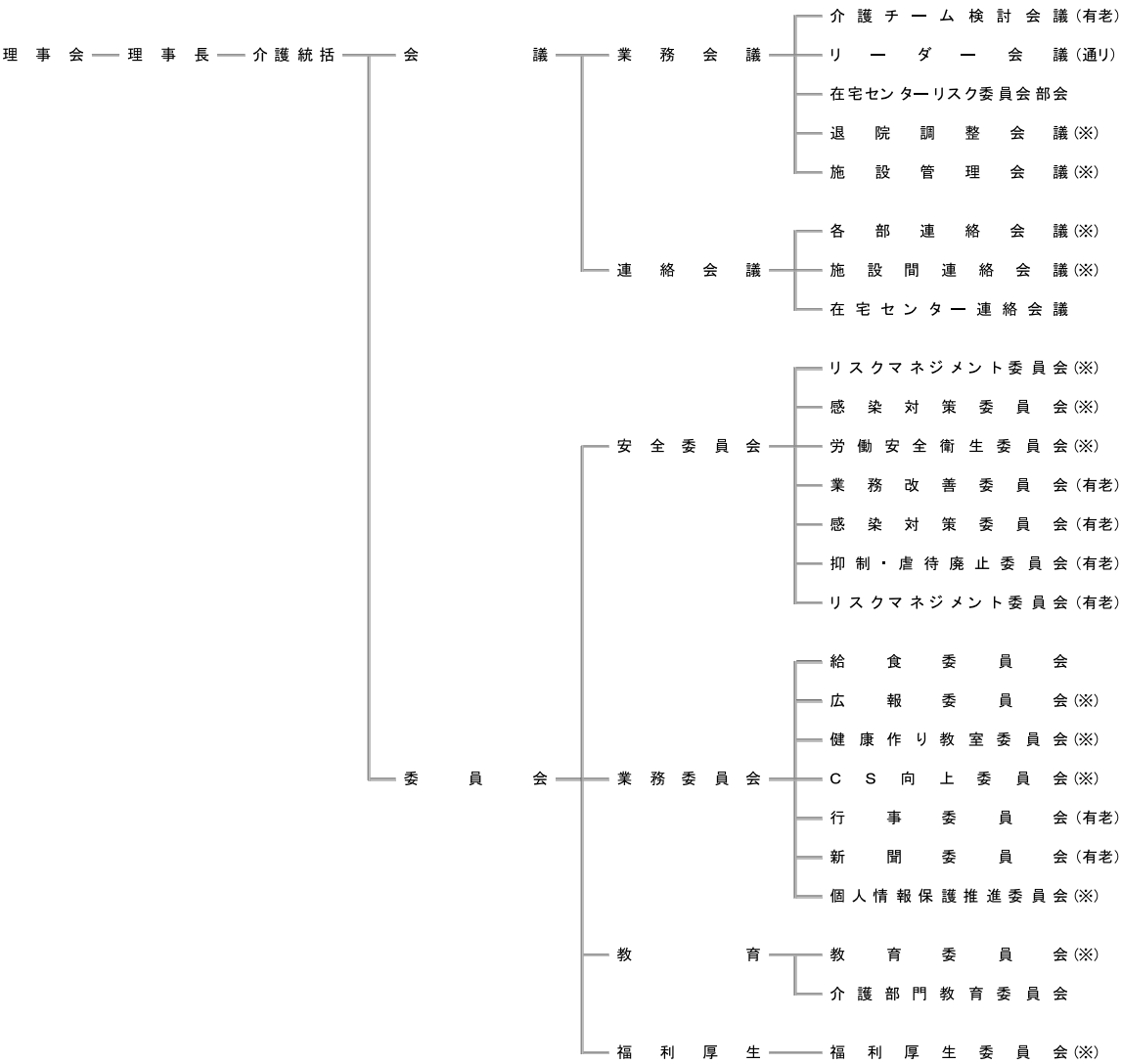


介護老人保健施設福寿荘 会議・委員会



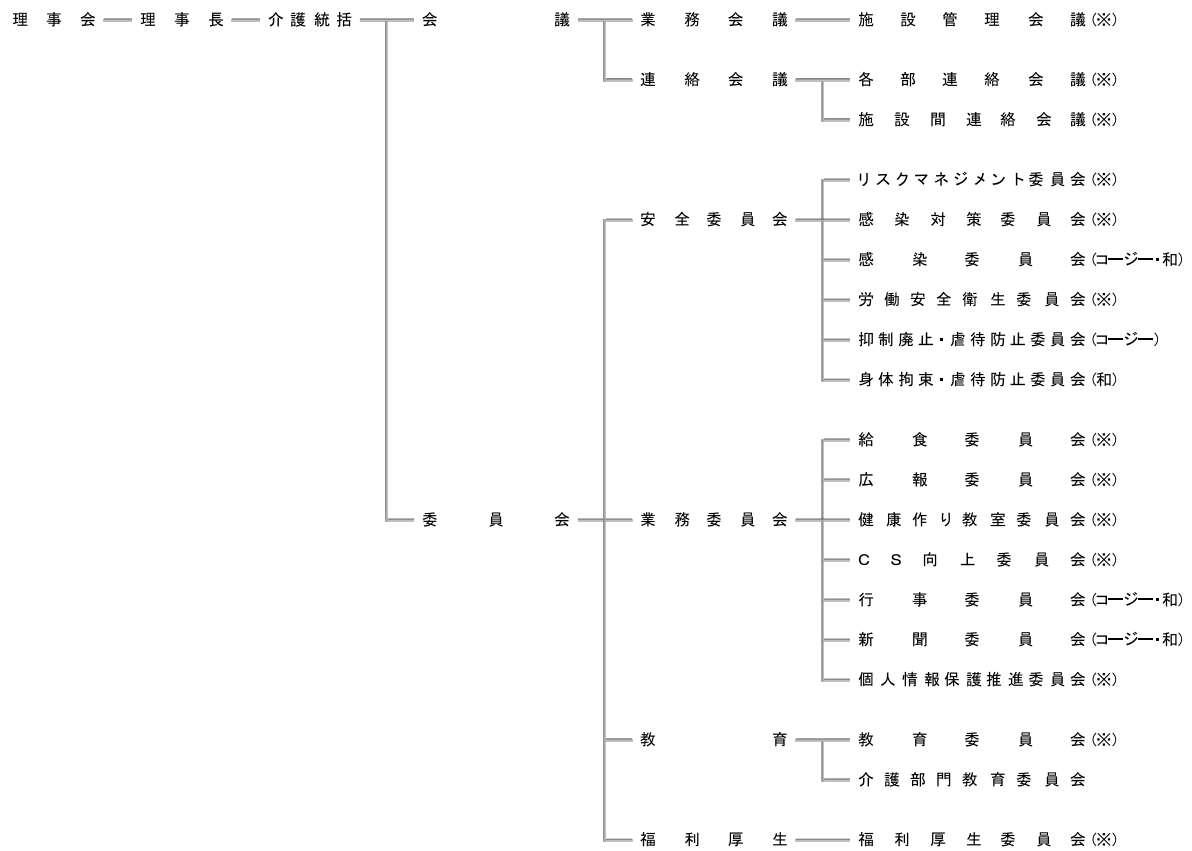
(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

誠和会在宅センター 会議・委員会



(※)は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

グループホームコージー・小規模多機能和 会議・委員会



※は、医療法人誠和会<中島地区>で共通のもの

統計資料

倉敷記念病院 統計

1 日平均外来患者数 ※		176.2
外来レセプト件数		34,358
1 日平均入院患者数		169.9
一般病棟	平均入院患者数	42.4
	稼働率	84.9%
	平均在院日数	15.6
地域包括ケア病棟	平均入院患者数	16.1
	稼働率	84.6%
	平均在院日数	24.5
回リハ病棟	平均入院患者数	43.4
	稼働率	86.8%
	平均在院日数	65.6
療養病棟	平均入院患者数	24.0
	稼働率	88.8%
	平均在院日数	89.3
特殊疾患病棟	平均入院患者数	44.0
	稼働率	91.7%
	平均在院日数	510.1
新患者数		3,843
救急搬入件数		250
救急搬入件数(夜間・休日)		125
診療科別手術件数	耳鼻咽喉科	54
	整形外科	12
	皮膚科	11
処方箋枚数	院内(外来)	254
	院内(入院)	19,386
	院外	43,598

※診療実日数平均

疾患別退院患者 集計表

ICD10 国際疾病分類第 10 版(1992)

大分類一覧

章	ICD コード	分類見出し	退院 件数	死亡 件数	総合計
1	A00~B99	感染症および寄生虫症	19	1	20
2	C00~D48	新生物	56	41	97
3	D50~D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	11	1	12
4	E00~E90	内分泌、栄養および代謝疾患	26	4	30
5	F00~F99	精神および行動の障害	30	1	31
6	G00~G99	神経系の疾患	69	10	79
7	H00~H59	眼および付属器の疾患		1	1
8	H60~H95	耳および乳様突起の疾患	19		19
9	I00~I99	循環器系の疾患	208	28	236
10	J00~J99	呼吸器系の疾患	161	28	189
11	K00~K93	消化器系の疾患	99	7	106
12	L00~L99	皮膚および皮下組織の疾患	18		18
13	M00~M99	筋骨格系および結合組織の疾患	48		48
14	N00~N99	尿路性器系の疾患	81	5	86
15	O00~O99	妊娠、分娩および産じょく			
16	P00~P96	周産期に発生した病態			
17	Q00~Q99	先天奇形、変形および染色体異常		1	1
18	R00~R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	15	2	17
19	S00~T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	192	2	194
20	V00~Y98	傷病および死亡の外因			
21	Z00~Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	5		5
			1,057	132	1,189

転院統計

紹介元別転院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
倉敷中央病院	25	19	12	23	16	21	28	23	42	26	29	37	301
川崎医科大学附属病院	4	3	5	5	3	2	4	4	7	8	10	5	60
藤戸クリニック	2		1							2			5
松田病院	1	1			1		1			2		2	8
倉敷成人病センター	1				1	3		2		1			8
井原市民病院	1	1											2
せいわ介護サービスセンター	1												1
岡山大学病院		1	1										2
津山中央病院		1					1						2
鏡野町国民健康保険病院		1											1
慈圭病院			1										1
三谷原内科			1										1
倉敷平成病院				1			1						2
つばさクリニック				5	1	1		2				1	10
倉敷北病院				1									1
渡辺医院				1									1
渡辺胃腸科外科病院					1								1
森下病院					1								1
藤沢脳神経外科病院					1					1			2
倉敷第一病院						1		1	1	1			4
グリーン在宅クリニック						1			1			1	3
佐藤整形外科							1						1
たかや内科小児科								1	1				2
あさのクリニック									1				1
岡山医療センター									1				1
済生会外来センター									1				1
万成病院										1			1
村上脳神経外科内科										1			1
岡山市立市民病院											1		1
藤井クリニック											1		1
水島中央病院											1		1
水島協同病院											1		1
岡山精神科医療センター												1	1
岡山旭東病院												1	1
計	35	27	21	36	25	29	36	33	55	43	43	48	431

リハビリテーション部

1. 回復期リハビリテーション病棟実績

	当院	全国平均	単位
1 日平均提供単位数	4.92	6.46	単位
在宅復帰率	92.9	79	%
重症患者率	59.0	-	%
重症患者回復率	68.7	-	%
実績指数(10～3 月の 6 か月平均)	57.9	46.9	
平均在院日数	65.6	69.1	日

＊重症とは日常生活機能評価で 10 点以上又は機能的自立度評価法(Functional Independence Measure、以下「FIM」という。)得点で 55 点以下の患者をいう

・参考資料:「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」 2022 年2月 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協議会

2. VF(嚥下造影検査) VE(嚥下内視鏡検査)

件数実績

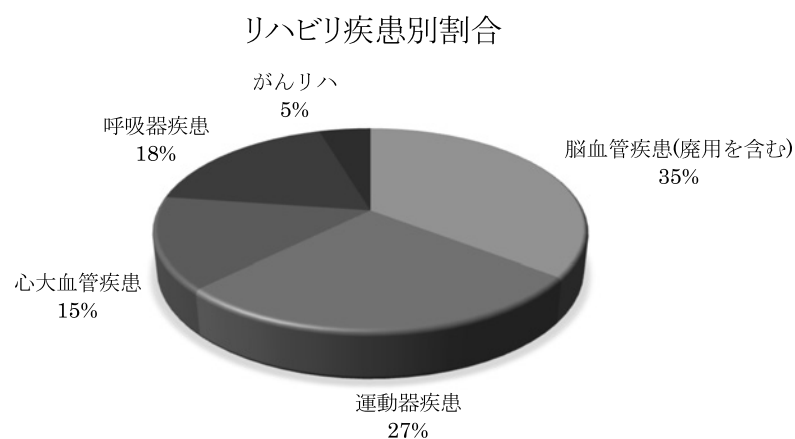
VF	76 件
VE	262 件
摂食機能療法	3,090 件

3. 算定リハビリテーション料

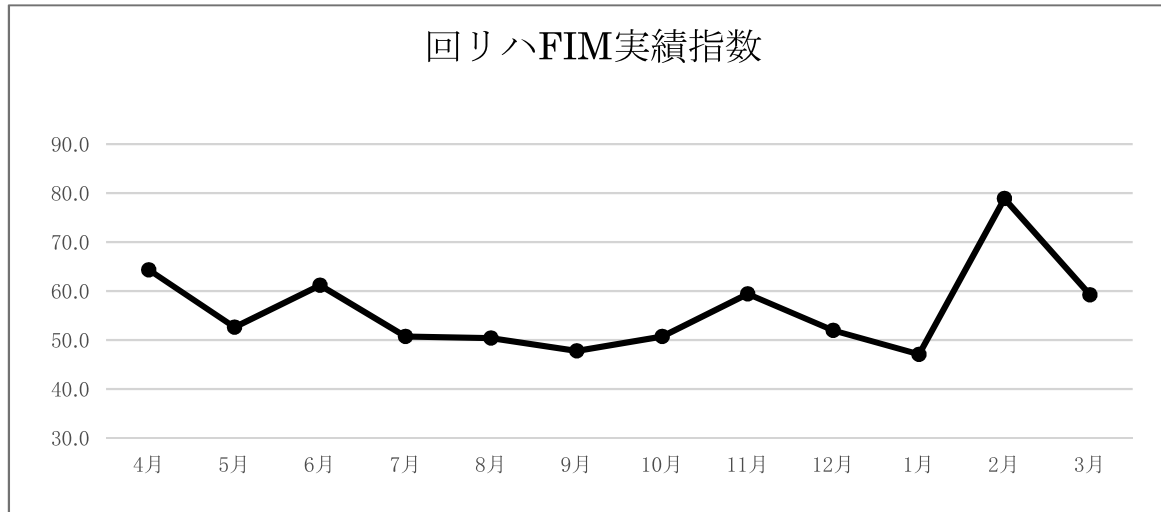
脳血管疾患等リハビリテーション料 I
運動器疾患リハビリテーション料 I
心大血管疾患リハビリテーション料 I

呼吸器リハビリテーション料 I
がん患者リハビリテーション料

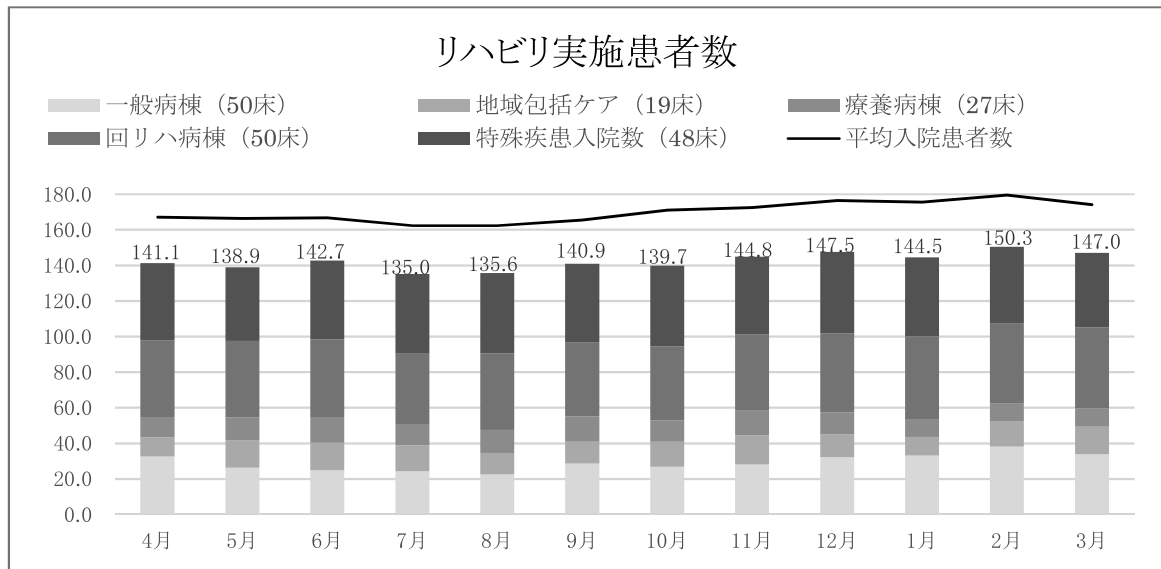
4. リハビリ実施患者の疾患別割合



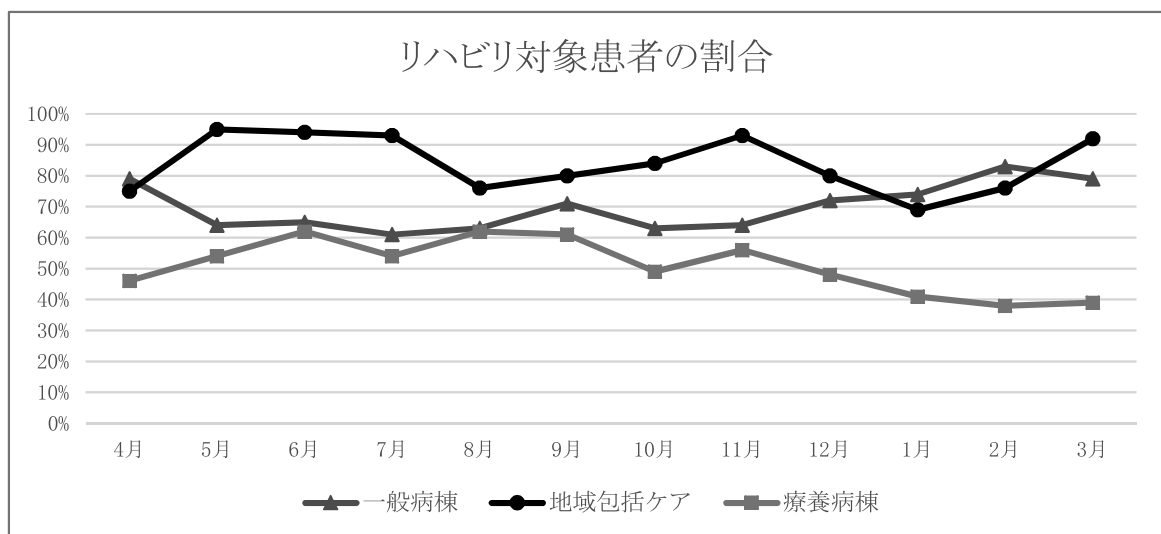
5. FIM 実績指数



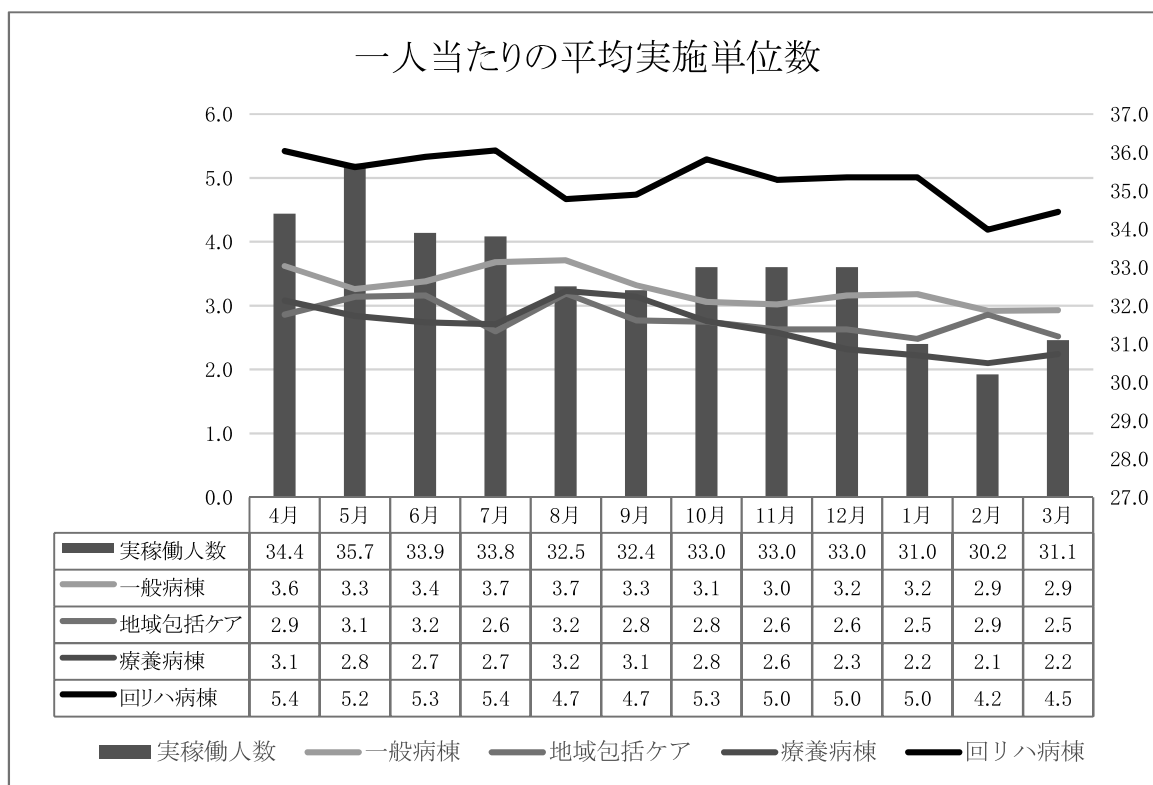
6. リハビリ実施患者数（名）



7. リハビリ対象患者の割合（％）

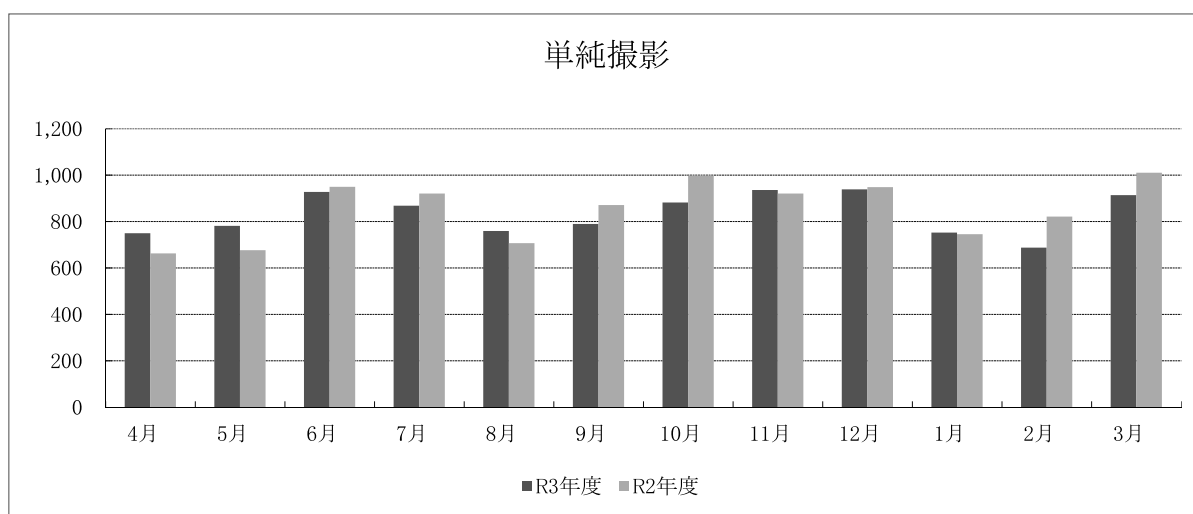


8. 1 患者あたりの平均実施単位数（単位）



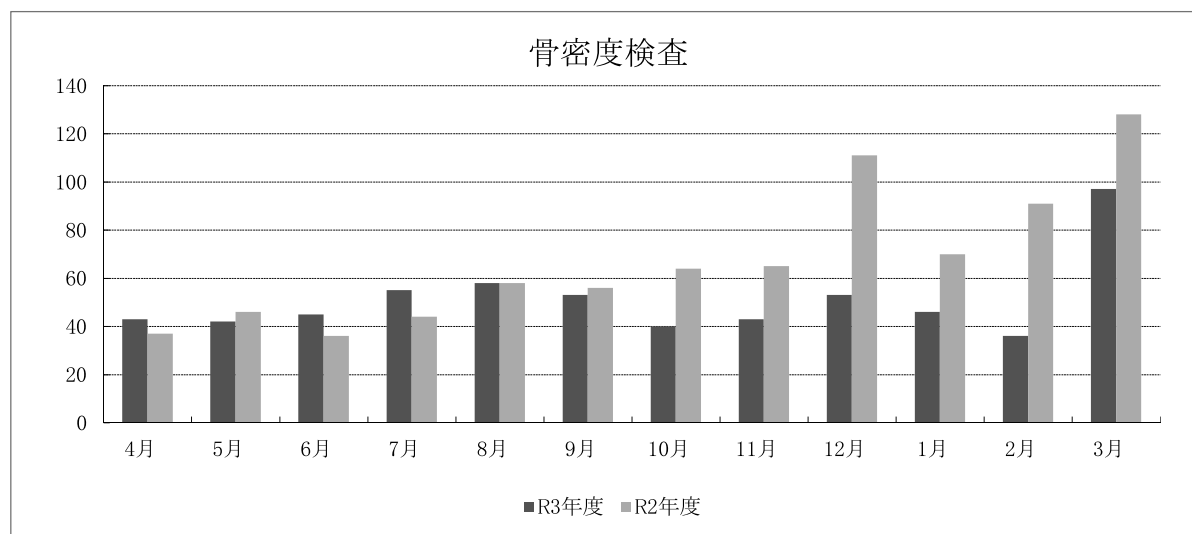
単純撮影 検査集計

	単純撮影						前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	ポータル ブル	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	317	91	104	235	3	750	663	113.1%	87	23	33
5 月	303	87	106	281	4	781	677	115.4%	104	20.5	38
6 月	311	98	122	391	5	927	950	97.6%	-23	24	39
7 月	277	93	79	414	5	868	921	94.2%	-53	22.5	39
8 月	314	100	78	261	6	759	707	107.4%	52	24	32
9 月	285	98	104	292	10	789	871	90.6%	-82	24	33
10 月	317	89	110	359	7	882	998	88.4%	-116	25	35
11 月	343	91	97	399	6	936	920	101.7%	16	24	39
12 月	334	109	113	381	2	939	948	99.1%	-9	26	36
1 月	258	104	92	297	2	753	746	100.9%	7	23	33
2 月	258	100	79	250	0	687	821	83.7%	-134	22	31
3 月	314	132	103	364	1	914	1,010	90.5%	-96	26	35
合 計	3,631	1,192	1,187	3,924	51	9,985	10,232	97.6%	-247	284	35



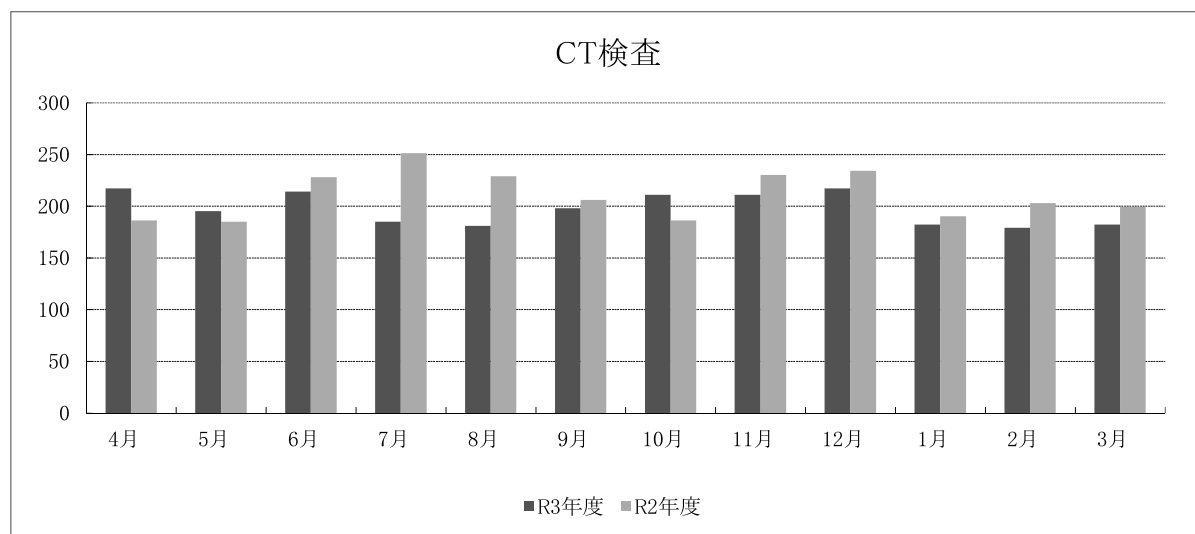
骨密度 検査集計

	骨密度					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	41	0	2	0	43	37	116.2%	6	23	2
5 月	38	2	2	0	42	46	91.3%	-4	20.5	2
6 月	41	2	2	0	45	36	125.0%	9	24	2
7 月	43	1	11	0	55	44	125.0%	11	22.5	2
8 月	40	2	16	0	58	58	100.0%	0	24	2
9 月	44	1	8	0	53	56	94.6%	-3	24	2
10 月	32	1	7	0	40	64	62.5%	-24	25	2
11 月	29	0	14	0	43	65	66.2%	-22	24	2
12 月	26	0	27	0	53	111	47.7%	-58	26	2
1 月	27	1	18	0	46	70	65.7%	-24	23	2
2 月	24	1	11	0	36	91	39.6%	-55	22	2
3 月	46	1	50	0	97	128	75.8%	-31	26	4
合 計	431	12	168	0	611	806	75.8%	-195	284	2



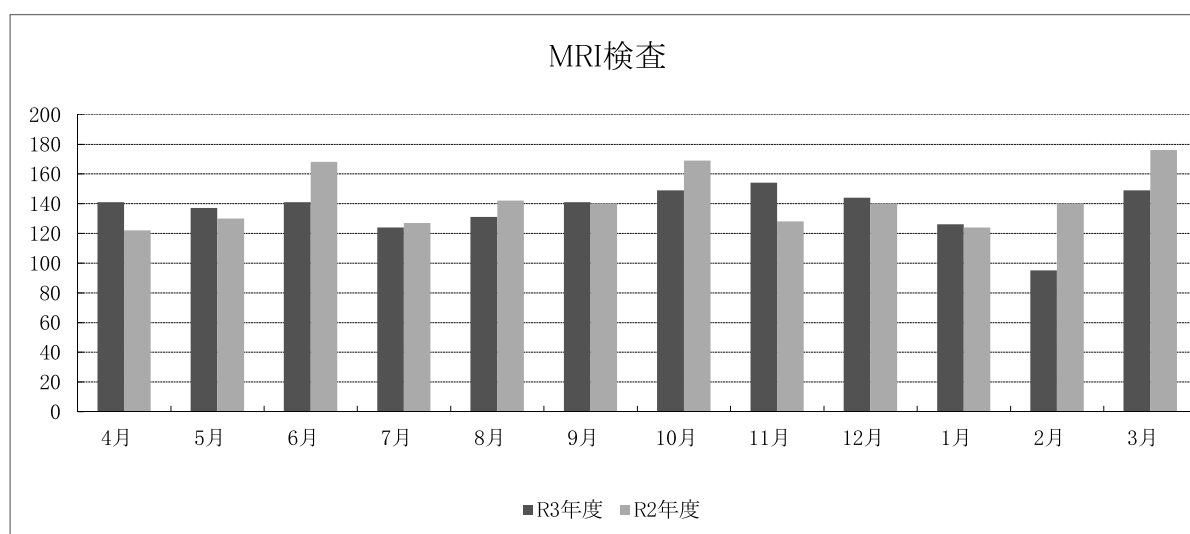
CT 検査集計

	CT					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4 月	129	77	7	4	217	186	116.7%	31	23	9
5 月	127	64	1	3	195	185	105.4%	10	20.5	10
6 月	128	67	15	4	214	228	93.9%	-14	24	9
7 月	109	70	3	3	185	251	73.7%	-66	22.5	8
8 月	103	71	2	5	181	229	79.0%	-48	24	8
9 月	124	63	5	6	198	206	96.1%	-8	24	8
10 月	140	65	1	5	211	186	113.4%	25	25	8
11 月	133	71	1	6	211	230	91.7%	-19	24	9
12 月	144	68	2	3	217	234	92.7%	-17	26	8
1 月	119	61	0	2	182	190	95.8%	-8	23	8
2 月	116	55	5	3	179	203	88.2%	-24	22	8
3 月	113	60	5	4	182	199	91.5%	-17	26	7
合 計	1,485	792	47	48	2,372	2,527	93.9%	-155	284	8



MRI 検査集計

	MRI					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4月	114	26	1	0	141	122	115.6%	19	23	6
5月	99	36	2	0	137	130	105.4%	7	20.5	7
6月	100	32	9	0	141	168	83.9%	-27	24	6
7月	101	17	6	0	124	127	97.6%	-3	22.5	6
8月	102	23	6	0	131	142	92.3%	-11	24	5
9月	105	28	6	2	141	140	100.7%	1	24	6
10月	108	38	3	0	149	169	88.2%	-20	25	6
11月	119	29	6	0	154	128	120.3%	26	24	6
12月	116	26	2	0	144	140	102.9%	4	26	6
1月	100	19	7	0	126	124	101.6%	2	23	5
2月	75	19	1	0	95	140	67.9%	-45	22	4
3月	118	27	4	0	149	176	84.7%	-27	26	6
合 計	1,257	320	53	2	1,632	1,706	95.7%	-74	284	6



TV 検査集計

	TV					前年比較			稼働日数	AV
	外来	病棟	検診	福寿	計	前年	前年比	増減		
4月	3	4	56	0	63	57	110.5%	6	23	3
5月	1	6	14	30	51	42	121.4%	9	20.5	2
6月	2	5	101	0	108	130	83.1%	-22	24	5
7月	4	4	114	2	124	112	110.7%	12	22.5	6
8月	1	6	63	0	70	73	95.9%	-3	24	3
9月	1	15	77	1	94	92	102.2%	2	24	4
10月	4	8	101	0	113	129	87.6%	-16	25	5
11月	1	8	129	0	138	120	115.0%	18	24	6
12月	1	17	129	1	148	138	107.2%	10	26	6
1月	2	17	89	0	108	60	180.0%	48	23	5
2月	1	8	69	0	78	90	86.7%	-12	22	4
3月	2	23	96	1	122	110	110.9%	12	26	5
合 計	23	121	1,038	35	1,217	1,153	105.6%	64	284	4

2021 年度(R3 年度)検体検査

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
生化学	HITACHI 7180	2,243	2,202	2,511	2,336	2,127	2,310	2,293	2,284	2,351	2,029	1,814	2,254	26,754
	HLC723G11	692	652	724	704	615	683	714	724	694	602	537	651	7,992
	生化学 その他	30	35	42	19	28	27	20	18	31	22	18	29	319
血液	XN1000	1,137	1,132	1,232	1,173	1,055	1,128	1,141	1,128	1,162	980	886	1,086	13,240
	目視	160	144	132	151	142	155	169	150	170	125	97	144	1,739
	CS1600	140	145	158	136	132	144	138	133	117	103	105	125	1,576
	血液 その他合計	28	19	31	25	17	25	21	16	19	22	16	18	257
免疫	AIA600 II	481	442	461	439	432	449	457	428	505	384	330	452	5,260
	免疫 その他合計	96	120	95	102	102	107	88	92	121	94	80	107	1,204
尿	US2200	731	850	964	973	853	879	933	995	1,002	835	726	927	10,668
	沈渣	398	479	441	484	529	488	440	436	477	402	355	454	5,383
	尿 その他合計	17	29	26	32	23	45	17	24	34	22	25	32	326
一般	OC- SENSOR io	221	218	368	340	250	275	358	378	303	158	134	169	3,172
	一般 その他合計	155	217	172	184	215	195	138	111	142	186	188	176	2,079
輸血	不規則抗体	7	0	7	5	2	4	4	1	2	4	2	2	40
	実施のべ人数	8	1	8	6	3	5	4	2	3	5	2	3	50

※検体数を計算しています

2021 年度(R3 年度)生理機能検査

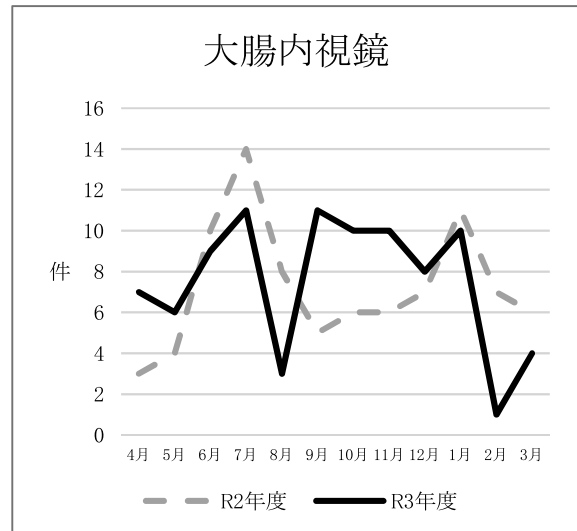
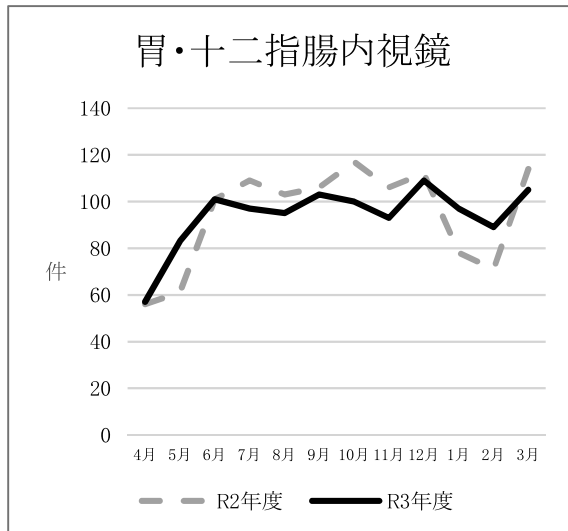
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
心電図検査 (R-R 含む)	385	411	631	785	434	873	876	878	612	551	444	708	7,588
ホルター心電図	19	8	8	3	8	2	11	11	5	6	7	7	95
負荷心電図	4	1	2	1	1	0	6	2	7	4	2	2	32
脈波伝達速度	14	11	17	6	6	7	19	10	10	12	12	12	136
腹部超音波検査	28	31	34	21	39	36	28	25	21	28	27	38	356
心臓超音波検査	14	11	15	15	21	20	25	27	27	29	21	19	244
頸動脈超音波検査	9	8	6	10	6	6	8	7	4	6	6	13	89
甲状腺超音波検査	3	2	4	3	5	1	2	2	3	0	0	1	26
下肢静脈超音波検査	3	5	5	4	1	2	0	5	3	1	1	4	34
脳波	14	6	8	3	6	10	8	11	10	9	8	17	110
脳誘発電位検査	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
神経・筋機能検査	8	6	6	4	5	2	0	4	4	8	6	9	62
眼科検査	39	44	96	145	130	116	121	100	115	77	35	43	1,061
肺機能検査	18	24	31	42	52	39	36	24	37	18	17	18	356
睡眠時検査	1	0	4	1	1	2	2	1	2	1	1	0	16
耳鼻科関連検査	35	44	34	28	30	24	36	23	21	32	32	29	368

健診の件数も含む(腹部超音波検査 健診検査技師実施分除外)

耳鼻科関連検査 言語聴覚士実施分除外

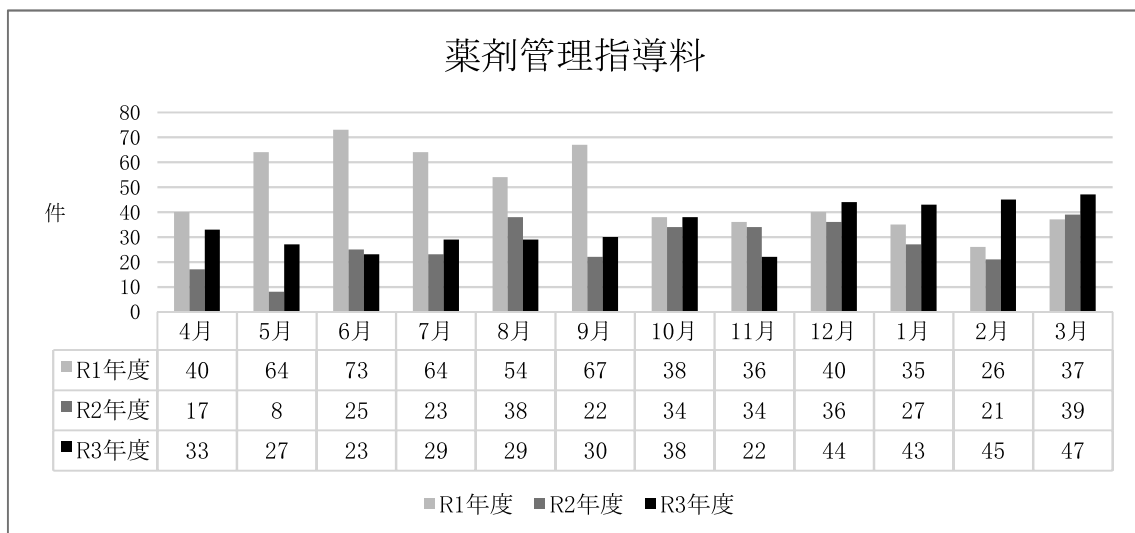
2021.6 月～バス健診実施件数を記録開始

内視鏡実施件数



薬剤管理指導件数 380点、325点 324件

※ 2病棟(50床)・療養病棟(31床⇒27床)対象



退院時薬剤情報管理指導料(退院時に算定) 90点 46件

※ 2病棟(50床)・療養病棟(27床)対象

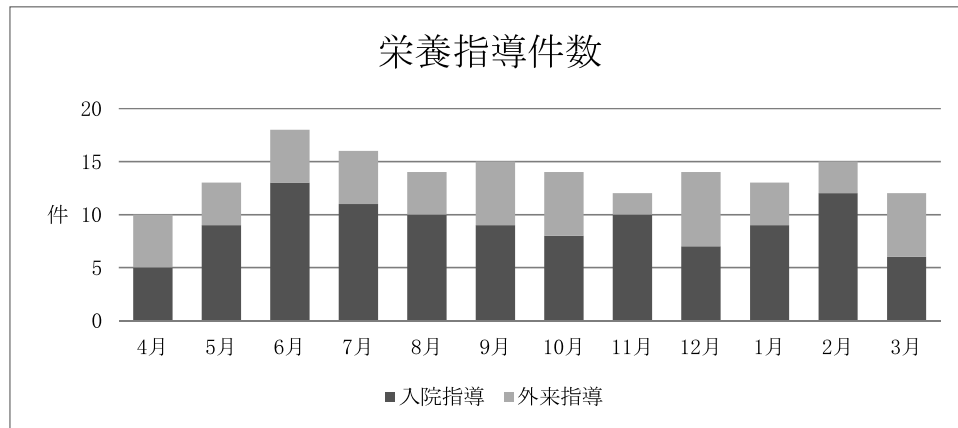
病棟薬剤業務実施加算(入院基本料への加算) 100点 / 週1回

※ 2病棟(50床)・療養病棟(27床)対象

実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	244	268	234	247	246	245	262	266	292	250	241	281	3,076
療養	16	14	26	31	20	11	22	29	16	23	21	21	250
合計	260	282	260	278	266	256	284	295	308	273	262	302	3,326

栄養指導件数



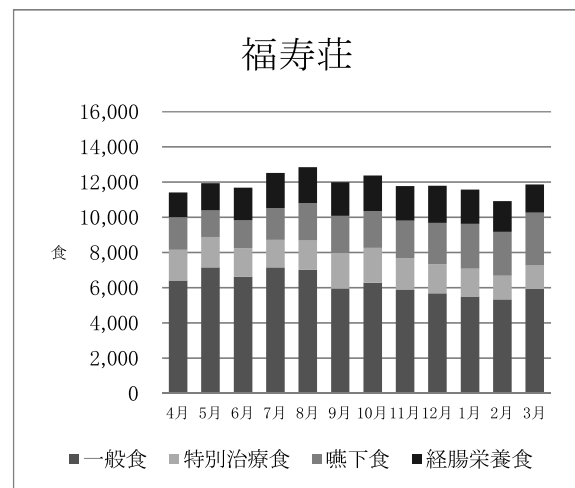
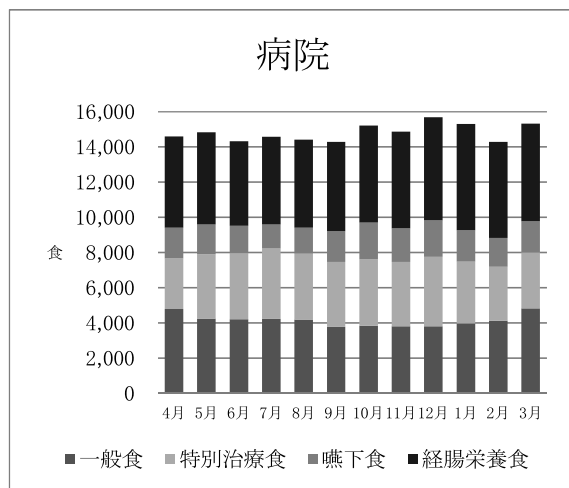
提供食数 集計（一般食・特別治療食・嚥下食・経腸栄養食）

病院

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般食	4,782	4,245	4,191	4,221	4,184	3,770	3,829	3,793	3,797	3,956	4,112	4,810	49,690
特別治療食	2,880	3,656	3,750	3,998	3,745	3,677	3,771	3,657	3,949	3,514	3,069	3,183	42,849
嚥下食	1,732	1,685	1,567	1,369	1,472	1,753	2,089	1,919	2,066	1,778	1,647	1,775	20,852
経腸栄養食	5,188	5,240	4,812	4,978	4,999	5,078	5,509	5,483	5,867	6,056	5,456	5,547	64,213
計	14,582	14,826	14,320	14,566	14,400	14,278	15,198	14,852	15,679	15,304	14,284	15,315	177,604

福寿荘

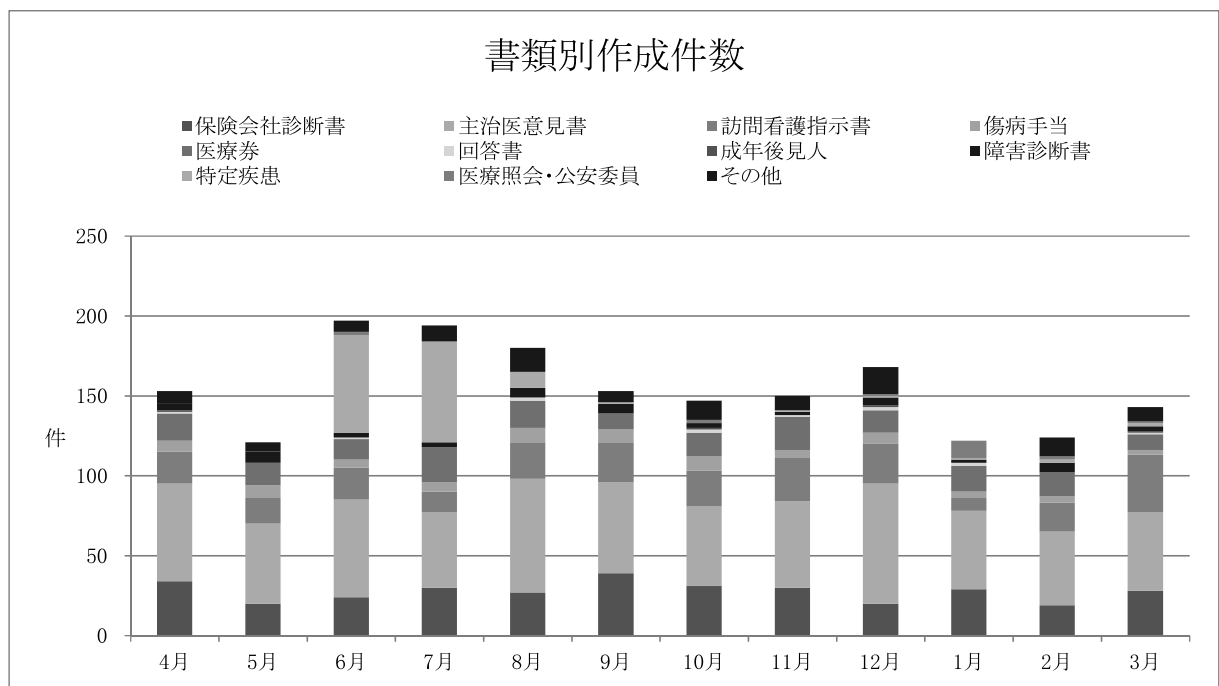
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般食	4,360	4,207	4,231	4,543	4,644	4,454	4,384	4,790	5,468	5,475	4,931	5,189	56,676
特別治療食	2,026	1,887	2,336	2,420	2,195	1,962	1,852	1,801	1,952	2,177	1,879	2,012	24,499
嚥下食	2,134	2,463	2,536	2,526	2,525	2,772	3,095	2,777	2,685	2,684	2,277	2,849	31,323
経腸栄養食	1,642	1,647	1,487	1,728	1,777	1,897	1,840	1,932	2,147	2,035	1,881	2,247	22,260
計	10,162	10,204	10,590	11,217	11,141	11,085	11,171	11,300	12,252	12,371	10,968	12,297	134,758



医療秘書課 書類作成状況

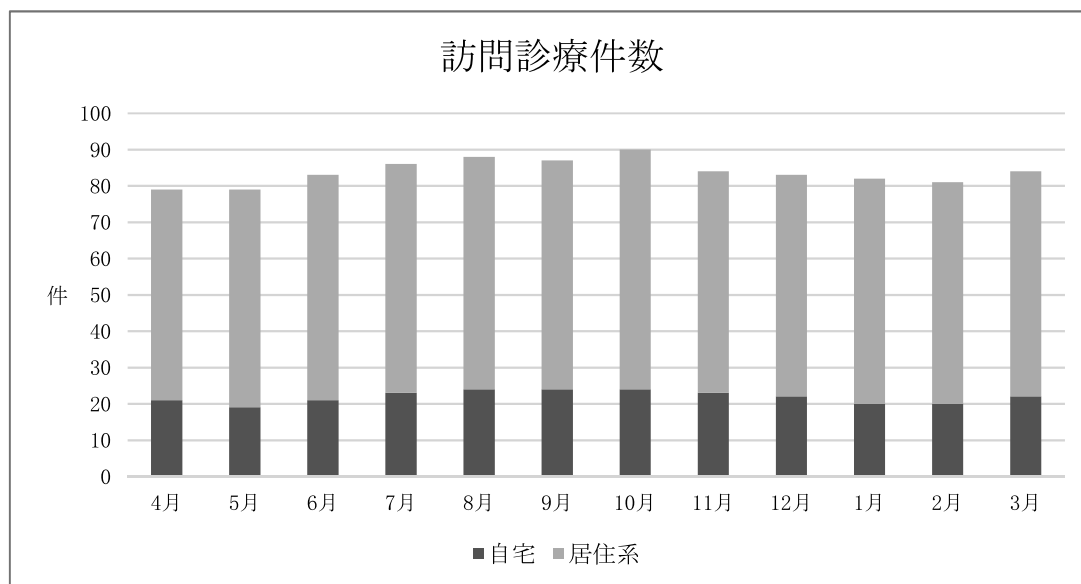
預かり書類別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
保険会社診断書	34	20	24	30	27	39	31	30	20	29	19	28	331
主治医意見書	61	50	61	47	71	57	50	54	75	49	46	49	670
訪問看護指示書	20	16	20	13	23	25	22	27	25	8	18	36	253
傷病手当	7	8	5	6	9	8	9	5	7	4	4	3	75
医療券	17	14	13	22	17	10	15	21	14	16	15	10	184
回答書	1	0	1	0	2	0	2	1	2	2	0	1	12
成年後見人	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
障害診断書	4	7	3	3	6	6	3	2	5	2	6	3	50
特定疾患	0	0	61	63	10	1	0	1	1	1	2	2	142
医療照会・公安委員	0	0	2	0	0	0	2	0	1	11	2	1	19
その他	8	6	7	10	15	7	12	9	17	0	12	9	112
作成件数 (医療秘書課)	153	121	197	194	180	153	147	150	168	122	124	143	1,852



訪問診療件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
自宅	21	19	21	23	24	24	24	23	22	20	20	22
居住系	58	60	62	63	64	63	66	61	61	62	61	62
合計	79	79	83	86	88	87	90	84	83	82	81	84



健康診断受診者 推移

	ドック人数			一般健診人数			巡回健診人数			倉敷けんしん (市民健診)人数			産業医件数		
	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
4月	132	88	112	153	141	141	411	383	224	0	0	0	12	13	12
5月	161	120	117	228	155	184	248	336	398	0	0	0	12	13	11
6月	204	190	189	272	230	223	117	88	205	172	246	153	12	13	10
7月	200	191	176	202	251	224	263	299	270	195	189	160	12	13	10
8月	168	129	132	197	142	140	312	322	119	154	146	117	12	13	10
9月	156	157	140	223	212	135	753	1,033	1,160	209	143	201	12	13	10
10月	172	200	181	184	218	168	1,095	779	476	267	280	293	12	13	11
11月	171	182	191	207	193	339	415	435	508	288	237	261	12	13	11
12月	193	220	223	159	131	239	46	119	101	148	182	271	12	13	11
1月	159	104	173	161	99	227	89	125	125	259	171	217	12	12	11
2月	178	171	196	136	137	110	62	50	78	7	7	3	12	12	11
3月	191	225	235	212	194	232	336	393	278	3	3	6	12	12	11
年 合 計	2,085	1,977	2,065	2,334	2,103	2,362	4,147	4,362	3,942	1,702	1,604	1,682	144	153	129

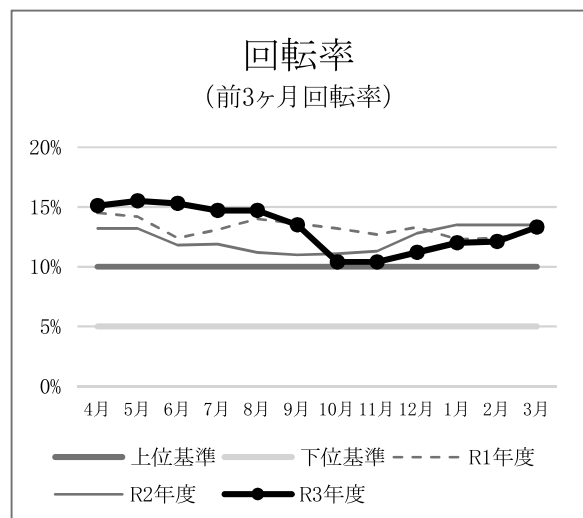
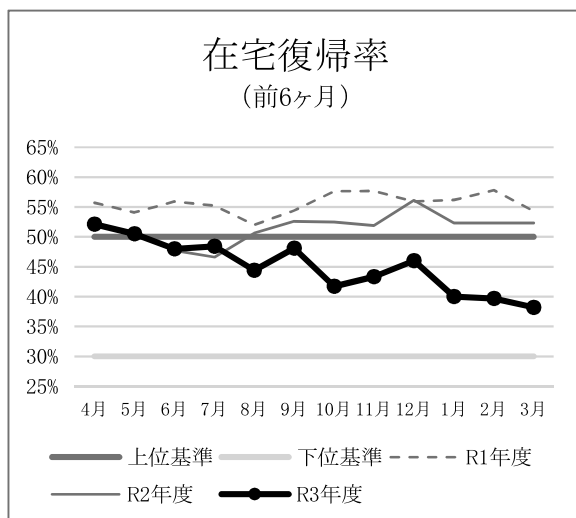
福寿荘

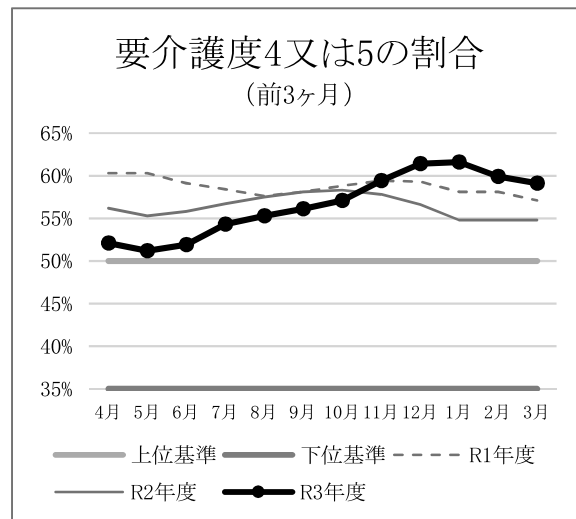
入所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅、在宅系施設	5	4	7	4	5	0	3	8	7	5	6	2	56
記念病院	12	13	11	8	8	9	11	8	11	6	9	11	117
第一病院	1	0	7	1	2	2	0	0	1	0	3	8	25
他医療機関	1	1	5	3	4	2	1	2	2	2	4	1	28
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所合計	19	18	30	16	19	13	15	18	21	13	22	22	226
新規入所者数	8	9	20	7	11	10	8	12	12	8	11	17	
新規入所者の割合	42.1%	50.0%	66.7%	43.8%	57.9%	76.9%	53.3%	66.7%	57.1%	61.5%	50.0%	77.3%	

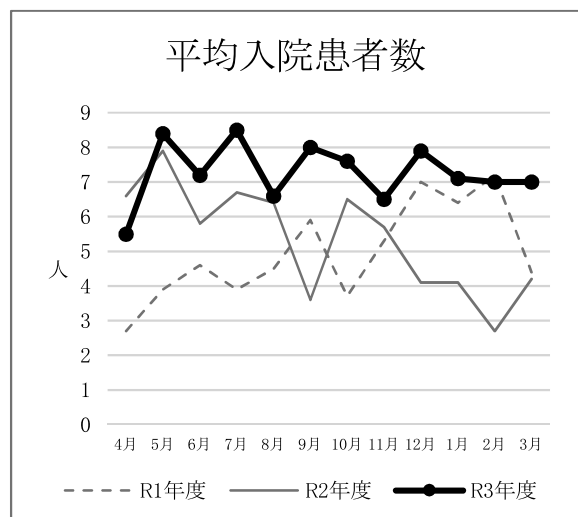
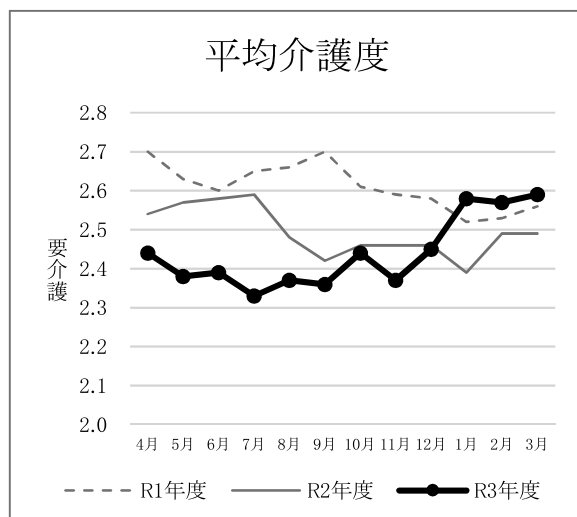
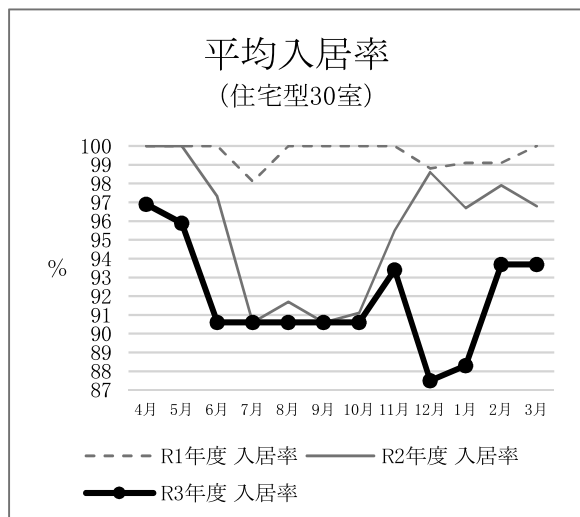
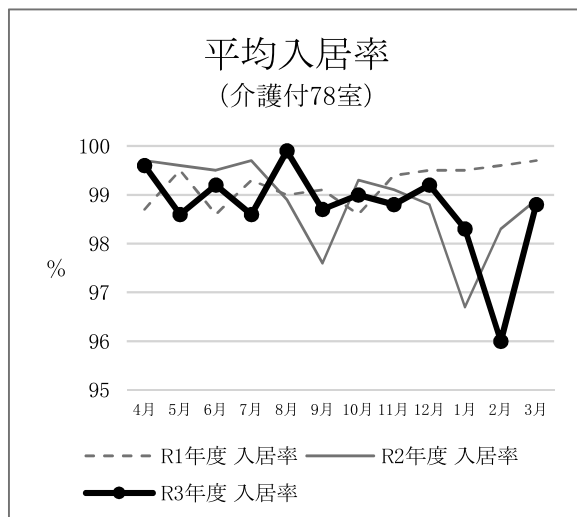
退所内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
在宅(1ヶ月以上)	7	5	6	4	4	4	6	5	3	5	6	8	63	39.4%
在宅(1ヶ月未満)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.6%
医療機関	8	8	6	9	5	9	6	1	12	7	6	7	84	52.5%
介護老人保健施設	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.3%
介護老人福祉施設	5	2	1	1	1	1	1	2	1	2	3	1	21	13.1%
死亡	1	3	5	4	4	2	0	4	0	3	6	5	37	23.1%
退所合計	21	18	18	20	14	16	13	12	16	17	22	21	208	
在宅復帰率	41.2%	33.3%	46.2%	36.4%	44.4%	28.6%	46.2%	62.5%	18.8%	35.7%	37.5%	50.0%	40.1%	

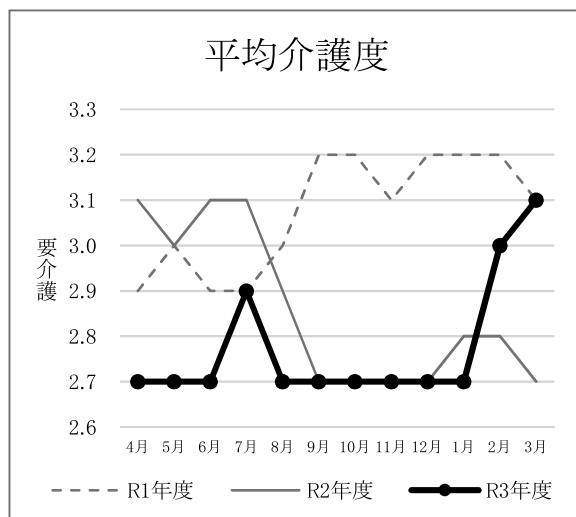




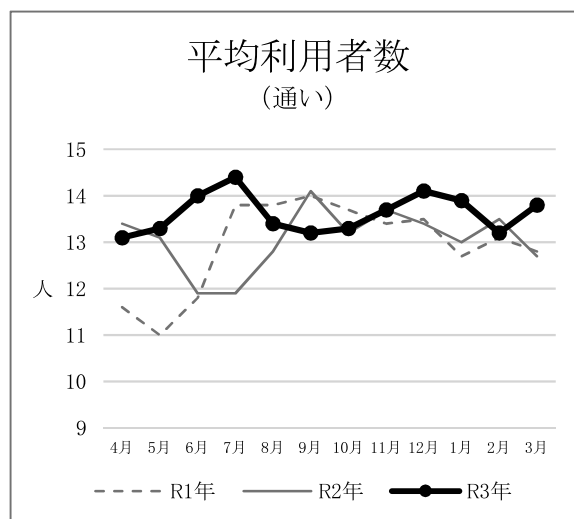
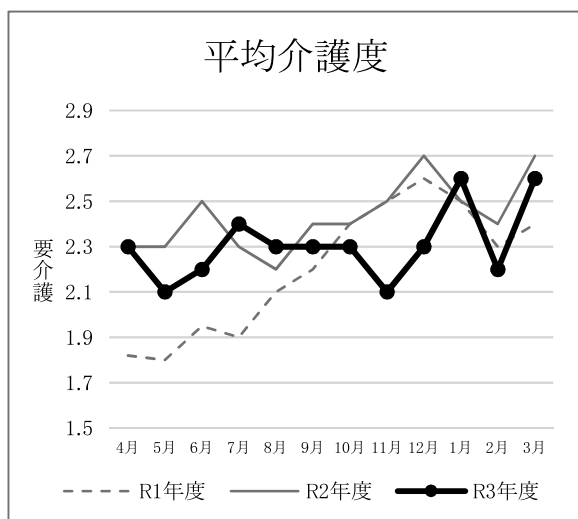
有料老人ホームせいわ



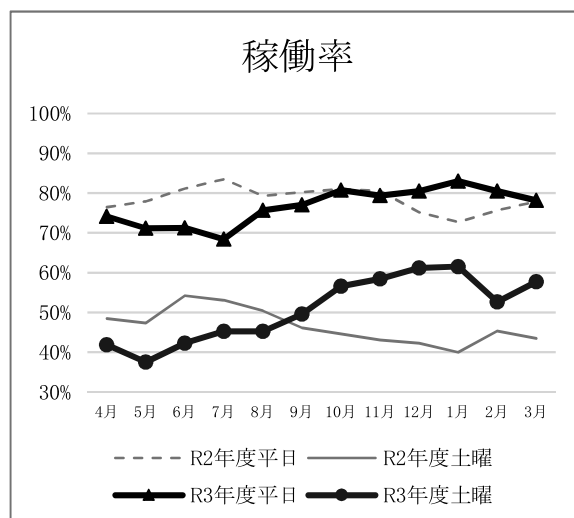
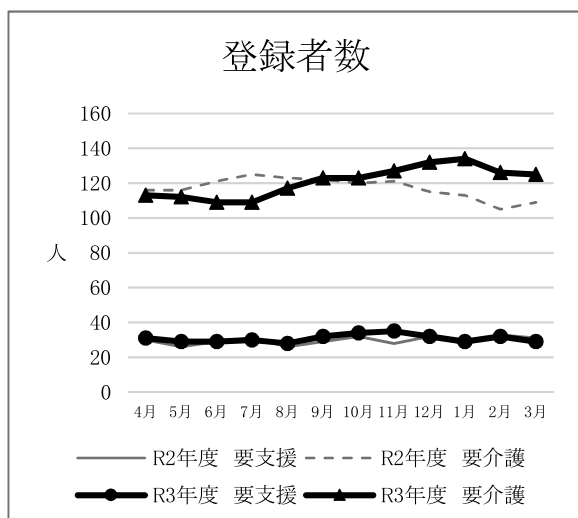
グループホーム コージー



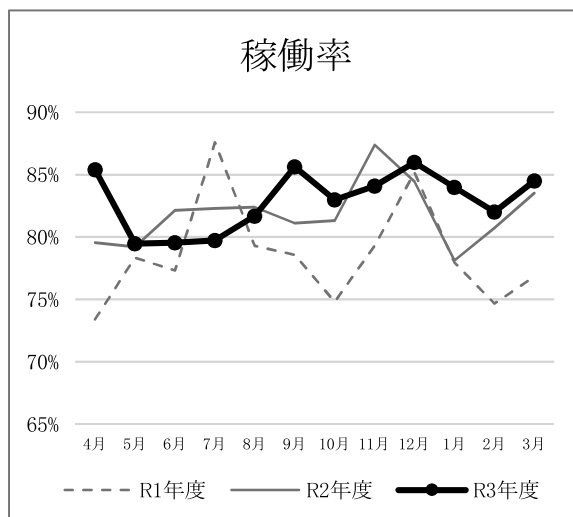
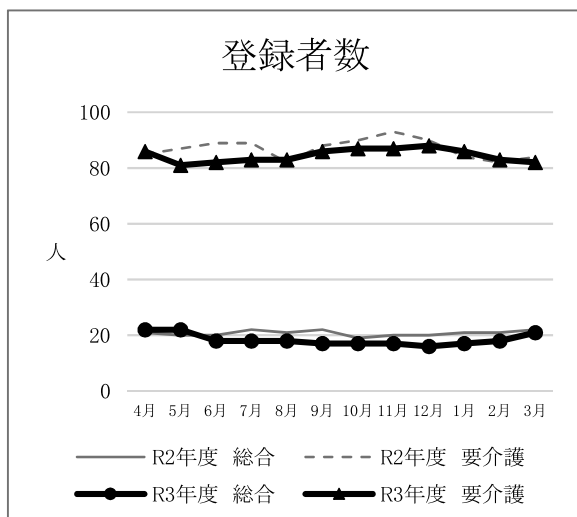
小規模多機能 和



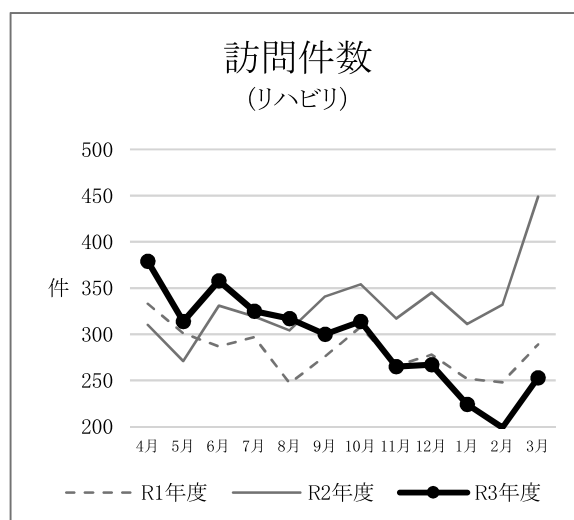
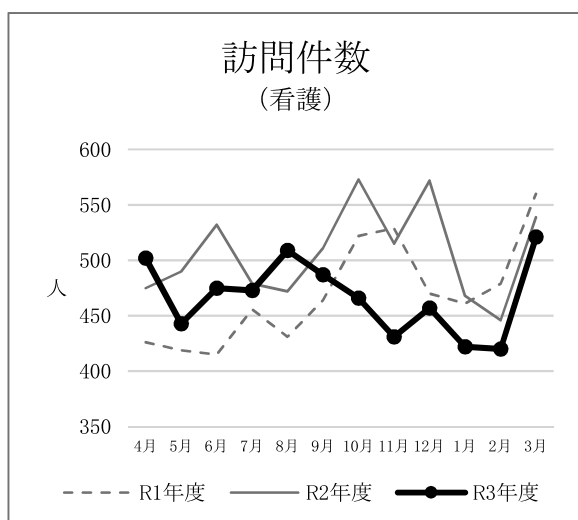
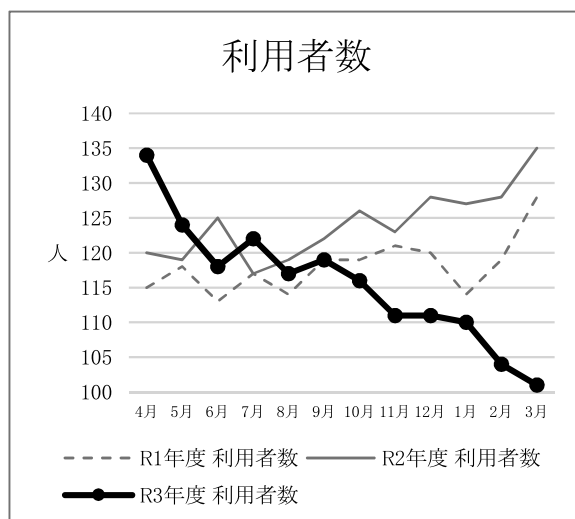
通所リハビリ



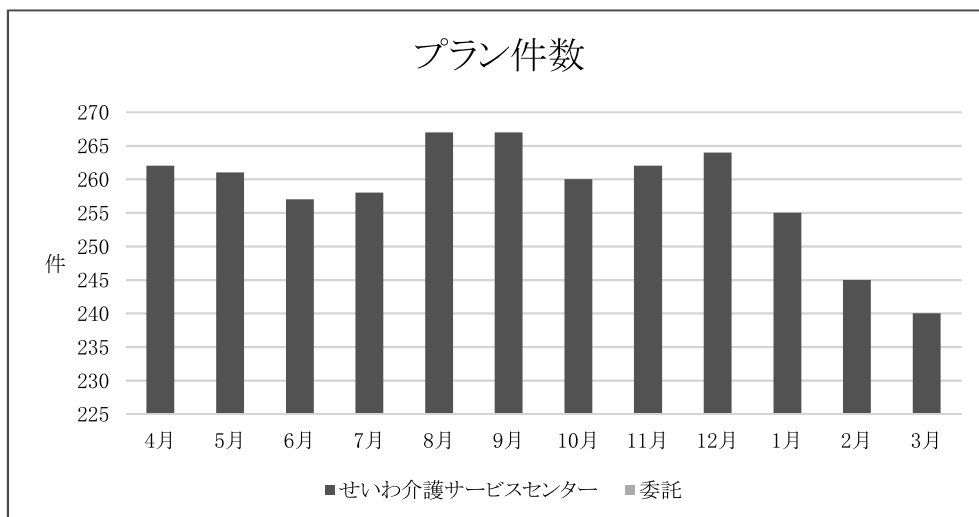
デイサービス



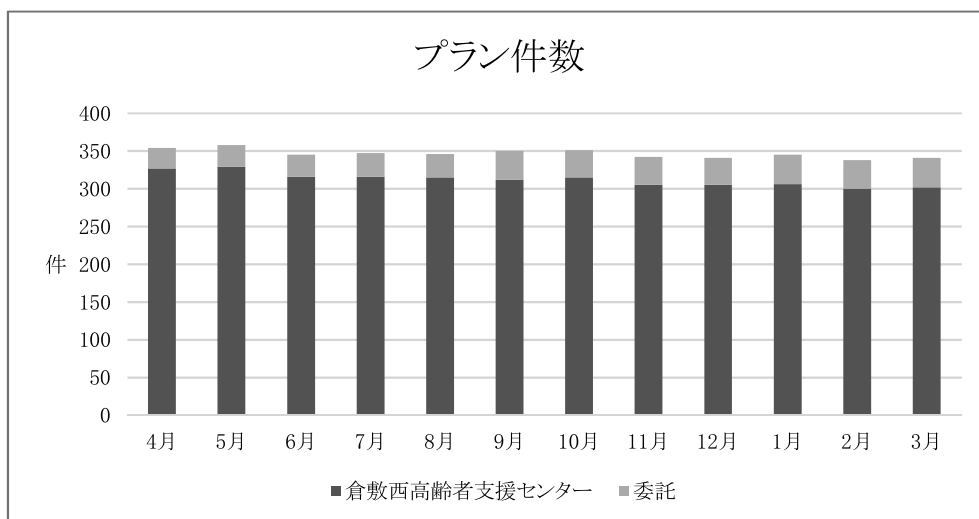
訪問看護ステーション



せいわ介護サービスセンター



倉敷西高齢者支援センター



診療部長 矢野 達俊

1. 診療案内（令和4年6月現在）

循環器内科



理事長

こいで ひさし
小出 尚志昭和54年 大阪医科大学卒
医学博士日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器病学会認定循環器専門医
日本医師会認定 産業医
大阪医科大学 非常勤講師

循環器内科部長

よしだ じゅんじ
吉田 潤史平成13年 香川医科大学卒
医学博士
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会認定内科医

診療内容と科の特色

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、高血圧、心不全、不整脈、などを中心に、心臓疾患全般を対象として幅広く入院・外来診療しています。また、虚血性心疾患の危険因子としての生活習慣病(糖尿病、高コレステロール血症、痛風、肥満など)についても診療と生活指導をしています。外来診療ならびに検査は予約制をとっていますが、緊急時は随時診療いたします。

循環器領域のリハビリテーションとして2013年より適応の心大血管疾患に対して心臓リハビリテーション(外来・入院)を実施しています。

当院では倉敷中央病院をはじめとした地域医療機関と心不全治療の地域連携を進めており、倉敷地域心不全の会発行の心不全手帳を活用しております(心不全手帳は当院でも発行が可能です)。

循環器領域におけるほとんどの非観血的検査に対応しています(下記検査の項を参照ください)。しかし、1.CAG、その他の血管造影ならびにPCI、2. EPSならびにcatheter ablation、3.経食道心エコー、4.心嚢水穿刺・ドレナージ、5.心筋生検、6.心・血管系の外科手術などの特殊な診断・治療については、高度医療機器と医療チームの対応可能な病院(倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院、岡山大学附属病院)と連携して診療しています。

主な検査、診断機器とその説明

非観血的検査・診断

1. 心電図(安静時、運動負荷心電図:マスター、トレッドミル)
2. 超音波検査(心エコー:M,Bモード、ドップラー、血管エコー)
3. 24時間ホルター心電図
4. 24時間携帯型血圧自動測定器

消化器・肝臓内科



訪問診療部部長

さくらい めぐみ
櫻井 恵

昭和 54 年 川崎医科大学卒
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本医師会認定産業医



内科部長

みやけ まさのぶ
三宅 正展

平成 1 年 山口大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医・指導医
日本肝臓学会認定肝臓専門医
日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会認定
消化器内視鏡専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本医師会認定産業医
日本消化器病学会中国地区評議員
日本消化器内視鏡学会中国地区評議員
ヘリコバクター学会 H.Pylori 感染症認定医

診療内容と科の特色

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)、胆嚢、肝臓、膵臓疾患を担当しています。また、検査を目的とする紹介にも対応しております。

消化器疾患

各種の消化管疾患に対して、上部消化管透視、上部・下部消化管内視鏡検査、超音波、CT、MRI 等を使用して診断及び治療を行っております。ピロリ菌除菌治療も行っています。

肝疾患

各種肝疾患の診断・病態・病期の把握を行い、各患者さんの病状に沿った治療を行います。肝炎専門一次医療機関として助成金を申請しての経口抗ウイルス剤による肝炎治療も行っています。慢性肝疾患患者では、定期的に腹部超音波検査やCT検査を行い、癌の早期発見に努めています。脂肪肝外来を開設し、脂肪肝、NASH にも対応しています。特殊なケースの確定診断や、癌の集学的治療は、倉敷第一病院・松田病院・倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・岡山済生会総合病院・岡山大学医学部附属病院・岡山赤十字病院などと連携して患者さんがより適切な治療が受けられるようにしています。高度専門医療機関の肝疾患患者の平素の肝臓治療や投薬・注射をお引き受けしたり、診療所にかかっておられる肝疾患患者の定期的画像診断や増悪期の入院加療をお引き受けしています。

主な検査、診断機器とその説明

上部・下部消化管内視鏡検査(毎日、予約制)

消化管の出血やポリープ、早期がんへの EMR 等の内科的治療が可能です。NB1 および拡大内視鏡を使用し診断の質の向上に努めています。

腹部超音波検査(毎日、予約制)

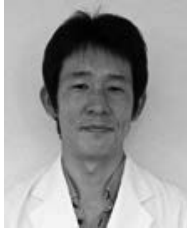
肝臓・胆嚢・胆管・膵臓・脾臓・腎臓消化管などの腹部臓器の検査を行います。必要に応じ、造影超音波検査も行っています。

腹部CT検査(毎日、随時)

64 チャンネルマルチスライスCTを使用したダイナミックCT検査により癌の早期発見に努めています。

MRI(1.5 テスラ)を使用した EOB-MRI、MRCP による肝・胆道系・膵精査も可能です。

肝胆脾



とみやま やすゆき
富山 恭行

(非常勤)

平成 14 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本内科学会認定内科医、指導医、中国支部評議員

日本消化器病学会専門医、指導医、中国支部評議員

日本肝臓学会専門医、指導医、西支部評議員

日本化学療法学会抗菌化学療法認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医、教育責任者

日本感染症学会インфекションコントロールドクター (ICD)

日本医師会認定産業医

経皮的肝生検(入院対応)

局所麻酔にてエコーガイド下に採取部位を確認しながら経皮的肝生検を実施します。組織診断は、NASH (非アルコール性脂肪肝炎) の診断に不可欠であり、また他の多くの肝疾患の確定診断・予後判定・治療法の選択にも有用です。

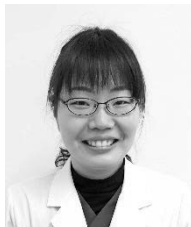
呼吸器内科



副院長 診療部長

や の たつとし
矢野 達俊

昭和 61 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本呼吸器学会認定専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医
ICD制度協議会認定
インфекションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
日本化学療法学会認定抗菌化学療法認定医
日本禁煙学会認定禁煙専門指導者
日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医



さわき せいか
澤木 聖佳

平成 25 年 広島大学卒
日本内科学会認定内科医
日本老年医学会認定老年科専門医

診療内容と科の特色

呼吸器疾患を中心に循環器疾患もあわせて診察を行っております。特に慢性咳嗽の診断、治療、気管支喘息に対する吸入療法の推奨、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）に対する禁煙指導や治療、画像診断による肺癌の早期発見、肺炎などの感染症治療、などに力を入れております。また呼吸器に関連した高血圧、心臓疾患の診断、治療も行っております。さらに睡眠時無呼吸症候群の診断、治療も神経内科と耳鼻科との協力の上行っております。

酸素療法を必要とする慢性呼吸不全患者様に対して、在宅酸素療法を導入、管理も積極的に対応しております。

主な検査、診断機器とその説明

胸部レントゲン写真、CT検査

肺炎、肺癌、アレルギー疾患などの画像診断を行います。最近の高解像度のCTにより、細かな病変まで描出可能となっております。また造影を行うことで、縦隔リンパ節や胸部血管の異常診断を行います。

肺機能検査

肺活量や1秒量などの肺機能を測定する検査です。COPD、喘息や間質性肺炎などの診断に利用しています。

呼気中 NO 検査

気管支喘息の診断に用います。

糖尿病内科



栄養治療(NST)部長

はやし さとみ
林 里美

平成2年 岡山大学卒
日本静脈経腸栄養学会
日本プライマリ・ケア連合学会

診療内容と科の特色

糖尿病・高血圧など慢性の生活習慣病を中心に一般内科外来診療を行っています。食事や運動など、患者さんが自分でコントロールしていけるような生活指導に重点を置いて、生活の見える外来診療を行っています。

糖尿病教室は月に1度、昼間の時間ですが、20年以上継続して実施しています。患者さんのニーズに合わせた様式や内容で、最近はグループワークや体操教室、食事会などをスタッフとともに案を練って、患者さんが自ら参加し持ち帰る実の多い会を目指しています。

また、院内ではNST(栄養サポートチーム)の医師として、入院患者さんの栄養管理を軸に摂食嚥下、褥創、PEG、リハビリなど院内の他のチームとの連携を取りながら、患者さんが最も有効に治療が受けられるよう支援しています。

一方、療養病棟を主に回復期や維持期にある患者さんの退院後の生活を見越した医学的管理と介護サービスの調整を行い、スムーズに退院後の生活になじめるようお手伝いさせていただいています。

医療のどの場面でも生活者としての、疾患を抱えた患者さんが自分で疾患を理解・管理し暮らしていけるよう、スタッフとともに援助することを心がけて診療に当たっています。

内科



院長

おかざき もりひろ
岡崎 守宏

昭和 55 年 岡山大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本人間ドック学会認定人間ドック認定医
日本総合健診医学会・日本人間ドック学会認定
人間ドック健診専門医

診療内容と科の特色

内科は、専門領域を限定せず幅広く一般的な内科疾患の診断、専門領域への振り分け、また生活習慣病を中心とした慢性疾患の治療などを主体として診療しています。

外来では、初診、予約外受診の患者さんを総合内科外来で診察し、血液生化学検査、画像検査、内視鏡検査、生理検査などを通じて総合的に疾患の正しい診断を行い、治療の方向性を図るよう努めています。また、慢性疾患については主に予約外来で診療しています。



内科部長

にしもと ひろし
西本 弘

昭和 58 年 鳥取大学卒
医学博士
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本透析医学会専門医



ながお せいいち
長尾 聖一

(非常勤)
昭和 60 年 島根医科大学卒
医学博士
日本脳神経外科学会専門医

診療内容と科の特色

小生が脳外科医になった頃に比べ、脳卒中は高血圧性脳内出血から脳梗塞へと大きく比率が変わりました。この間、生活習慣病に対する認知度も上がり、さらに MRI、頸動脈エコー等により侵襲を伴うことなく頸部に頭蓋内動脈の現状を可視化することが出来る様になりました。また知らない間に生じていた脳血管障害が見つかったり、クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤を破裂前に発見することも可能となりました。一方、脳卒中の大半を占める脳梗塞になっても、血栓溶解、回収療法により最小限の後遺症で終わる方もいます。しかし不幸にも一生後遺症と闘わなければならない方も多いのが現状です。MRI、頸動脈エコー、採血、家庭内血圧測定という簡単な方法で、将来的な脳卒中のリスクを知り、原因となる生活習慣病をコントロールすることで脳卒中の後遺症と闘うことのない人生を送ることが出来ます。上記の理由で外来での脳ドック、生活習慣病の治療と予防を主として、また不幸にして脳卒中になられた方の再発予防と残存機能回復のリハビリテーションに注力したいと思っております。

脳神経内科

物忘れ外来



脳神経内科部長

やすだ たけし
安田 雄

昭和 52 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本薬物脳波学会評議員など

診療内容と科の特色

脳神経内科疾患全般にわたり幅広く診療しています。意識障害、認知症、頭痛、痙攣、めまい、運動麻痺、感覚障害、歩行や平衡障害、筋萎縮、筋肉痛などの症状の精査を行っています。主要疾患としては脳血管障害、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、多発性硬化症、重症筋無力症、進行性ジストロフィー症、多発筋炎、ニューロパチー、てんかんなどです。

主な検査、診断機器とその説明

電気生理学的検査の機器は充実していて、脳波はデジタル脳波計を使用しており、異常部位の検出やその程度をコンピューターで解析しています。また、経頭蓋磁気刺激装置を使用しての、錐体路障害の定量的測定をしています。毎水曜日午後は予約制の電気生理外来を行っていて、御紹介いただければ、その日のうちに結果を御報告するよう心掛けています。また血小板凝集能検査は特別の解析機器を使用し、ADP、collagen 凝集能を grading curve で表示し、PATI(platelet aggregatory threshold index:血小板凝集閾値係数)という新しいパラメーターを用いて詳細に解析しています。抗血小板療法を施行されていて、至適な療法がなされているか否かの判定を御希望なら、いつでも連絡していただければ、検査施行日にその結果を御報告いたします。片側顔面痙攣や眼瞼痙攣に対してのボトックス療法も実施しています。そして睡眠時無呼吸症候群(SAS)の精査・治療も行っていますので、御紹介いただければ幸甚です。

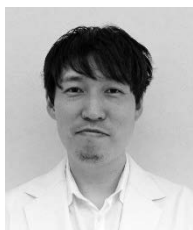
整形外科



整形外科部長

ひの ようすけ
日野 洋介

昭和 53 年 川崎医科大学卒
日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科認定脊椎脊髄病医



かわもと とよひろ
河本 豊広

(非常勤)
平成 21 年 川崎医科大学卒
日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定リハビリテーション医
日本人工関節学会認定医



さとう りょう
佐藤 諒

(非常勤)
平成 30 年 川崎医科大学卒

診療内容と科の特色

当科では整形外科一般を診療対象としています。

病院の特徴のひとつに高齢の患者さんが多いことがあげられます。そのため、骨粗鬆症性脊椎骨折や仙骨、恥骨などの脆弱性骨折、その他の不顕性骨折など骨脆弱に基づく骨折を扱う機会が増えています。椎体圧迫骨折は発症早期の診断や新旧の判断は X 線写真では難しい例も多く、MRI 診断が欠かせません。

椎体骨折では遅発性脊髄麻痺、偽関節を防止することが重要です。MRI 検査で診断確定後、できるだけ入院治療としています。難しい疾患の診断や治療はできませんが、正しい判断、的確な治療選択と大規模病院ではできない当院ならではの診療を常に心がけ、また急性期後を担う病院として地域医療に貢献していきたいと思っています。

健診部



健診部診療部長
手術室管理責任者
医療安全管理部門顧問
医療連携推進部顧問

よしだ やすお
吉田 泰夫

昭和 52 年京都大学卒

診療内容と科の特色

私自身、専門は腹部消化器外科であり、食道から直腸・肛門に至るまでの消化管、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓、脾臓の手術を行ってきました。

これまで「切るのが専門」という立場でしたが、現在は心機一転、「診る外科医」を目指しております。

外科疾患は「切らなければ治らない」ものが多いのですが、根治（完全に治してしまうこと）を求めずに、病気とうまく付き合っていくことができる疾患も多いのです。

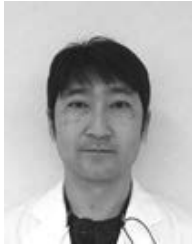
例えば腸閉塞の軽いものは食生活を改善することで、痔核・裂肛などの肛門疾患は排便のコントロールをすることで満足のいく生活が可能となります。

切らなければ治らないものは連携した基幹病院に紹介し、切らずに付き合っていけるものは私と一緒に病気と付き合っていきましょう。

消化器に限らず、ヘルニアや下肢静脈瘤、外傷などの一般外科領域についてもご相談ください。

また、消化器癌手術後は倉敷中央病院と連携して術後化学療法や経過観察のお手伝いをさせて頂くことも計画中です。

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科部長

リハビリテーション部副部長

もりた のりまさ
森田 倫正

平成 11 年 川崎医科大学卒

医学博士

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

日本耳鼻咽喉科学会認定指導医

診療内容と科の特色

平成 28 年 5 月から当院に勤務以来、耳鼻咽喉科領域全般の診療を中心に、リハビリ科と連携して、主に嚥下内視鏡検査(VE 検査)を用いた嚥下機能評価と個々の患者さんの必要に応じたリハビリおよび治療を行っています。外来での一般診療機器に加えて CT、MRI、超音波といった画像検査も迅速(受診当日)に行うことができ、様々な疾患に対応できる体制を整えております。当院では外来通院での嚥下リハビリも行うことができ、誤嚥性肺炎の患者さんのみならず、日々の食事で「のどにつかえる、飲みこしにくい、むせる」などの軽度から中等度の嚥下障害で困っている患者さんにも対応しています。

また、内視鏡下鼻副鼻腔手術をはじめ、扁桃摘出術、唾液腺手術(顎下腺、耳下腺腫瘍、唾石症など)や頸部手術、誤嚥防止術などを行っています。症例によっては日帰り手術、ショートステイでの手術も可能です。当院での治療が難しい症例に対しては、川崎医大附属病院、川崎医療センター、倉敷中央病院とも連携しつつ治療を行っています。

校医・園医

- ・倉敷市立中島小学校
- ・倉敷市立中島幼稚園
- ・清心保育園
- ・倉敷市立倉敷支援学校
- ・倉敷翠松高等学校

リハビリテーション科



リハビリテーション部統括部長

い せ まさき
伊勢 眞樹

昭和 54 年 川崎医科大学卒
医学博士
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
・専門医・指導医
厚生労働省義肢装具判定医



ひらおか たかし
平岡 崇

(非常勤)
平成 8 年 川崎医科大学卒
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・
指導医
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
日本医師会認定産業医
日本臨床神経生理学会認定医

診療内容と科の特色

診療内容は、リハビリテーション一般で、脳血管障害、整形疾患、内科疾患や外科的治療後、疾患のために機能低下や能力障害を認める患者様を対象に、能力の評価、リハビリテーションの処方、本人・家族への生活指導などを行い、機能の回復・能力の再獲得を目指しています。

嚥下障害に対しては、嚥下状態のチェックや嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)にて評価し、評価に応じた安全な経口摂取を目標に摂食嚥下治療を行っていきます。

また、月曜日午前中に義肢装具診察を行い、的確な義肢装具の処方を行っています。

主な検査、診断機器とその説明

嚥下造影検査(VF 検査)

嚥下内視鏡検査(VE 検査)

回復期リハビリ病棟 専従



リハビリテーション部部長

すずき やすお
鈴木 康夫

昭和 48 年 新潟大学卒
医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医

診療内容と科の特色

私は、これまで急性期病院（新潟大学附属病院・川崎医科大学附属病院など）で脳神経外科医として、脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷などのいろいろな疾患を診てまいりました。

平成 22 年 4 月からは、倉敷記念病院に勤務し、回復期リハビリ病棟の専従（専門）医師として、主に脳卒中の急性期後の患者さんのリハビリを担当しています。急性期病院での経験を生かし、チーム医療の一員として、個々の患者さんが少しでも元の生活に戻れるようにリハビリ診療をしています。

当院の回復期リハビリ病棟は 50 床あり、私のほかに専任として整形外科専門医、リハビリ専門医・指導医などで病棟を担当しています。

内訳は、脳疾患が 49%、骨疾患が 51%です。施設基準はもともと優れている入院料 1 と認可され、入院期間は平均 64 日、リハビリの効率を示す実績指数は目標の 40 を上回る 68 で高く評価され、在宅復帰率は 88%と質の高いリハビリを行っています。

患者さんの退院後の生活を視野に入れ、チーム医療をさらに深化しようと思っています。

皮膚科



皮膚科部長

さわだ ふみひさ
澤田 文久

平成6年 川崎医科大学卒
日本皮膚科学会 皮膚科専門医

診療内容と科の特色

当院において皮膚科は週2回の非常勤として診療してまいりましたが平成30年4月より常勤となりました。これまで以上に患者さんと先生方のお役に立つべく努めてまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚は人体における最大級の面積をもつ臓器であり、内臓器を守っております。

皮膚の健康は内臓に健康につながると考え、皮膚疾患全般を軽微な障害であっても真剣に対処いたします。診断および治療抵抗性皮膚疾患に対しましては、日々指導をいただいている川崎医科大学皮膚科学教室をはじめ、基幹病院の先生方と連携を密としてまいります。

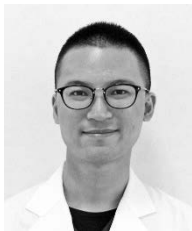
皮膚疾患は慢性化するものが多いのは事実ではありますが治療の基本である外用法や生活習慣を含めた誘因の探索の重要性などをわかりやすく説明することが症状の改善に不可欠との信念で診療にあたっております。

泌尿器科



もんでん こういち
門田 晃一

(非常勤)
昭和 63 年 愛媛大学卒
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科指導医
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科専門医



うがわ せいや
鵜川 聖也

(非常勤)
令和 2 年 岡山大学卒

診療内容と科の特色

当科は前立腺や腎、膀胱がんをはじめ、各種原因による排尿障害、ED 等幅広く、泌尿器科疾患全般の診療を行っています。

2004 年より倉敷市では前立腺癌検診が始まり、多くの方が PSA (前立腺癌の腫瘍マーカー) の検査(血液)を受けられました。これにより病気の早期発見が可能となりました。泌尿器科医としては非常に喜ばしいことと思っております。

高齢化社会がすすんでおりますが、高齢者にとって排尿状態の改善は非常に重要であり、患者様の QOL の向上を目指し診療を行っています。

主な検査、診断機器とその説明

腹部超音波検査

腎臓、膀胱、前立腺の形態や大きさを診断します。

尿流量測定

測定器に向かって排尿をしていただき、尿の勢い、排尿量を計測します。

膀胱鏡

尿道から膀胱内にカメラを挿入し、膀胱の内部を観察します。膀胱癌の診断に役立ちます。

経直腸的前立腺針生検

前述の通り 2004 年から前立腺癌検診が始まり、当科にも多くの二次検査が必要な方が受診されるようになりました。それに伴い、2004 年より、当院でも前立腺針生検を 1 泊 2 日で行っております。

癌の早期診断には非常に重要な検査です。

眼 科



くす まきよ
楠 理代

(非常勤)
平成7年 川崎医科大学卒
日本眼科学会認定眼科専門医

診療内容と科の特色

目の疾患全般を対象とします。当院の眼科は、川崎医科大学眼科学教室の関連先の一つとして機能しており、難易度の高い疾患は大学病院と連携しつつ、間口を広く、眼科の病気すべてを診療いたします。

当科の目標は、積極的な医療により、特にご高齢の方の QOL (クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)を少しでも上昇させることです。

主な検査、診断機器とその説明

細隙灯顕微鏡、倒像眼底鏡、直像眼底鏡、眼底カメラ、静的視野計、動的視野計、非接触型自動眼圧計、オートレフラクトメーター、ケラトメーター、角膜内皮測定装置、眼底三次元画像解析 (OCT) などがあります。

川崎医科大学

(非常勤)

プライマリーケア



まえみよりき まどか
前明力 窓佳

昭和 59 年 東京医科歯科大学卒

訪問診療部

訪問診療部部長

さくらい めぐむ
櫻井 恵

こいで ひさし
小出 尚志

はやし さとみ
林 里美

さわき せいか
澤木 聖佳



にしな あきら
仁科 晃

(非常勤)

昭和 62 年 愛知医科大学卒

診療内容と科の特色

当院は、機能強化型在宅療養支援病院です。ご自宅に居ながら医療を受けることが出来る仕組みで、医師が定期的に訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談、指導等をいたします。あわせて訪問看護や訪問リハビリの利用もできます。

総合内科として全身を診ながら、消化器、循環器、糖尿病など専門治療を行います。

訪問診療の利点

- 1.定期的に診療を受けながら、住み慣れた自宅で過ごせます。
- 2.辛い移動や病院での待ち時間がありません。
- 3.福祉サービス(訪問介護等)の対応も可能です。

対象となる方

退院後も自宅での医療ケアが必要な方や自宅での療養を希望される方で、寝たきり状態の方、家族等の助けがないと通院ができない方です。

2. 講演・活動・学会発表

開催日	講演・勉強会名	会 場	演 題	演 者
2021 年 4/9	Takeda Parkinson's Disease WEB seminar	オンライン 倉敷国際ホテル	「パーキンソン病 薬物治療の 変遷～ラサギリンの使用経験も 含めて～」	脳神経内科 安田 雄
4/21	北児島医師会オンライン学術講 演会	オンライン コートホテル	『パーキンソン病治療の過去・ 現在・未来』	脳神経内科 安田 雄
5/8	日本バランスポスチャリスト財団 活動報告会	ANA クラウンプラザホ テル	LOFE 使用による座位・立位姿 勢と歩行の治療効果と効果の 運動生理学的考察	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
6/10	第 58 回日本リハビリテーション 医学会学術集会	国立京都国際会館	急性・回復・生活再建期のリハ ビリテーション医療の統括的運 営の実際と成果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
6/11	第 58 回日本リハビリテーション 医学会学術集会	国立京都国際会館	HAL 腰タイプ自立支援用によ る起立動作治療の地域への展 開	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
7/28	パーキンソン病治療セミナー	オンライン 倉敷国際ホテル	パーキンソン病治療薬の変遷 ーオピカボンに期待することー	脳神経内科 安田 雄
8/21	第 62 回全日本病院学会 in 岡 山	オンライン	起立動作治療への HAL 腰タ イプ自立支援用の効果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
8/21	第 62 回全日本病院学会 in 岡 山	オンライン	統括的運営による地域のリハ ビリテーション医療の継続の実 際と成果	リハビリテーション部 伊勢 眞樹
8/22	第 62 回全日本病院学会 in 岡 山	オンライン	高齢者の摂食嚥下サポートと 誤嚥性肺炎の予防に関する当 院での取り組み	耳鼻咽喉科 森田 倫正
8/23	岡山県南西部パーキンソン病 講演会	オンライン 倉敷アイビースクエア	オピカボン錠の適性使用につい て～ウェアリングオフ治療アルゴ リズムから COMT 阻害薬の位置づけ を考える～	脳神経内科 安田 雄
9/9	Parkinson's Disease Web Seminar	Web セミナー 倉敷ステーションホテ ル	『パーキンソン病薬物治療の変遷 ーサフィナミドに期待することー』	脳神経内科 安田 雄
9/29	脳神経内科専門医と共に考え る～診察室での神経疾患の診 方～	Web セミナー 倉敷アイビースクエア	『パーキンソン病の診断と治療』	脳神経内科 安田 雄
11/14	第 5 回日本リハビリテーション 医学会 秋季学術集会	名古屋国際会議場	アーチサポートを用いた運動 療法	リハビリテーション部 伊勢 眞樹

2022 年 3/23	ハッピーフェイスセミナー in 津山	オンライン 倉敷アイビースクエア	『パーキンソン病の過去、現在、未来』	脳神経内科 安田 雄
----------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------

開催日	講演・勉強会名	会 場	座長・Opening Remarks Closing Remarks、他
2021 年 4/7	パーキンソン病 WEB カンファレンス ～排尿障害を中心に～	オンライン	【座長】 安田 雄
6/11	第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会	国立京都国際会館	【座長】 伊勢 眞樹
8/19	コロナ禍における脳卒中診療と医療連携	オンライン	【パネリスト】 鈴木 康夫
8/22	第 62 回全日本病院学会 in 岡山	オンライン	【座長】 小出 尚志
9/1	慢性心不全 Up to Date Seminar 2021 年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版 急性・慢性心不全診療から考えるこれからの心不全診療	オンライン	【座長】 小出 尚志
10/1	第 24 回くらしき脳卒中地域連携の会 学術集会	オンライン	【座長・世話人】 鈴木 康夫
11/11	倉敷パーキンソン病研究会 ～基礎と臨床からパーキンソン病を読み解く～	倉敷アイビースクエア オパール	【Closing Remarks】 安田 雄
11/17	エクフィナ発売 2 周年記念講演会 in 倉敷	オンライン	【Opening Remarks】 安田 雄
11/17	エクフィナ発売 2 周年記念講演会 in 倉敷 『パーキンソン病治療における運動療法の役割とは？』	オンライン	【座長】 安田 雄
12/9	第 14 回 倉敷総合診療カンファレンス	オンライン	【座長】 林 里美

3. 診療部勉強会

年月	勉強会	診療科	医師名
2021 年 4 月	HAL 腰タイプ自立支援用の地域拡大	リハビリテーション部	伊勢 眞樹
5 月	アルコール関連問題（内科→精神科へ）	内科	大野 勝志
6 月	よく知っておいてほしい良性発作性頭位めまい症 (BPPV) -疫学、病理、診断、治療、予後-	耳鼻科	森田 倫正
7 月	2021 年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版 急性・慢性心不全診療	循環器内科	吉田 潤史

7 月	COVID-19 に伴う皮疹	皮膚科	澤田 文久
8 月	低カリウム	内科	西本 弘
9 月	高尿酸血症の治療	内科	岡崎 守宏
10 月	最近の結核について	呼吸器内科	澤木 聖佳
12 月	RS3PE 症候群	内科	櫻井 恵
2022 年 1 月	訪問診療を卒業した人たち	内科	林 里美
2 月	呼吸器感染症における抗菌薬の適正使用	呼吸器内科	矢野 達俊
3 月	パーキンソン病のふるえ	脳神経内科	安田 雄

4. 広報誌 SAY 和 ドクタートーク掲載

年月	タイトル	診療科	医師名
4 月 春号	決して侮れない生活習慣病:脂肪性肝疾患	消化器内科	三宅 正展
6 月 夏号	岡崎院長就任・澤木 Dr. 新任医師紹介	内科 呼吸器内科	岡崎 守宏 澤木 聖佳
10 月 秋号	健診のすすめ	外科	吉田 泰夫
12 月 冬号	感染対策委員会	呼吸器内科	矢野 達俊

看護部の理念

看護理念

人の尊厳と権利を尊重し 地域住民の健康と QOL の向上を支援します

行動指針

1. 一人ひとりのライフスタイルを大切にします。
2. その人の最も適した場所で生活が送れるよう支援します。
3. 患者様の安全・安心・安楽を最優先し、質の高い看護ケアを提供します。
4. 多職種協働により密度の高い看護ケアを提供します。
5. 看護連携により途切れのない看護を提供します。

令和4年度部署目標

看護管理

生き生きと働き続けられる職場環境を作る。

外来

安心できる医療・看護を提供します。

一般病棟

感染、事故防止に努め 安全な入院生活が送れるように取り組む。

療養病棟・地域包括ケア病床

患者様の尊厳及び人権を尊重した看護を提供します。

回復期リハビリテーション病棟

センサーマットのONを目で見て作動確認し転倒転落を防ぐ。

特殊疾患病棟

患者さんが安心して療養できる環境を提供します。

令和3年度の取り組み

1. 当院の感染対策に沿って人数制限や録画を利用し、全体の勉強会を開催することができた。外部講師を迎えての勉強会は感染対策として中止した。全体の勉強会に加えて、各部署毎にテーマを決めて計画的に勉強会を開催することができた。
ふれあい看護体験・ボランティアの受け入れ、介護士による行事等は中止となった。
看護実習の受け入れについては継続することができた。
2. 看護職員クリニカルラダーの運用
クリニカルラダーレベルⅡ、Ⅲ、Ⅳの研修を新たに企画し開催した。
3. 新卒看護師2名を迎えることができた。新卒の離職率は0%であったが、既卒の離職率は2020年度・2021年度と続けて上昇している。現場の声を聞きながら、業務の効率化、外来を含め病棟

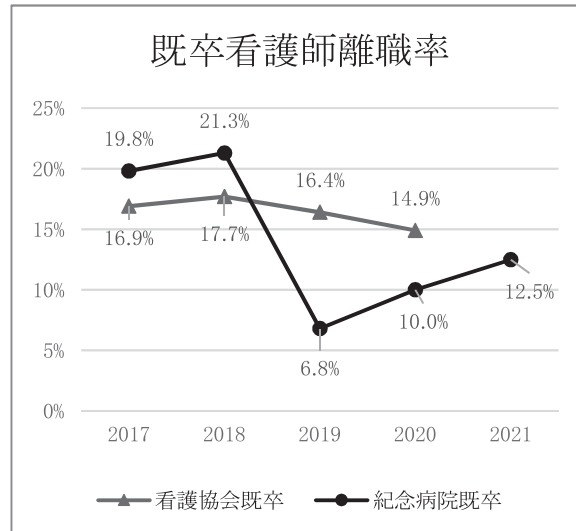
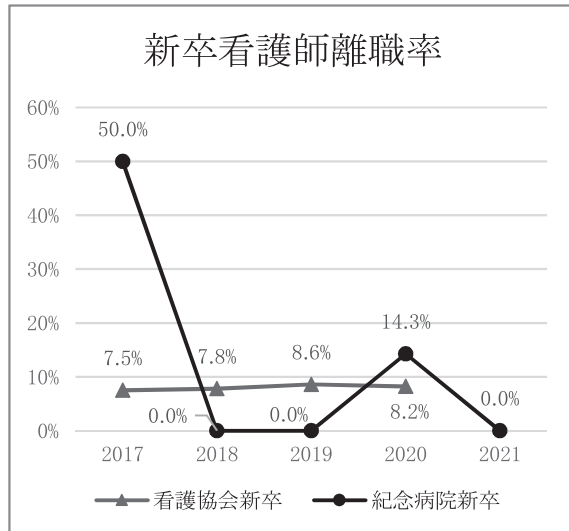
を跨いでの応援ができるよう体制の構築, 満足感が得られるようスにキルアップの支援を進め、職場環境の改善や離職率の低下に繋げていきたい。

新卒看護師離職率

年度	2017	2018	2019	2020	2021
看護協会新卒	7.5%	7.8%	8.6%	8.2%	—
記念病院新卒	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
記念病院新卒 採用人数	4	6	10	8	2

既卒看護師離職率

年度	2017	2018	2019	2020	2021
看護協会既卒	16.9%	17.7%	16.4%	14.9%	—
記念病院既卒	19.8%	21.3%	6.8%	10.0%	12.5%



院内における看護研究発表会、学会発表

[院内看護研究発表会]

令和4年1月26日(水)・2月2日(水) 12:50～13:30 福寿荘 6F カンファレンスルーム(オンライン)

部署	演題	発表者
2F	退院支援に対する意識調査と改善への取り組み ～退院支援スクリーニングを活用して～	大澤 友香
3F	癌終末期患者へのチームケア ～STAS-J 導入による確実な情報共有に向けて～	三宅 憂子
4F	自然排便に近づけるための看護アプローチの実践	茅野 由祐
5F	拘縮による手掌の浸軟及び不快臭の改善に向けた取り組み ～生理用ナプキンを用いて～	湯浅 麻衣
外来	評価表を用いた装具取り扱いの技術向上 ～安全な医療を提供するために～	樋口 瞳

実習受け入れ

倉敷中央高校看護科 1 年生	見学実習	2022/7/13	15 名
倉敷中央高校看護科 2 年生	基礎看護	7/29～8/6	15 名
倉敷中央高校看護科 3 年生	基礎・老年・成人 看護	6/21～7/9	14 名
		9/27～10/15	15 名
岡山・建部医療福祉専門学校 2 年生	基礎看護	8/23～9/9	12 名

2021 年度 病棟勉強会一覧表

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来		コロナワクチン接種 方法について	松葉杖の使い方 について	病棟説明、施設基 準など外来として 知っておくこと	KYT	救命救急処置技術 AED と胸部圧迫方 のデモスト	ポータブル内視鏡 について	シグナルについて	認知症について	エンゼルケアに ついて	手術体位とフットポ ンプについて	泌尿器科について
2 病棟			退院支援について		看護記録について	救命救急処置技術 AED と胸部圧迫方 のデモスト		KYT	KYT		看護必要度 について	
3 病棟	入退院支援に ついて	摂食嚥下について	心電図の読み方と 異常の早期発見	KYT	体位変換	救命救急処置技術 AED と胸部圧迫方 のデモスト 記録の書き方	身体抑制について	褥瘡予防・ポジショ ニングについて	下部排泄ケアに ついて	認知症ケア加算に ついて	看護必要度 について	急変時対応に ついて
4 病棟			KYT	新型コロナウイルス について	脱水症とは	救命救急処置技術 AED と胸部圧迫方 のデモスト 回復期リハビリ病棟 スタッフの役割	認知症患者と寄り 添うコツ	口腔ケアについて	看護必要度につい て		高齢者と薬につい て	
5 病棟	褥瘡について	急変時デモスト		ポジショニング	接遇について	救命救急処置技術 AED と胸部圧迫方 のデモスト	褥瘡と皮膚トラブル	心電図				

2021年度 看護部教育プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トビックス研修 第4火曜日 12:50～13:30				耳鼻科 鼻出血・眩暈 術後管理	下部排せ多職種連携	褥瘡の予防と管理	火災・防火訓練	患者さんの状態が わかる 看護記録	認知症患者の看護	研究発表会	研究発表会	看護の振り返り (卒後2年目)
研修日				7/28	8/25	9/22	10/27	11/24	12/22	1/26	2/3	3/24
新人研修	研修プログラム I・II	トランスファー		研修プログラム III		研修プログラム IV						振り返り 心に残った看護場面
研修日				7/29		9/29						3/8
新人研修・ トビックス		1か月フォローアップ 研修	配属面談			フォローアップ 研修				フォローアップ 研修		
研修日		5/16	6/25			9/29				1/13		
看護補助者研修 第3木曜日 13:00～13:30				医療制度の概要	日常生活援助 移乗(4F)	日常生活援助 食事(3F)	感染予防の 基礎知識	日常生活援助 排泄(5F)	日常生活援助 清潔(2F)		業務上の責任・ 個人情報	医療安全の基礎知識
場所					各病棟	各病棟	カンファレンス室	各病棟	各病棟		カンファレンス室	カンファレンス室
研修日				7/15	8月中	9月中	10/21	11月中	12月中		2/18	3/18
その他の研修							リーダーシップ リーダーIV	心電図について リーダーII	意思決定支援 リーダーIII	2年目フォローアップ 研修		実地指導者研修
研修日							10/21・28	11/15	12/1	1/17		3/17
管理者研修 第2火曜日 16:30～17:30				倫理検討会	倫理検討会	転倒・転落を考える Web 配信/エーザイ	倫理検討会	倫理検討会	クリニカルリーダーを活 用した人材育成に ついて	認知症ケア	認知症ケア	認知症ケア
研修日				7/13	8/10	9/14	10/12	11/9	12/14	1/11	2/8	3/8

統括部長 伊勢 眞樹

リハビリテーション部の基本理念

障害を持つ人のジョブを最優先する～治す・支える・看取る医療の実践～

活動理念

スタッフの理論・技術は障害を持つ人の家庭生活の向上・継続に貢献することで価値を持つ

活動の原則

障害を持つ人の回復(回復・機能再建)能力を生かした日常生活の自立への援助は、障害を理解し熱意と専門的スキルを持ち、熟練に必要な指導を受けたもので達成されなければならない

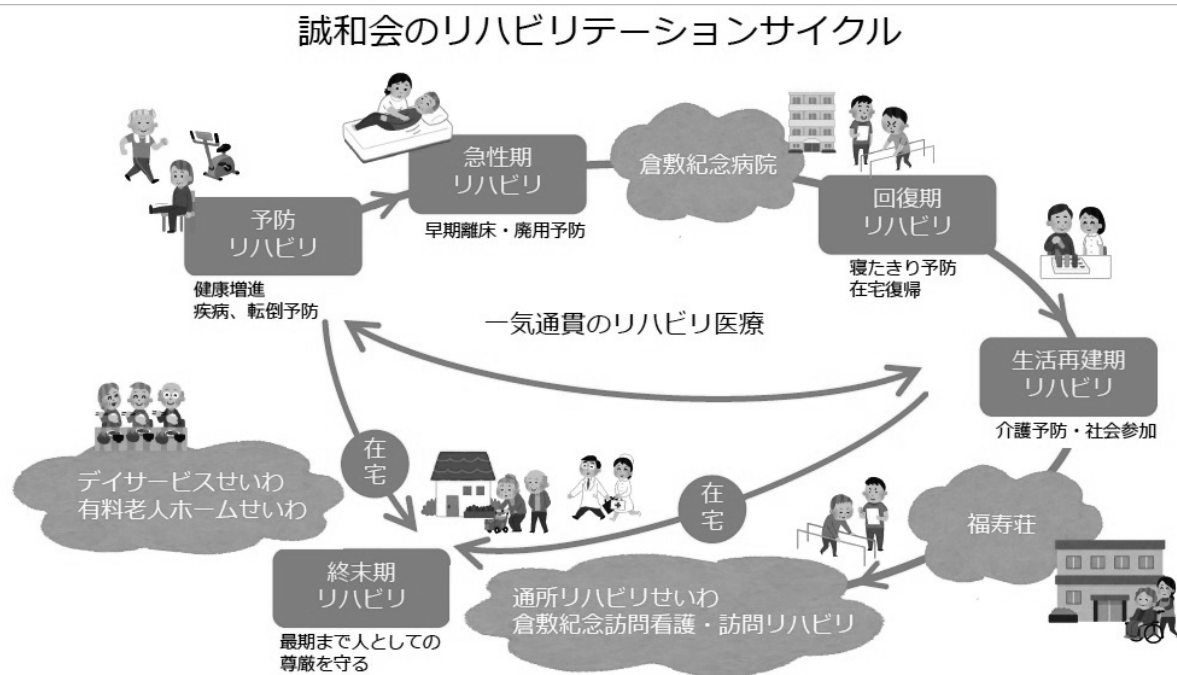
将来像

高品質のリハ医療の投与が可能な世界水準のリハ部を目指す

日本のリハ医療のロールモデルとなる

県内西部地域医療圏におけるリハ医療の中核センター及びマグネットセンターとなる

地域の患者・住民、保険・医療・福祉関係者に賞賛されるリハ部となる



職種・人員(R4.4)

職種	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	事務員	音楽療法士	歯科衛生士	合計
病院	19 名	16 名	9 名	3 名	－	2 名	49 名
通所リハビリ	4 名	4 名	－	－	－	－	8 名
老人保健施設	6 名	2 名	1 名	－	1 名	－	10 名
訪問リハビリ	2 名	2 名	－	－	－	－	4 名
合計	31 名	23 名	10 名	3 名	1 名	2 名	71 名

保有資格

セラピストマネジャー研修修了、がんリハ研修修了、3 学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、介護支援専門員、認定理学療法士(運動器、脳卒中)、福祉住環境コーディネーター、生活行為向上マネジメント実践者研修修了、生活行為向上リハビリテーション研修会修了、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、AMPS 講習会受講修了、ボバース講習会受講修了、アロマセラピーアドバイザー

1. 専門チームの活動

「量」から「質」へ 特徴あるリハビリテーション部に向けた組織体制

チーム名	取り組み
腰 HAL	・HAL®腰タイプを4台導入中。病院・通所・老健にて使用 ・岡山ロボケアセンターとの情報共有 ・法人内施設共有の運用方法へ統一(評価用紙の見直し) ・使用実績を増やしプロトコール作成、データ収集
LOFE	・使用前後による身体機能、能力変化を評価し、データを収集 ・データを用いて学会発表、治療の確立をしていく ・腰 HAL チームとの連携し治療効果の向上をはかる ・学会への参加、発表を行う
電気磁気刺激療法	・電気刺激療法に準ずる機器や臨床において有効と思われる評価指標や物品に対する検討の実施 ・磁気刺激装置を利用した患者への効果の検討 ・摂食嚥下障害患者に対して末梢磁気刺激装置の新型コイル(嚥下コイル)の導入 ・上記に向けてのデータ収集と評価法の選択
心臓リハビリテーション	・毎週月曜日、心リハ症例のカンファレンス実施 ・毎月開催される倉敷心不全連携の会(倉敷中央病院)への参加 ・倉敷心リハ連携の会(倉敷中央病院)への参加 ・「心リハスタッフ教育マニュアル」の運用継続 ・倉敷中央病院からの外来心リハ連携、心リハワーキンググループの継続 ・入院心リハ症例データベース、CPX データベースの構築継続
がんリハビリテーション	・必要に応じて適宜、がんリハ患者のキャンサーボードの開催 ・早期退院に向けた退院前訪問や指導の実施 ・外出や外泊に向けた支援(コロナ禍のため実施できず) ・がんリハビリテーションに関する研修会や学会に参加 ・入院がんリハ症例データベースの構築

リハビリテーション栄養	・リハビリテーション栄養に関する研修会・学会への参加継続 ・日本臨床栄養代謝学会学術集会へ参加 ・NST 活動への参加 ・活動係数や METs表を作成し多職種との連携を図る
社会復帰支援	・外部の移動支援定期勉強会への参加 ・支援対象者のデータを用いて学会発表 ・知識の習得・向上目的にチーム内勉強会開催 ・自動車教習所との連携
認知症	・認知症に関する勉強会の開催:オープン参加型 (BPSD、AD、血管性認知症、レビー小体型認知症、その他認知症について、認知症の評価法、治療方法やアプローチについて、薬と食支援について、生活環境) ・今後の活動に関する検討



2. 介護部門活動

通所リハビリ	リハビリテーション マネジメント	・リハビリテーションマネジメント加算 B イの算定 ・リハビリテーション会議、医師からの説明の実施 ・移行支援加算、中重度者ケア体制加算 ・リハビリテーション提供体制加算算定 ・生活行為向上リハビリテーション実施加算算定
	地域高齢者自立支援	・短期集中健幸アップ教室(倉敷市介護予防事業)への参加
	訪問リハビリ	・リハビリテーション提供体制加算算定 ・リハビリマネジメント加算 A (イ) 算定 ・短期集中リハビリテーション加算算定
老人保健施設 福寿荘		・超強化型在宅復帰・在宅療養支援施設として、全入所者に対して、3 回／週以上のリハビリを実施。 ・短期集中リハビリテーション加算算定 ・認知症短期集中リハビリテーション加算算定 ・ターミナルケア加算、排泄支援加算、経口移行加算・経口維持加算算定

3. 外部顧問

月に二回、吉備国際大学 保健福祉研究所より平上二九三顧問を招いて、回復期リハビリ病棟の患者様を中心に合同診療を行っています。

4つの視点(臨床像・障害像・心理面・環境面)から患者へのリハビリ治療の助言を頂き、療法士はリハビリ治療の幅を広げることができ治療の質向上に取り組んでいます。

4. 音楽療法

法人内の病院、通所リハビリ、老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、小規模多機能施設で主に集団での音楽療法を行っていましたが、現在コロナ禍のため、老人保健施設でのみ実施しています。実施の際は小集団で換気などの感染対策を十分にとって、利用者様の生活の質(Quality of Life)の向上や心身の機能向上、認知症予防などを目的とし、皆様に心から元気になっていただけるよう、他職種協同で取り組んでいます。



5. 口腔ケア

当法人には2名の歯科衛生士が在籍し、口腔ケアで心と身体の元気サポートを行っています。病院、通所リハビリ、老人保健施設で歯科衛生士が専門的な口腔ケアを行っています。また、職員指導にも力を入れ、他職種の口腔ケア知識技術の向上に努めています。質の高い口腔ケアを提供することで誤嚥性肺炎の予防、飲み込む力の回復、認知症の予防の一助となっています。

6. 院内・外における研究発表

【院外発表】

筆頭演者	学会名・発表先	発表テーマ	開催
伊勢眞樹	日本バランスポスチャリスト財団 LPFE 活動報告会	LOFE 使用による座位・立位姿勢と歩行の治療効果と効果の運動生理学的考察	5 月
尾崎史昌	日本バランスポスチャリスト財団 LOFE 活動報告会	LOFE チーム活動報告	5 月
伊勢眞樹	第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会	・急性・回復・生活再建期のリハビリテーション治療の統括的運営の実際と効果 ・HAL 腰タイプ自立支援用による起立動作治療の地域への展開	6 月
水田泰博	心不全チーム医療を考える会	重複障害時代における心臓リハビリテーションと当院での取り組み	7 月
唐川佳明	第 50 回中国四国リハビリテーション医学研究会	当院リハビリテーション部の新型コロナウイルス感染予防対策	7 月

松井香	第 50 回中国四国リハビリテーション医学研究会	転倒による仙骨骨折の症例に対し、HAL®腰タイプ自立支援用を使用し歩行能力が向上し介助量軽減につながった一例	7 月
伊勢眞樹	第 62 回全日本病院学会	・統括的運営による地域リハビリテーション医療の継続の実際と成果 ・起立動作治療への HAL 腰タイプ自立支援用の効果	8 月
川田稔	日本循環器理学療法学会	重度僧帽弁逆流症を持つ超高齢患者に反復末梢神経磁器刺激を施行し身体機能の改善が得られた一例	8 月
糸山克哉	第 26, 27 回合同各術大会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	当介護老人保健施設における干渉電流型低周波治療器の治療経験	8 月
横関彩佳	第 26, 27 回合同学術大会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	高齢者の誤嚥性肺炎発症に関わる嚥下内視鏡検査所見の検討	9 月
尾崎史昌	第 34 回中国ブロック理学療法士学会	Mini-BES Test を用い明確化した問題点へ治療を行ったことで歩行が自立した脳卒中症例	9 月
伊勢眞樹	第 5 回日本リハビリテーション学会秋季学術集会	アーチサポートを用いた運動療法の効果	11 月
尾崎史昌	リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021	歩行速度改善に LOFE アーチサポートが補助的に作用した左大腿骨転子部骨折症例の経験	11 月
石井未来	第 9 回慢性期リハビリテーション学会	認知症専門病棟入所者における BPSD に対するアロマセラピーの有効性 第 2 報音楽療法の効果について	2 月
西口萌	第 32 回岡山県作業療法学会	装具装着補助具の作製がトイレ動作再獲得につながった症例	3 月
佐田健太	第 32 回岡山県作業療法学会	カンファレンスを利用し、目標を他職種と共有することで満足感を得ることができた症例-トイレでの移動を含めた排泄動作に着目して-	3 月
赤澤真世	第 6 回社員総会・第 22 回学術総会	生活場面に着目したアプローチの実施により左半側空間無視が改善した脳損傷の一例	3 月

【リハビリ部内勉強会】

1)PT 室勉強会

(1)回リハ病棟チーム

開催月	発表者	内容
4 月	尾崎史昌	関節可動域運動について
5 月	守屋寛子	リハビリテーション栄養ケアプロセス
7 月	高橋雅和	臨床推論について
8 月	高橋雅和	脳のシステム
9 月	松岡涼平	高齢者心不全患者の運動負荷
11 月		休会
12 月	岡本友理香	運動機能について～骨格筋～
1 月	藤岡莉子	終末期リハ～血液データと全身状態からリスク管理を考える～
3 月		休会

(2)一般・ケア・療養病棟チーム

開催月	発表者	内容
4 月	小林万里子	地域包括ケア病棟について
5 月	小林一樹	糖尿病について～運動療法の実際と患者教育～
7 月	水田泰博	体液電解質異常と輸液
8 月		休会
9 月	小林亜莉沙	肝疾患について
11 月	川田稔	誤嚥性肺炎について～医療・介護関連肺炎を中心に～
12 月	森本隆也	臨床で出会うかもしれない wide QRS の話
1 月	藤川千賀子	介護保険について～介護保険サービスがうまく利用できず退院支援に難渋した症例紹介～
3 月	水田泰博	当院入院心不全症例データ構築と標準化～リハビリテーション治療の質向上に向けて～

(3)介護部門

開催月	発表者	内容
4 月	芳田勝正	令和 3 年度介護報酬改定～通所リハビリ要介護について～
5 月	石田充	訪問リハビリの介護報酬改定について
7 月	石田充 藤原春華	褥瘡とポジショニングについて 介護報酬改定(老健・訪問)について
8 月	藤本絵里奈	生活行為向上リハビリテーション加算について
9 月	石田充	福祉用具・住環境について
11 月	松井香 森本美沙 山本一貴	ターミナルについて

12 月	横田暁雄	健康長寿のための口腔ケア
3 月	黒住貴史	住環境と福祉用具

2)OT 室勉強会

開催月	担当	内容
4 月	奥井真由美 平田貴也	オリエンテーション
5 月	谷有人 石田真也	「生活の現場」訪問作業療法における作業の抽出 独居で経営者 70 歳代男性の“real occupation”
7 月	西口萌 田村昌樹 石原佳子	家族指導と退院後のサービス調整について難渋した症例
8 月	金井敦史 大塚湧麻 森本沙織	退院後 2 週間で再入院に至った症例の作業の抽出
9 月	佐田健太 平田貴也	目標の達成に不安を感じている症例への作業療法について
11 月	曾我部莉奈 兼田亜由子 唐川佳明	失語・リハ拒否のある方のジョブの見出し方の検討
12 月	清水香里 山本雄也 難波淳平	リハ拒否があったが POC リハ実施によって離床を促すことが可能となった症例
1 月		休会
3 月	平田貴也	今年度勉強会の総括および次年度に向けて

3)ST 室勉強会

開催月	発表者	内容
4 月	横関彩佳	当院の高齢患者における嚥下障害の程度と実態報告
5 月	糸山克哉	フレイルに対するトレーニングについて
7 月	藤原潤	薬剤性嚥下障害について
8 月	赤澤真世	談話障害について
9 月	本田佳李	左脳梁、帯状回損傷後にプロソディ障害を認めた一例
11 月	松岡和幸	失読・失書について
12 月	佐藤良樹	伝導失語について
1 月	高取佑里	胃癌術後と嚥下障害の関連性について
3 月	糸山克哉	頸部屈曲運動について

4)症例検討会

6 月	【PT】 尾崎史昌 横田暁雄	80 歳代女性 脊椎圧迫骨折を呈した症例について ・方転倒リスクが高かった脊椎圧迫骨折症例に対して再骨折予防を目的とした治療を行った経験 ・退院を繰り返す症例の在宅生活継続のために療法士間で情報共有を図った事例
10 月	【OT】 谷有人 難波淳平 田村昌樹	法人内リハ及び他職種連携について
2 月	【ST】 藤原潤 横関彩佳	重度嚥下障害を呈していたが、入院中に経管栄養を離脱し、退院後も長期的な ST フォローが奏功した例

7. 実習受け入れ

	実習・研修依頼先機関名	受入人数			実習・研修目的
		PT	OT	ST	
病院	川崎医療福祉大学	3	4	3	総合臨床実習、臨床評価実習
	川崎リハビリテーション学院	1	0	0	総合臨床実習
	吉備国際大学	2	2	0	総合臨床実習、臨床評価実習
	岡山医療技術専門学校	2	1	0	総合臨床実習
	玉野総合医療専門学校	1	1	0	臨床評価実習

・コロナ感染対策のため受け入れ中止：病院 5 名、福寿荘 3 名、通所リハビリ 3 名



倉敷記念病院 リハビリテーションセンター

急性期から回復期・維持期まで、病棟・病期に応じたリハビリの提供に努めています。機能回復や日常生活動作の改善に向けて、それぞれの患者さまに合わせた診療を実施しています。脳卒中などの脳血管疾患、骨折や関節炎などの運動器疾患、肺炎などの呼吸器疾患、心不全を中心とした循環器疾患、がん疾患、パーキンソン病などの神経難病を対象とし、多職種でのチームアプローチを行っています。



介護老人保健施設 福寿荘リハビリ

～利用者の生活のために～

利用者みなさまのこれまでの生活を尊重し、その人らしく今後を過ごすために必要な身体機能の向上、日常生活動作の再獲得に向けたプログラムをご本人・他職種と共に考えていきます。

生活そのものがリハビリとなるように、各専門職が力を合わせて支援しています。



倉敷記念病院 通所リハビリ

ご利用者の「したい」を「できる」へ

ご利用者の在宅生活を支え、リハビリテーションマネジメントをもとに、生活行為の向上を目指したリハビリテーションを提供します。



倉敷記念 訪問看護ステーション(訪問リハビリ)

ご自宅に伺い、年齢・性別・持病・生活環境に合わせて、個別の運動や介助指導などを実施します。

血圧や脈の測定、聴診をおこない、その日の体調に合わせて、リハビリします。

「外出したい」「トイレまで歩いて行きたい」など、希望に沿ったリハビリをします。

介護老人保健施設 福寿荘

(令和4年6月現在) 施設長 小出 尚志

医師紹介



施設長 小出 尚志

施設紹介

介護老人保健施設 福寿荘は、在宅復帰を目指すリハビリテーション施設です

【施設運営の方針】

- 1.当施設では、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、必要な医療・看護・介護・リハビリテーションその他、日常生活上のケアを行い、居宅における生活への復帰を目指します。
- 2.従業者は利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って介護老人保健施設サービスの提供に努めます。
- 3.従業者は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市区町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

平成30年8月より超強化型老健として運営をしています。

平成30年8月より老健の区分の最上位である「超強化型老健」として運営をしています。老健本来の役割である「在宅復帰・在宅療養支援」を果たすため、医師・看護師・介護士・リハビリスタッフ・管理栄養士・薬剤師・支援相談員・ケアマネジャーがチームとなり、利用者様が元気になれるように健康管理、リハビリ、日常生活動作の指導を行っています。退所後も元気に生活を送ることができるように、ご家族への介護指導を行い、かかりつけ医と居宅のケアマネ、サービス事業所と協力し、住み慣れた地域・自宅で安心して生活を送ることが出来るよう、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

令和3年度総務部長 河田 真治

総務部は法人全体の維持運営を円滑に進める役割を担っております。具体的には庶務課、人事課、企画IT課の3つの課で構成されています。

庶務課では施設設備管理、防災管理、機器・備品管理、一般購買に関する業務。人事課では職員の人事・労務管理・給与・福利厚生および各種相談に関する業務。企画IT課では広報・各種情報収集・企画立案およびITシステムの構築・運用・保守などの業務を行っています。

令和3年度は「収支バランスの整った収益構造の見直しと強化」をテーマに掲げ、「計画的な人員数管理」や「経費節減」に注力しつつ、職員一人一人が安心かつ働きがいのある職場環境の実現を目指しました。

子育て支援【仕事と育児の両立】

1. 令和3年度産休育休取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 看護部	9	9
倉敷記念病院 医療技術部	1	1
福寿荘 看護・介護部	11	11
倉敷記念病院 通所リハビリテーション	2	2
せいわ介護サービスセンター	1	1
有料老人ホームせいわ	2	2
グループホーム コージー	1	1
小規模多機能 和(なごみ)	1	1
リハビリテーション部	5	5
計	33	33
取得率		100%

2. 令和3年度育児短時間勤務取得実績

部署	取得申請者(人)	取得実績(人)
倉敷記念病院 医療技術部	2	2
倉敷記念病院 医療事務部	1	1
福寿荘 看護・介護部	1	1
倉敷記念病院 通所リハビリテーション	2	2
リハビリテーション部	4	4
計	10	10
取得率		100%

職員表彰歴

日付	部署	氏名	表彰名称	主催
式典中止	倉敷記念病院看護部	上森 恵美子	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
式典中止	倉敷記念病院看護部	長崎 三希子	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
式典中止	倉敷記念病院総務部	難波 光生	病院優良職員表彰	岡山県病院協会
11 月 24 日	介護老人保健施設 福寿荘看護介護部	堀川 真弓	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
式典中止	有料老人ホームせいわ	上野 良子	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所
式典中止	有料老人ホームせいわ	白神 智亜紀	優良商工従業員表彰 10 年以上表彰	倉敷商工会議所

※令和 3 年度は岡山県病院協会、倉敷商工会議所ともに優良職員の選出はされましたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、病院協会については式典中止、商工会議所については代表者 1 名の出席となりました。

庶務課活動内容

活動月	実施部門	内容	目的
4 月	法人	各建物消防設備更新	【リスク管理】
5 月	病院、福寿	冷暖房切替(暖房→冷房)	【環境整備】
6 月	病院	厨房内床、換気扇、スポットクーラー清掃	【環境整備】
	全施設	便座の節電対策(温水・暖房機能停止)(～10/31)	【経費節減】
	病院、福寿、せいわ	特定建築物定期報告書作成	【設備整備】
	病院、せいわ	遮光シート取り付け	【経費節減】
7 月	法人	女子寮防犯対策(ネット設置)	【防犯対策】
9 月	全施設	消防設備点検	【リスク管理】
11 月	病院、福寿	冷暖房切替(冷房→暖房)	【環境整備】
12 月	福寿荘	エレベーターリニューアル工事	【設備整備】
	全施設	植木の選定	【環境整備】
	法人	病院北側職員駐車場整備	【環境整備】
1 月	病院	セントラルモニター新規購入	【業務改善】
	せいわ	ミスト浴新規購入及び浴室改修工事	【業務改善】
3 月	病院	ユニフォーム更新(看護部、コメディカル、リハビリ)	【環境整備】
	全施設	消防設備点検	【リスク管理】
通年	各施設	各施設年 2 回の消防訓練実施	【リスク管理】

企画・広報

1. ホームページ更新履歴

月	件数(件)
4 月	3
5 月	4
6 月	4
7 月	5
8 月	19
9 月	17
10 月	22
11 月	13
12 月	20
1 月	8
2 月	10
3 月	9
合計	134
平均	11.2 件／月

2. その他

- ・リハビリテーション部 特設ウェブサイト 開設
- ・院内掲示物 美化活動
- ・献血バス受入(職員対象)
- ・令和 2 年度誠和会年報 編纂
- ・個人情報保護推進委員会 事務局

システム関係

令和 3 年 5 月	RPA 導入検討
6 月	リハビリサーバ、I/F サーバ、ファイルサーバ更新
6 月	福寿荘 基幹 HUB 交換
8 月	病院 基幹 HUB 交換
11 月	停電作業に伴うサーバ停止・復旧作業
令和 4 年 1 月	病院 セントラルモニタ 診療系ネットワーク接続
2 月	カンファレンスルーム 専用パソコン・プロジェクタ設置
3 月	病院～グループホーム間 基幹 HUB 交換
3 月	福寿荘 情報系 ネットワーク体系変更
3 月	介護部門 介護支援システム(ほのぼの NEXT)
	リハビリ・運動機能向上マネジメントシステム追加、ケア記録アプリ「Care Palette」導入
3 月	健診部 読影システム更新
3 月	健診部 身長体重計更新接続

エコ活動実績

1. クールビズ&ウォームビズ

- ・クールビズ(期間:5/1～10/31)・・・冷房設定室温を 26℃に
- ・ウォームビズ(期間:11/1～3/31)・・・暖房設定室温を 20℃に

患者さん利用者さんの負担にならないように気をつけて実施しています。

2. その他の省エネ活動への取り組み

誠和会は、地球温暖化防止にもつながる省エネ活動に積極的に取り組んでいます。

- ・各病室・居室のベランダに遮光シートを設置(遮光での夏季空調負荷の低減)
- ・デマンドコントローラーの設置(エアコンの平均使用電力の上限値の低減)
- ・エアコンの吹出し口に、ハイブリッドファンを取付(空気の攪拌による温度差の緩和)
- ・クールビズ期間中、便座の暖房・温水機能を OFF、自動販売機の照明 OFF(待機電力の節電)
- ・エアコン使用期間は、エアコンフィルタを隔月清掃(冷暖房の効率アップによる節電)
- ・雨水タンクの設置(雨水再利用による節水)
- ・節水コマの取付
- ・照明器具の LED 化

メディア掲載

2021(令和3)年9月11日(土)◆山陽新聞／26面／倉敷・総社圏版

【100歳おめでとう】



共催事業

わが街健康プロジェクト。 ～心かよう地域医療～love our community～

主催 わが街健康プロジェクト。事務局

共催病院 AOI 倉敷病院 川崎医科大学附属病院 倉敷記念病院 倉敷市立市民病院 倉敷スイートホスピタル
倉敷成人病センター 倉敷第一病院 倉敷中央病院 倉敷平成病院 倉敷リハビリテーション病院
倉敷中央病院リバーサイド グリーン在宅クリニック 児島聖康病院 児島中央病院 重井医学研究所附属病院
しげい病院 玉島中央病院 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院 茶屋町在宅診療所 つばさクリニック
藤戸クリニック 松田病院 水島協同病院 水島第一病院 水島中央病院

後援 倉敷市 倉敷商工会議所

2021 年度 高梁川流域連携中枢都市圏事業

経理部長 山田 健二

真実性の原則に則り、発生主義に準拠した、正確な会計処理を行うことにより健全な資産による健全な経営に資し、会計上の利益を重視します。

会計は企業経営の成果をあらわしたものです。そのため、コーポレート・ファイナンスを強化することで、期間成績をマネジメントして経営課題に対応しております。

平成 31 年度より、事業計画に基づく部門予算管理を強化し、さらなる健全経営を実現しております。

年間主要業務

- 4 月 前期決算書作成
月次計算書作成
- 5 月 法人決算を社員総会・理事会に報告
監査報告
法人税、法人市民税、事業税申告
月次計算書作成
- 6 月 県へ決算報告
月次計算書作成
- 7 月 月次計算書作成
- 8 月 月次計算書作成
- 9 月 月次、半期計算書作成
未収入金台帳精査
- 10 月 月次計算書作成
上半期経営分析、期中決算予想
- 11 月 中間納税
月次計算書作成
- 12 月 月次計算書作成
- 1 月 期中決算予想
月次計算書作成
- 2 月 月次計算書作成
未収入金台帳精査
次期予算策定
- 3 月 期中決算予想
今期予想、次期予算を社員総会、理事会へ報告
年度末会計締切

リスクマネジメント委員会

委員長 吉田 潤史

1. 活動内容

リスクマネジメント委員会およびその関連組織であるリスクマネージャー部会では、ヒヤリハット・医療事故の報告書の提出や急変時対応のデモンストレーションの実施を各部署に呼びかけ、月 1 回開催の会議にて事例の改善案や対策などを検討している。また、医療に係わる安全管理指針の策定や勉強会の実施・参加により、医療安全の推進に努めている。

2. 報告書件数

令和 3 年度のヒヤリハット・医療事故報告書の提出件数は下記の通り。

(単位:件)

令和 3 年度	ヒヤリハット					医療事故				
	倉敷記念病院	福寿荘	在宅センター	コージー	和	倉敷記念病院	福寿荘	在宅センター	コージー	和
4 月	50	52	18	3	8	0	1	1	0	0
5 月	82	53	27	2	8	0	0	4	1	0
6 月	79	36	35	5	7	1	0	1	0	0
7 月	143	35	26	5	15	0	2	3	0	0
8 月	117	48	25	3	7	2	1	5	1	0
9 月	42	31	23	1	6	1	0	2	1	0
10 月	36	45	24	1	7	0	0	6	1	0
11 月	122	37	15	6	8	3	1	9	2	0
12 月	113	58	18	1	4	0	0	7	0	0
1 月	152	46	21	4	6	0	0	6	1	0
2 月	66	32	15	1	4	0	3	6	1	0
3 月	166	77	25	3	4	1	0	5	0	0
計	1,168	550	272	35	84	8	8	55	8	0

3. 勉強会

令和3年7月～8月

院内勉強会(スライド)

テーマ:安全に投薬するための心構え

令和4年1月～2月

院内勉強会(スライド)

テーマ:健診部でヒヤリとしたこととその対応について

感染対策委員会

委員長 矢野 達俊

【4月】

令和3年3月感染症報告
医師会からの感染報告・・特になし
コロナワクチン接種について
コロナ関連について(PCR検査について)
休日発熱外来について

【5月】

令和3年5月感染症報告
医師会からの感染報告・・感染性胃腸炎に注意
コロナ関連について(職員ワクチン接種について)

【6月】

令和3年5月感染症報告
医師会からの感染報告・・RSウイルスが増加している
高齢者にコロナワクチン接種について
その他コロナ関連について

【7月】

令和3年6月感染症報告
医師会からの感染報告・・RSウイルスが増加している
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
コロナ関連について
マダニに注意

【8月】

令和3年7月感染症報告
医師会からの感染報告・・腸管出血性大腸菌感染症注意報発令等
コロナ関連について
抗生剤使用について

【臨時】

インフルエンザワクチン接種について
コロナ人権保護アンケートについて
保護メガネ等物品について

【9月】

令和3年8月感染症報告

医師会からの感染報告・・・腸管出血性大腸菌感染症注意報発令中

倉敷中央病院との合同カンファレンス報告

コロナ関連について、インフルエンザワクチンについて

【10月】

令和3年9月感染症報告

医師会からの感染報告・・・手足口病流行

職員インフルエンザ予防接種について

コロナ関連について(面会について)

【11月】

令和3年10月感染症報告

医師会からの感染報告・・・特になし

倉敷中央病院との合同カンファレンス報告

コロナ関連について(職員接種後アンケート、発熱外来等)

【12月】

令和3年11月感染症報告

医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎、手足口病流行

コロナ関連について(年末年始の面会、ワクチン接種等)

インフルエンザワクチン接種について

【1月】

令和3年12月感染症報告

医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎増加

コロナ関連について(ワクチン等)

【2月】

令和4年1月感染症報告

医師会からの感染報告・・・特になし

倉敷中央病院との合同カンファレンス報告

コロナ関連について

【3月】

令和4年2月感染症報告

医師会からの感染報告・・・感染性胃腸炎増加

コロナ関連について

教育委員会

令和3年度委員長 瀬島 日登美

令和4年度委員長 大橋 賢太

1. 研修・勉強会実施記録

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策委員会の決定事項に従い、出張報告会・研究発表会は中止、法人勉強会は必須のみ開催。

勉強期間を2ヶ月設けて感染予防を行いながら各自で動画や資料などで学ぶ。

研修・勉強会	日時	テーマ	目 的	講師・担当者 ※内容
新人研修	4月	オリエンテーション →新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
勉強会	4月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	5月	感染対策勉強会	感染対策に関する正しい知識と、その対策を職員に周知する。特に食中毒の発生と対策について実例を交えて学ぶ。	感染対策委員会 ※動画・資料
	6月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	7月	リスクマネジメント勉強会	医療安全概論を学びヒヤリハットなど法人内のリスク管理を向上させる。	リスクマネジメント委員会 ※動画・資料
	8月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	9月	個人情報勉強会	個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに、医療機関や事業所に固有のリスクについても具体的に学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※資料・マニュアル
	10月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	11月	感染対策勉強会	新型コロナウイルス感染症のワクチンの副反応のアンケート	感染対策委員会 ※アンケート

	12月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	1月	リスクマネジメント勉強会	医療事故調査制度を学ぶとともに具体例を通して医療機関や事業所のリスクについても学ぶ。	リスクマネジメント委員会 ※資料
	2月	※新型コロナウイルス感染拡大予防で中止		
	3～4月	個人情報勉強会	個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに、医療機関や事業所に固有のリスクについても具体的に学ぶ。	個人情報保護推進委員会 ※動画・アンケート

2. 令和3年度実習・研修受入状況

施設名		実習・研修依頼先機関名	受入人数	実習・研修目的
倉敷記念 病院	看護部	岡山・建部医療福祉専門学校	11	看護学実習Ⅱ
		川崎医療短期大学職員(介護福祉士)	1	喀痰吸引等研修実地研修
		倉敷中央高校	14	成人看護実習
		倉敷中央高校	8	老健看護学実習
	薬剤科	就実大学	1	薬学部 長期実務実習
	医療連携推進部	ノートルダム清心女子大学	1	相談援助実習
		川崎医療福祉大学	1	医療ソーシャルワーカー実習
	リハビリ テーション部	岡山医療技術専門学校	1	総合臨床実習Ⅰ期
			1	総合臨床実習Ⅲ期
			1	理学療法学科Ⅲ期臨床実習
		吉備国際大学	1	総合臨床実習前期後半
			1	総合臨床実習前期後半
			1	臨床評価実習
			1	臨床評価実習
		玉野総合医療専門学校	1	総合臨床実習Ⅰ期
			1	臨床評価実習
		川崎リハビリテーション学院	1	理学療法臨床実習前期前半
			1	理学療法臨床実習前期前半
		川崎医療福祉大学	1	言語聴覚を中心とした臨床業務の習得
			1	作業療法臨床実習Ⅲ
			1	理学療法臨床実習Ⅲ

			1	言語聴覚を中心とした臨床業務の習得
			1	言語聴覚を中心とした臨床業務の習得
			1	作業療法臨床実習Ⅲ
			1	理学療法臨床実習Ⅲ
			1	作業療法臨床実習Ⅲ
			1	理学療法臨床実習Ⅲ
			1	作業療法臨床実習Ⅲ
老健施設 福寿荘	介護	川崎医療短期大学	1	介護福祉実習
		岡山医療福祉専門学校	2	介護福祉実習
		倉敷中央高校	2	介護福祉実習
		岡山医療福祉専門学校	2	介護福祉実習
		倉敷中央高校	4	介護福祉実習
倉敷記念訪問看護ステーション		川崎医療短期大学	1	在宅看護臨床実習
		倉敷中央高校	8	在宅看護臨床実習
デイサービスせいわ		倉敷中央高校	3	介護福祉実習Ⅰ
		倉敷中央高校	3	介護福祉実習Ⅰ
		くらしき総合福祉専門学校	2	介護実習Ⅰ
		くらしき総合福祉専門学校	2	介護実習Ⅰ
		くらしき総合福祉専門学校	1	介護実習Ⅰ
通所リハビリ		中国短期大学	2	介護福祉実習Ⅰ
		倉敷中央高校	3	介護福祉実習Ⅰ
		倉敷中央高校	3	介護福祉実習Ⅰ
		くらしき総合福祉専門学校	2	介護福祉実習
		くらしき総合福祉専門学校	2	介護福祉実習Ⅰ
		くらしき総合福祉専門学校	2	介護福祉実習Ⅰ
グループホームコージー		岡山医療福祉専門学校	2	介護実習Ⅰ
		倉敷中央高校	6	介護実習Ⅰ
		川崎医療短期大学	4	介護実習Ⅰ
小規模多機能「和」		岡山医療福祉専門学校	2	介護実習
		倉敷中央高校	6	介護実習
		川崎医療福祉大学	2	介護が行われる場を知り利用者とのふれあい体験を通してサービス利用者の特性とコミュニケーションの方法を学ぶ
合計人数			125	

3. 令和3年度 学会発表記録

部署名	報告者	発表先	発表テーマ	発表日
リハビリ テーション部	横関 彩佳	第 26・27 合同学会大会日本摂食嚥 下リハビリテーション学会	高齢者音誤嚥性肺炎発症に関わる嚥 下内視鏡検査所見の検討	8 月 19 日～ 8 月 21 日 ※WEB 公開
	川田 稔	院内・第 5 回日本循環器理学療法学 会	重度僧帽弁逆流症をもつ超高齢者患 者に反復末梢神経磁気刺激を施行し身 体機能の改善が得られた一症例	8 月 28 日 ※WEB 公開
	唐川 佳明	第 50 回 中国四国リハビリテーション 医学研究会	早期リハビリテーション開始に向けた取 組みと工夫	7 月 12 日 ※WEB 公開
	坂本 祐貴	第 26 回岡山県理学療法士学会 (Web 開催)	理学療法の多様性を共に考える～これ から果たす役割～	6 月 27 日 ※WEB 公開
福寿荘	石井 未来 森本 沙織	第 9 回慢性期リハビリテーション学会 (Web 開催)	プレフレイルからの終生りは～After CORONA の時代へ～	2 月 3 日～ 2 月 4 日 ※WEB 公開
	松井 香	第 50 回中国四国リハビリテーション 医学研究会	早期リハビリテーション開始に向けた取 組みと工夫	7 月 11 日 ※WEB 公開

労働安全衛生委員会

委員長 小出 尚志

職員定期健康診断の実施状況（令和3年度）

職種等	常勤者数 (a)	常勤者のうちの 受診者数 (b)	常勤者のうち受 診していない者 の受診していな い理由	常勤者受診率 ($b \div a \times 100$)	非常勤 勤務者数 (c)	非常勤者のうち の受診者数 (d)	非常勤者 受診率 ($d \div c \times 100$)
医師・歯科医師	17	17		100.0%	7	7	100.0%
看護師・准看護師	92	86	産休 育休	93.4%	13	13	100.0%
診療放射線技師	5	5		100.0%	1	1	100.0%
その他職種	136	122	産休 育休	93.1%	15	15	100.0%

深夜労働業務 従事者（再掲）	96	96		100.0%	1	1	100.0%
放射線業務 従事者（再掲）	7	7		100.0%	1	1	100.0%

注) 深夜労働業務従事者：午後10時から午前5時までの深夜時間帯に勤務する常勤者
放射線業務従事者：放射線業務に常時従事する者で、管理区域に立ち入る者

CS 向上委員会

令和 3 年度委員長 佐藤 峻一

令和 4 年度委員長 石田 真也

1. クリーン作戦

○月に 1 回敷地内及び周辺地域、雨天時また気温 35 度を超える日に屋内の掃除を行っている。

実施日: 毎月第 3 水曜日 13 時～13 時 15 分

清掃担当者: 委員全員＋各部署職員

R3 年度実施実績: 各月、年 12 回実施

2. 聞く犬ボックス

○患者様、利用者様の意見を回収する箱を各施設に設置。回収後、各部署責任者に回答してもらい各施設掲示板にてフィードバックを行っている。

回収日: 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)

設置場所: 病院外来、各病棟、せいわ、福寿荘、コージー、和

R3 年度回答実績: 10 月 1 件、11 月 2 件、12 月 2 件 合計 5 件

3. ひだまりの庭管理、職員ロッカー管理

○ひだまりの庭の清掃・水やり当番の管理(実施日: 毎日(土日祝以外)、職員ロッカーの清掃当番(実施日: 週に 1 回)の管理を行う。

4. ふれあい祭りの総合案内

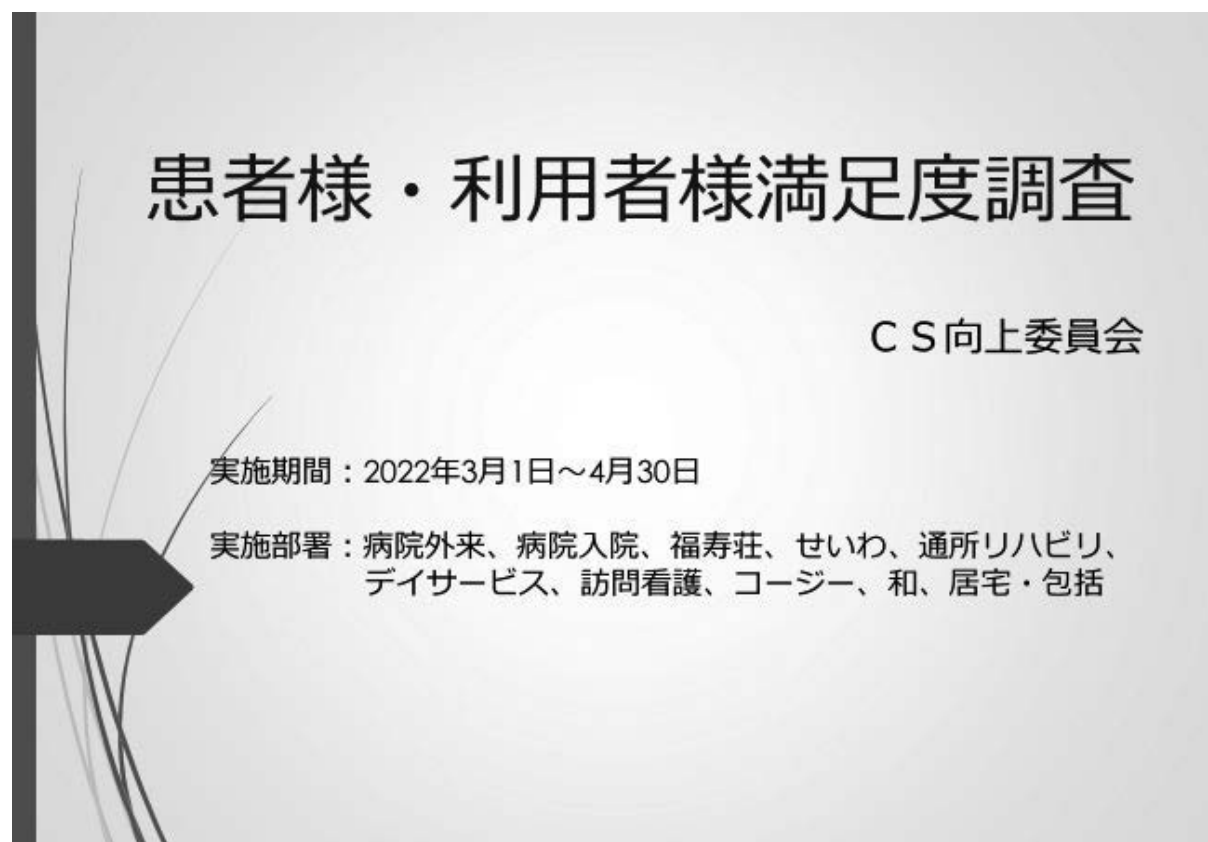
○例年では CS 向上委員会として、ふれあい祭り会場での総合案内窓口(福寿荘前)を設置して問い合わせ対応やパンフレット配布、拡声器による宣伝活動等を行う。

→R3 年度はコロナ禍の為、開催中止

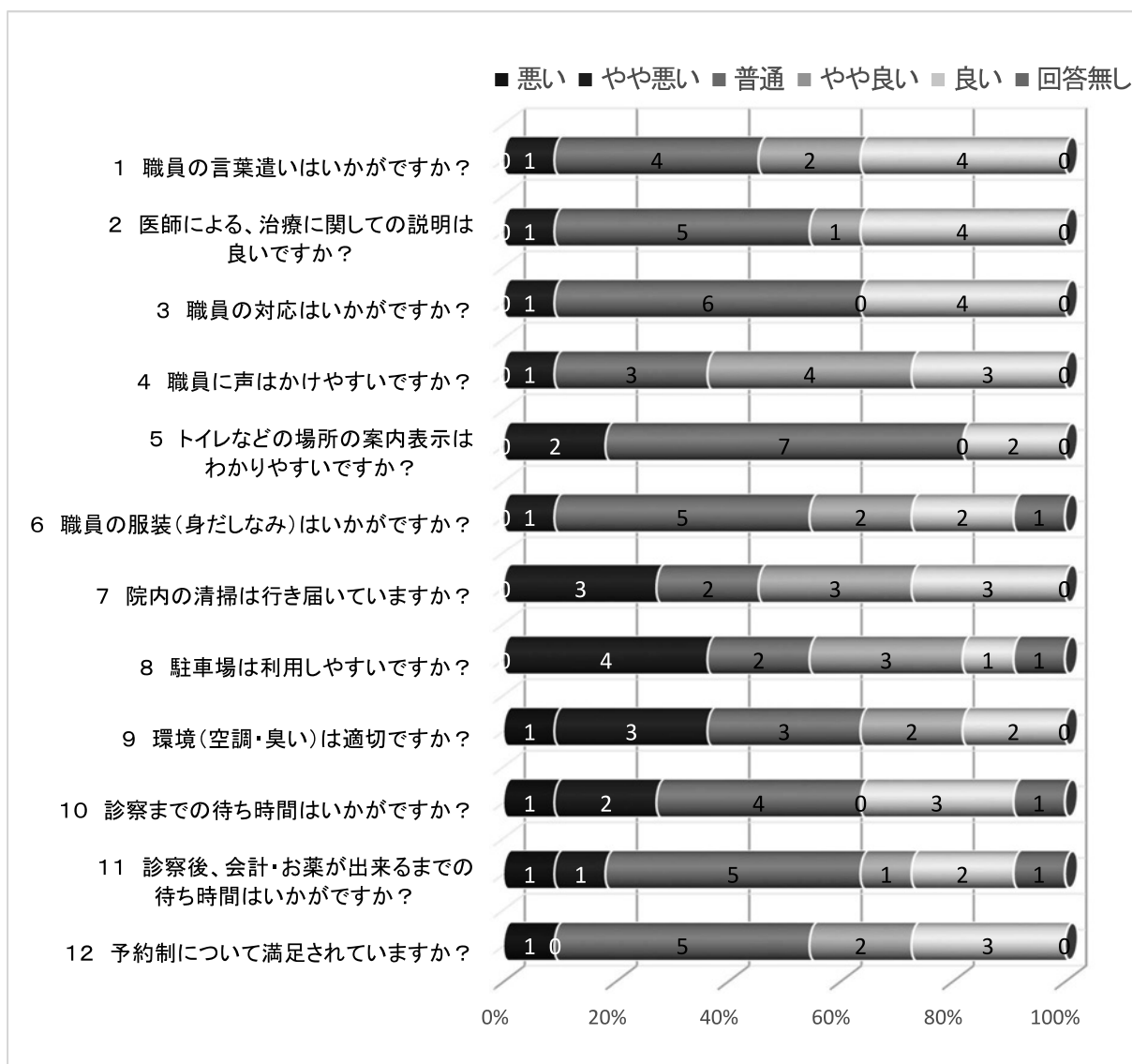
5. 患者様・利用者様満足度調査の実施

集計期間：令和3年3月1日～4月30日

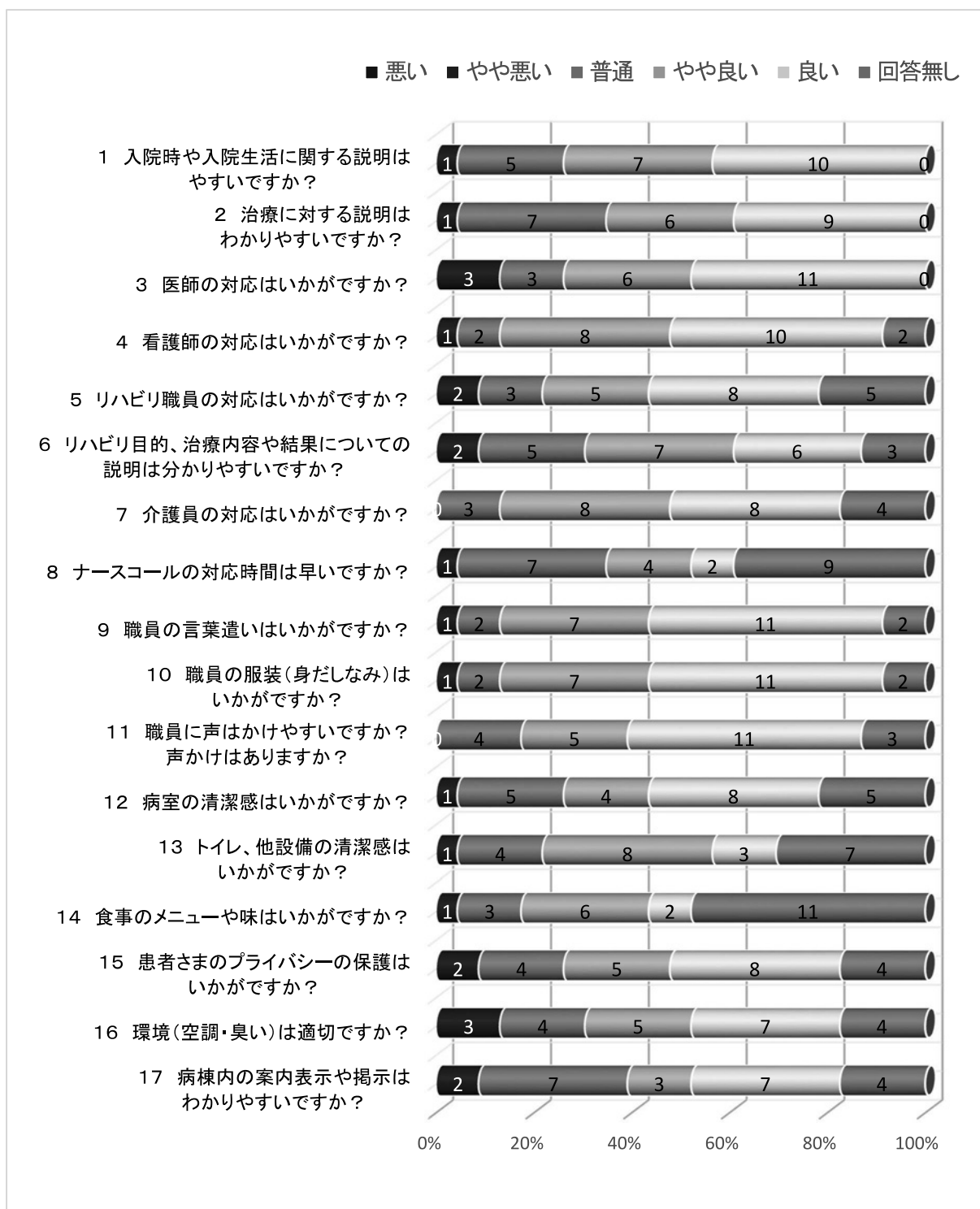
集計方法：質問に対し1(悪い)・2(やや悪い)・3(普通)・4(やや良い)・5(良い)の5段階で回答。



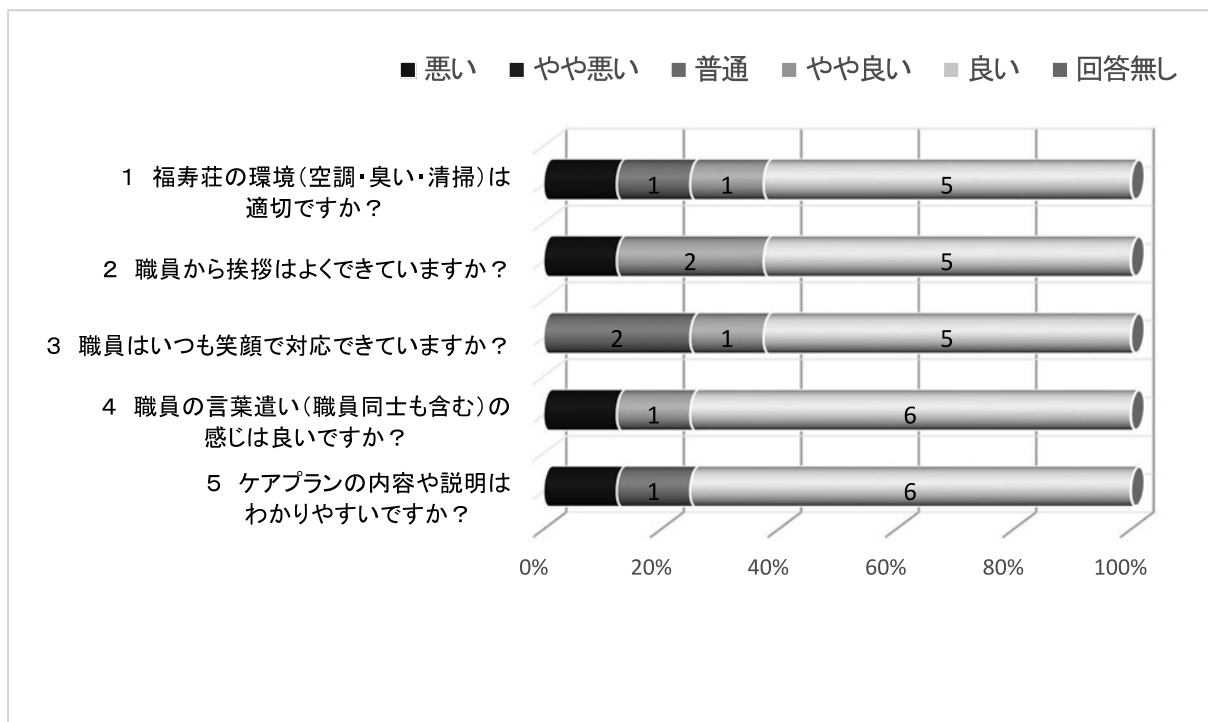
<病院外来>



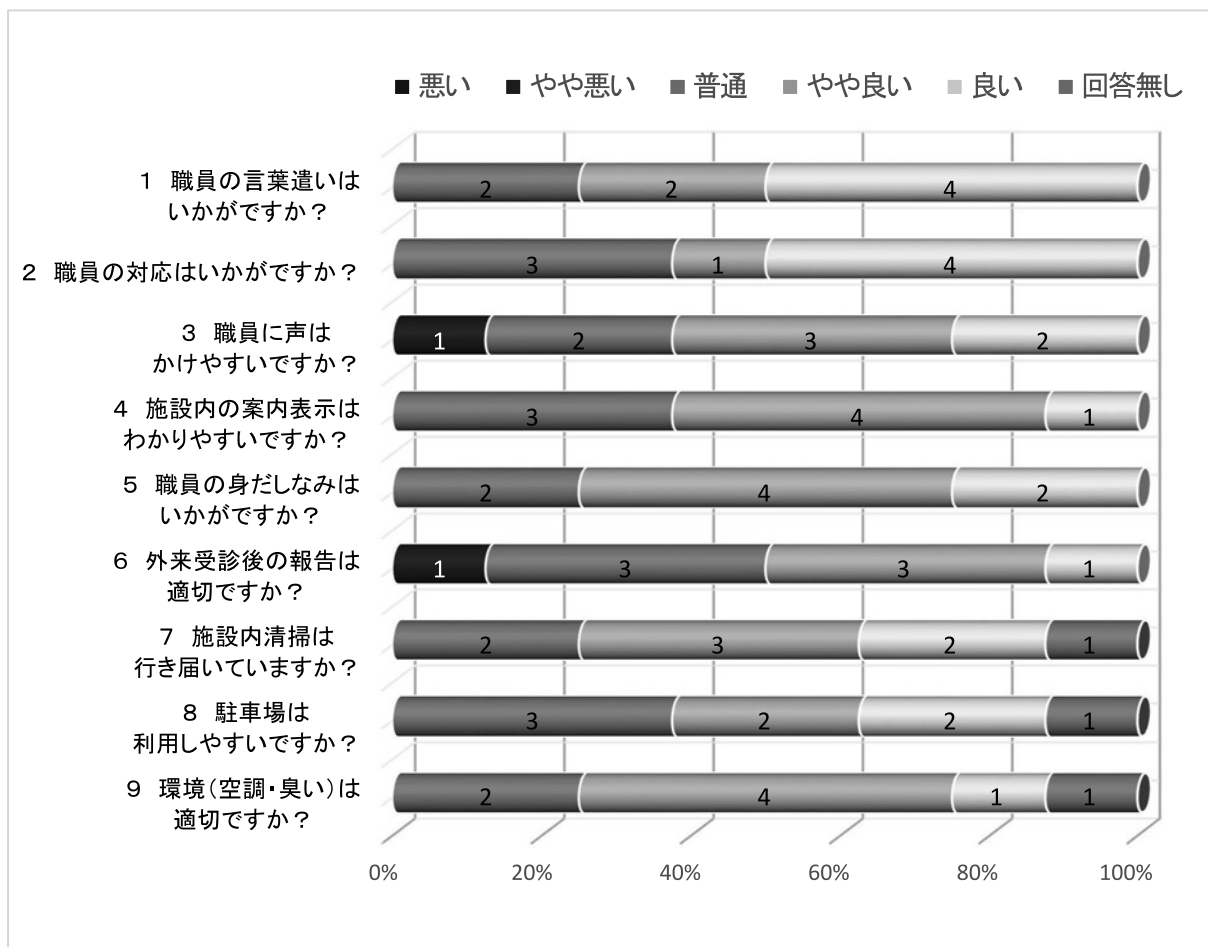
<病院入院>



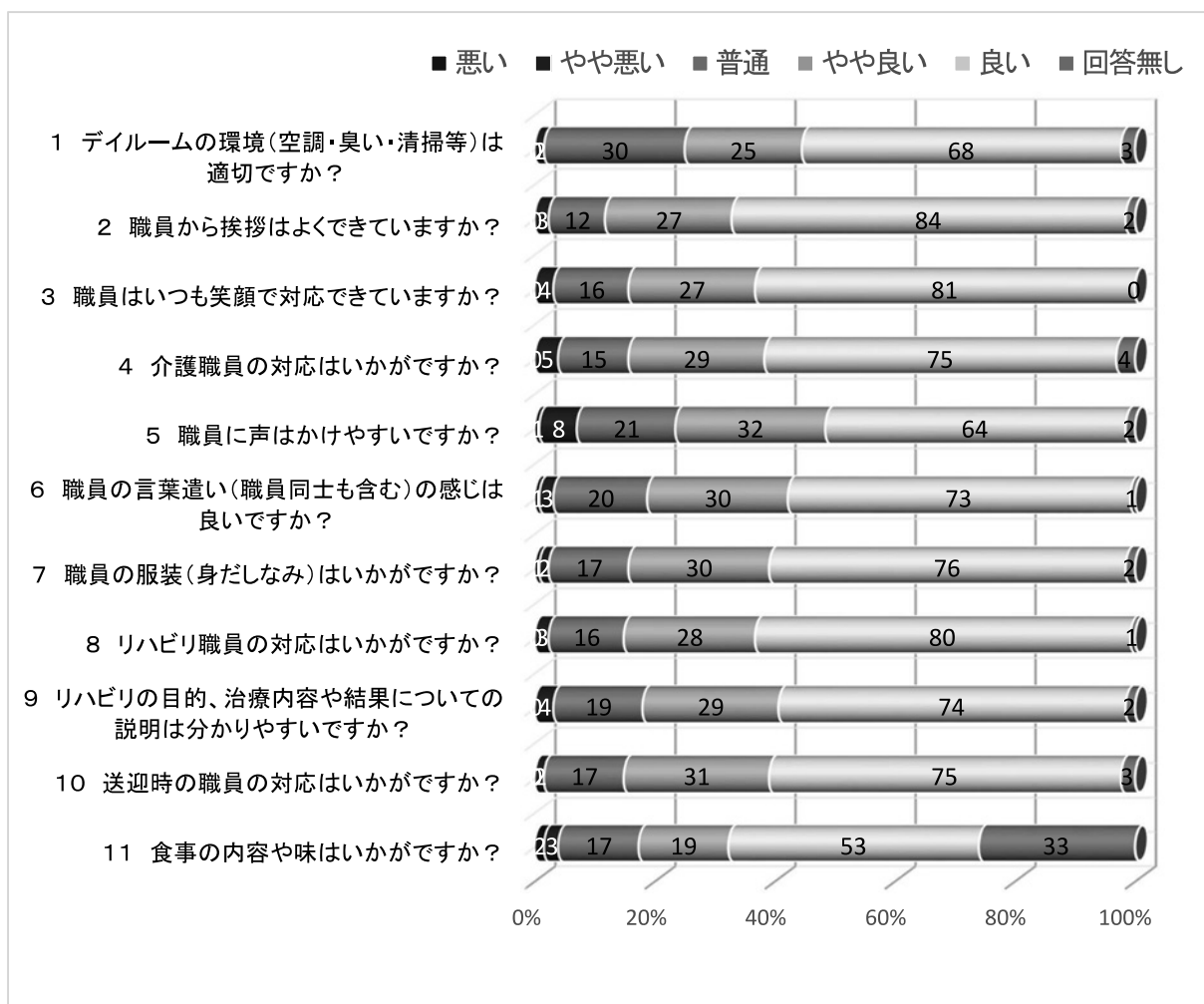
<福寿荘>



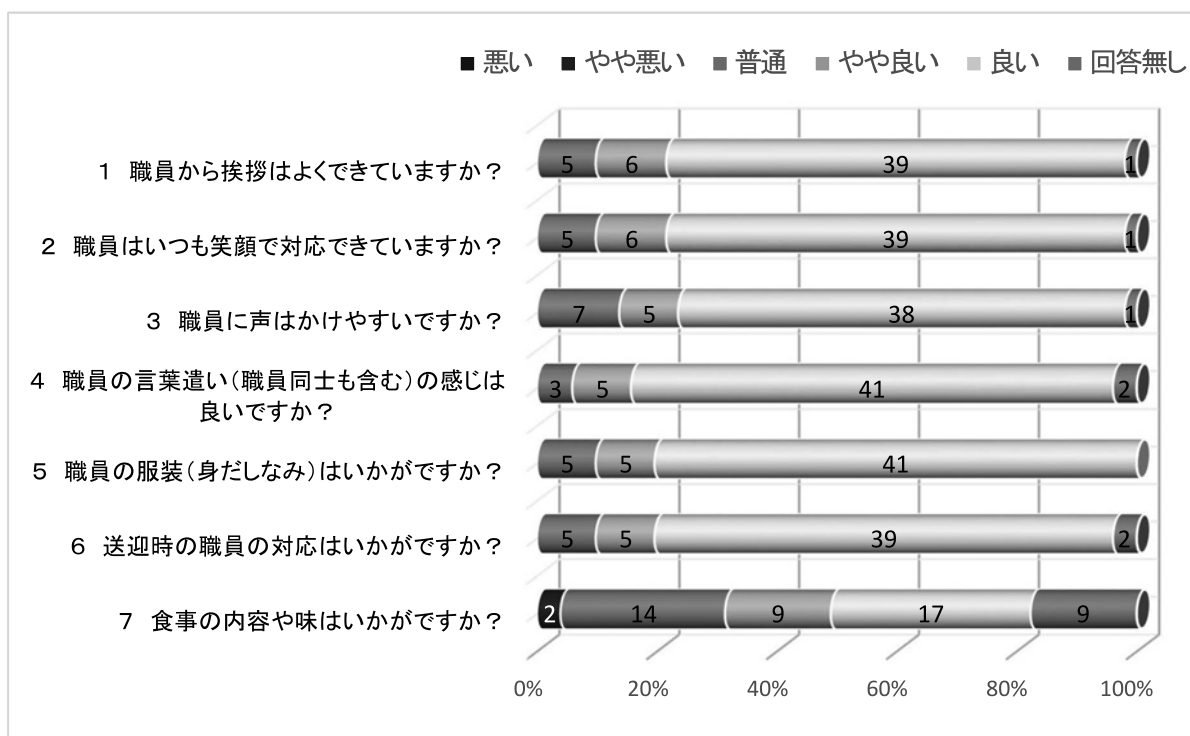
<有料老人ホームせいわ>



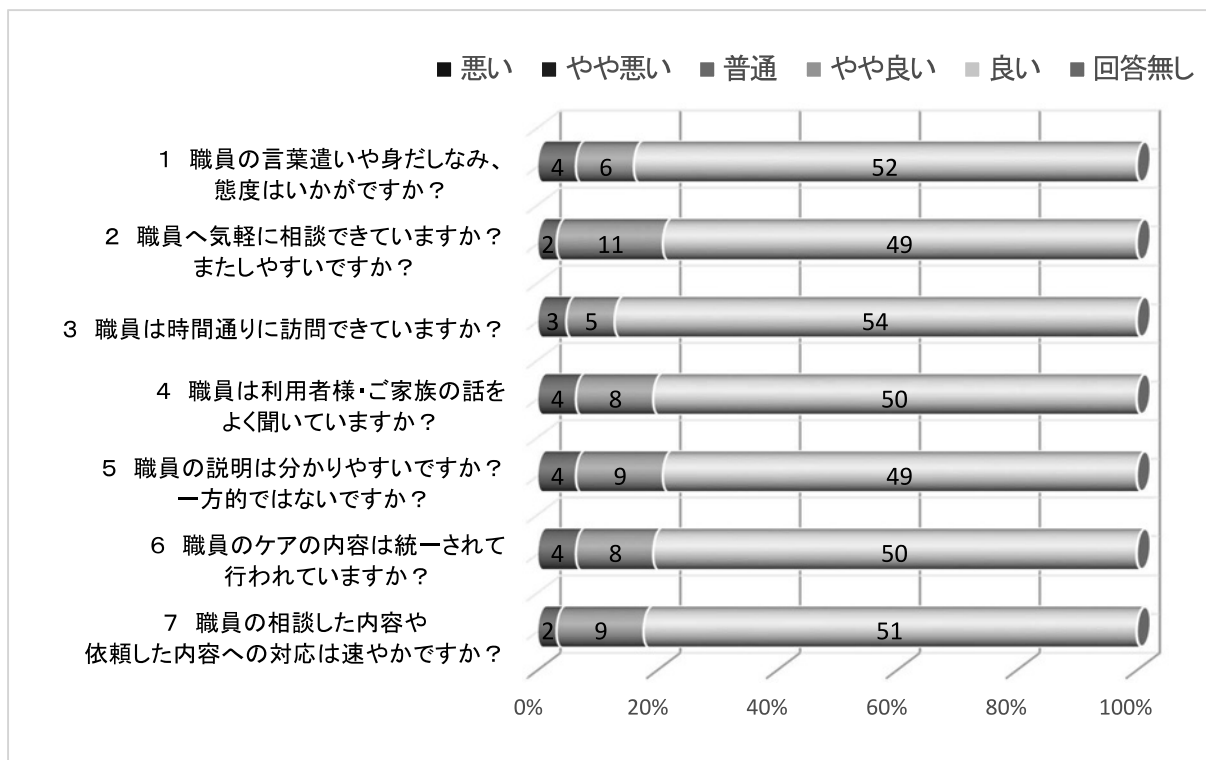
<通所リハビリせいわ>



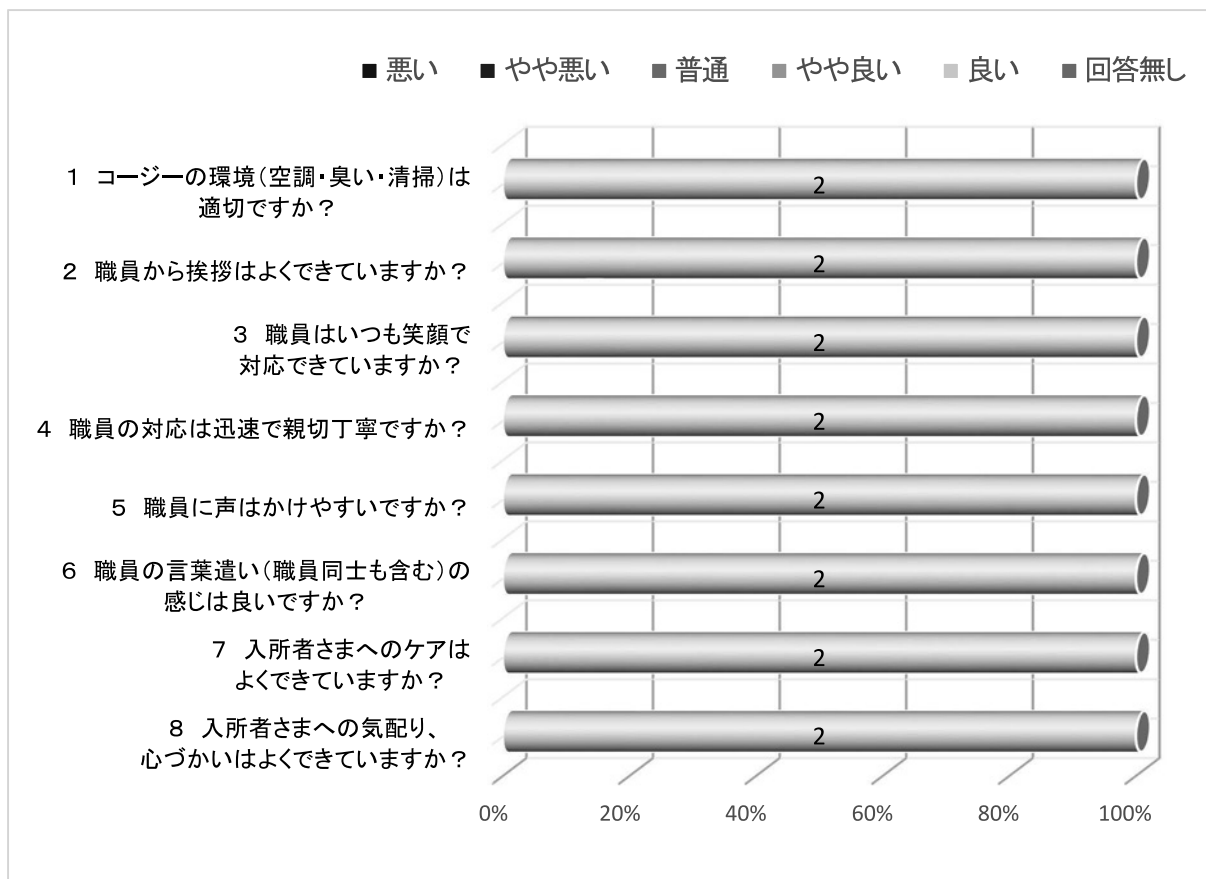
<デイサービスせいわ>



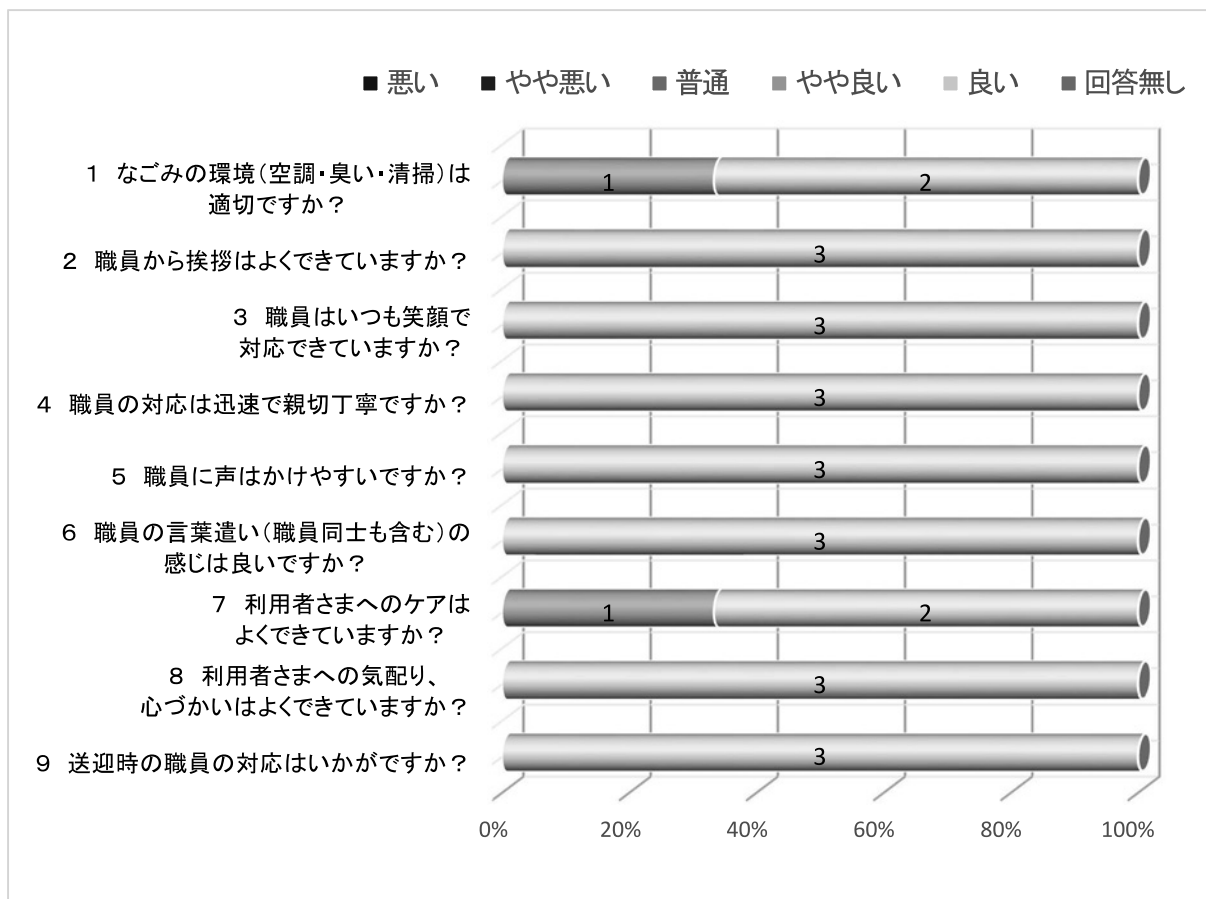
<倉敷記念訪問看護ステーション>



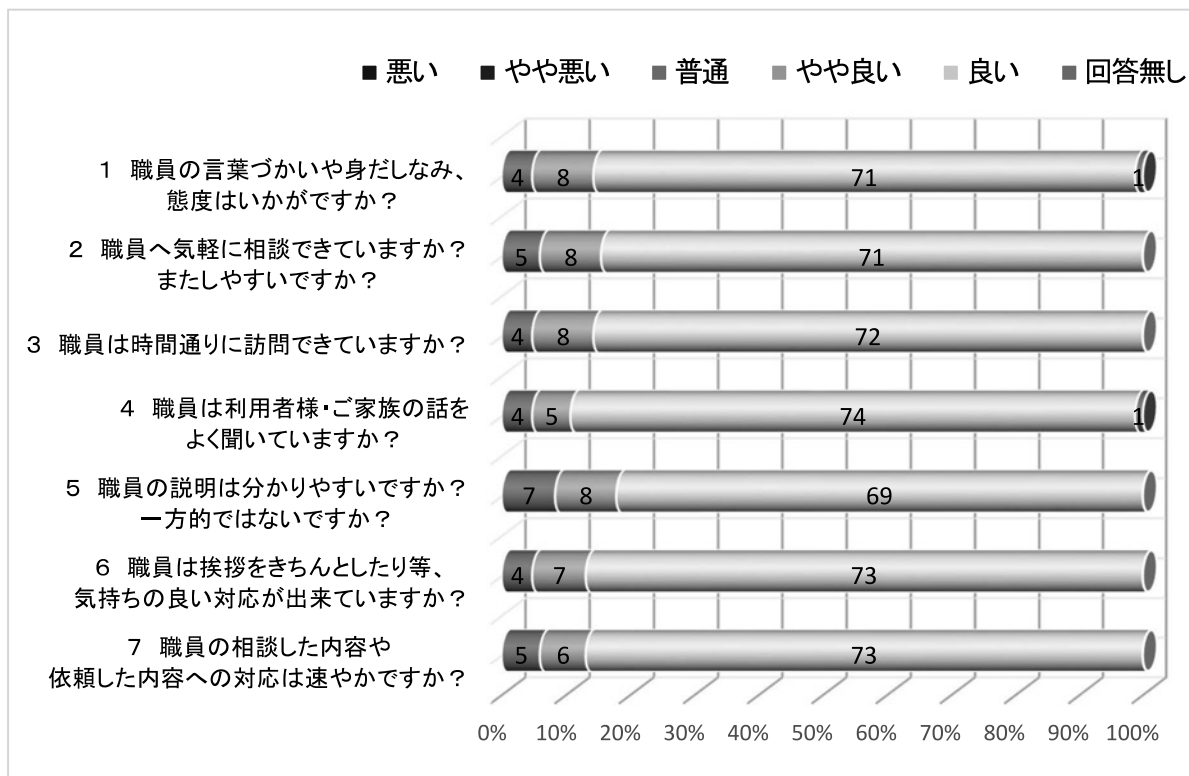
<グループホームコージー>



<小規模多機能 和>



<支援・居宅>



福利厚生委員会

令和3年度委員長 森 久美子

永年勤続表彰

開催日時 1/4(火)13:15(互礼会時)

対象者 51名

表彰式壇上表彰者

勤続年数 35年 2名

田中 淑美 黒坪 実幸

勤続年数 30年 1名

平本 里華

勤続年数 25年 2名

渡辺 美穂 林 里美

勤続年数 20年 5名

高田 涼子 廣末 樹理

下村 扶実子 木口 恭子

臼田 順子

以下 受賞のみ

勤続年数 40年 1名

里見 かおり

勤続年数 30年 2名

景山 靖 大島 順子

勤続年数 25年 2名

内田 博子 新谷 敦子

勤続年数 20年 1名

杉本 美穂

勤続年数 15年 15名

原 美保子 石田 沙織

堀 朝美 水田 泰博

西岡 敬子 中村 愛己

入江 美里 横田 暁雄

石田 充 谷 有人

藤井 朱美 白神 千枝美

團迫 純子 見持 了子

本行 久実

勤続年数 10年 20名

浅田 正蔵 平井 直子

川井 加奈子 大野 麻美

小野 千枝 大崎 梨恵

福田 真夢 藤本 絵里奈

片山 禎子 塩田 智美

丸川 明子 宗重 亜紀子

井上 由香理 野田 奈緒

木村 恭子 中原 淳

森永 里恵 大串 逸子

岡 純子 平本 恵子



広報委員会

令和3年度委員長 中野 春美

令和4年度委員長 吉川 大悟

1.広報誌「SAY 和～せいわ～」

発 行			トップページ
令和 3 年	7 月	vol.69	院長就任・新任医師紹介
	10 月	vol.70	健診のすすめ
	1 月	vol.71	感染対策委員会
令和 4 年	4 月	vol.72	あなたと家族をお手伝い、ケアマネジャーへご相談を

2. 誠和会誌 まこと

発 行			トップページ
令和 3 年	5 月	vol.67	新入職員
	6 月	vol.68	感染対策委員会 新型コロナ感染症対策への感謝
	9 月	vol.69	建築準備室 倉敷記念病院の全面建て替えについて
	12 月	vol.70	面会制限が一部解除されました
令和 4 年	3 月	vol.71	永年勤続表彰式



医療法人誠和会年報

令和3年度 倉敷記念病院

介護老人保健施設福寿荘 有料老人ホームせいわ 通所リハビリせいわ
デイサービスせいわ せいわ介護サービスセンター 倉敷記念訪問看護ステーション
グループホームコージー 小規模多機能
倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)

令和4年7月30日発行

発行人 医療法人誠和会 理事長 小出尚志

〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831

電話 086-465-0011 Fax 086-465-9199

倉敷記念病院
介護老人保健施設 福寿荘
有料老人ホーム せいわ
通所リハビリ せいわ
デイサービス せいわ
せいわ介護サービスセンター
倉敷記念訪問看護ステーション
グループホーム コージー
小規模多機能 和
倉敷市倉敷西高齢者支援センター(倉敷市委託)